SHARP

MD/CD システム

形名 MD-F150（エム ディー エフ）

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

もくじ

1章　はじめに

2章　使う前の準備

3章　CD·MD·テープ·ラジオの聞きかた

4章　CDやMDのいろいろな聞きかた

5章　MDやテープへの録音

6章 MDやテープへのいろいろな録音

7章 MDの編集

8章 タイマーの使いかた

9章 他の機器との使いかた

10章 ご参考

安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前に

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

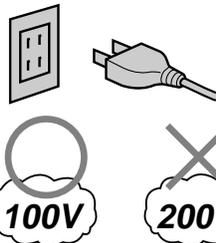
記号は
してはいけないことを表しています。

記号は
しなければならないことを表しています。

記号は
気をつける必要があることを表しています。

警告

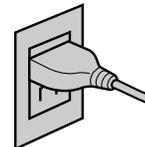
電源について

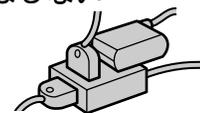
AC100V 以外の電源電圧では使用しない

火災・感電の原因となります。

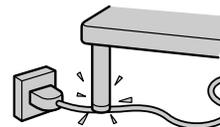
外国では使用しない

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない

火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により、火災の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

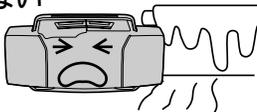
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

内部に物や水などを入れない

開口部（ディスク挿入口やスピーカーダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない

火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

雷について

雷が鳴りだしたら…

安全のため、早めに電源コードをコンセントから抜いてください

火災・感電・故障の原因となります。

屋外で使用していて、雷が鳴りだしたら…

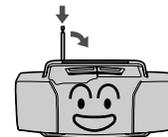
FMロッドアンテナをたたみ、AMアンテナをはずして、使用を中止してください

落雷の原因となります。

持ち運ぶときは

落としたり、衝撃を与えない

万一、落としたり、キャビネットを破損したときは、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

アンテナをのばしたまま持ち運ばない

アンテナが引っかかったり、目に当たったりして、けがや事故の原因となります。

CDピックアップについて

CDピックアップの光源を直視しない

目を痛める原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…

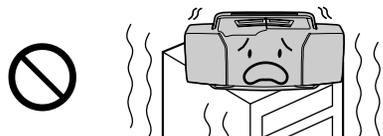
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

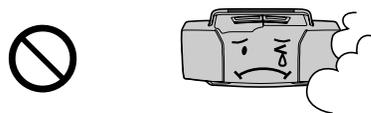
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

⚠注意

置き場所について

不安定な場所に置かない

落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

密閉した自動車内等、直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

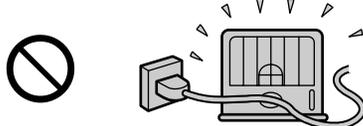
電源コードの取り扱いについて

プラグを抜くときはコードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する

火災・感電の原因となることがあります。

ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所、ほこりの多い所で使用しない

焼損・発火や事故の原因となることがあります。

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける

思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

⚠注意

特殊なCDについて

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。

CDを取り出すときは

再生を止めたあと、CDブタを開けてください

けがをしたり、CDを痛める原因となることがあります。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

■新しい乾電池と一度使用した乾電池をまぜて使用しない
■金属小物（かぎ・装飾品ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない

■水に濡らさない
■加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない
■分解しない
■ハンダ付けしない
■端子をショート（短絡）させない
■種類のちがう乾電池をまぜて使用しない
■充電池（ニカド電池等）は使用しない

■乾電池が使えなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいてください。

■乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、表示どおり正しく入れてください。

もし、液がもれた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

移動するときは

電源を切り、電源コードやアンテナ線、接続コードを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
  (CDからMDに試し録音をするときは、定速で録音してください。)
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。(☞ P.82～83)
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

おもな特長

ＭＤの２倍・４倍長時間録音・再生「MDLP」対応

１枚のＭＤに最大３２０分（８０分ディスク使用時）が録音できるステレオでの長時間録音が可能となり、そのMDを再生することができます。

☞ P.36

マルチカラー光ディスプレイ

７色の照明で表示部をファッショナブルに演出します。

☞ P.15

簡単便利　CD → MD 倍速編集

☞ P.37

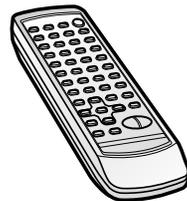
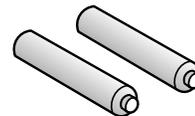
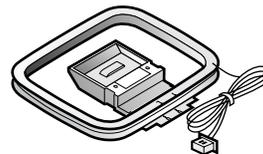
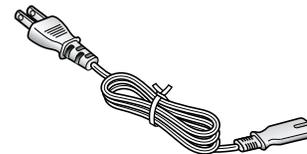
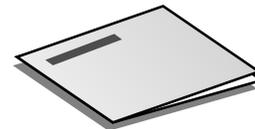
迫力のある音が楽しめる、サウンドエンハンサー

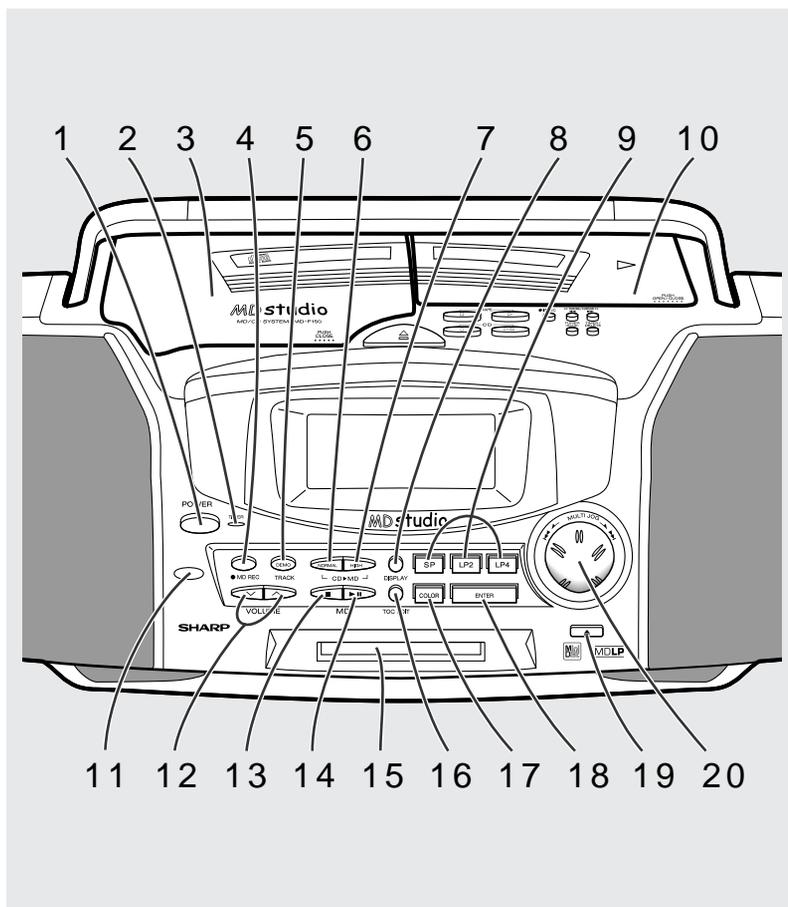
☞ P.27

電磁カセットデッキ ☞ P.22、44

待機時消費電力 0.17W の省エネ設計

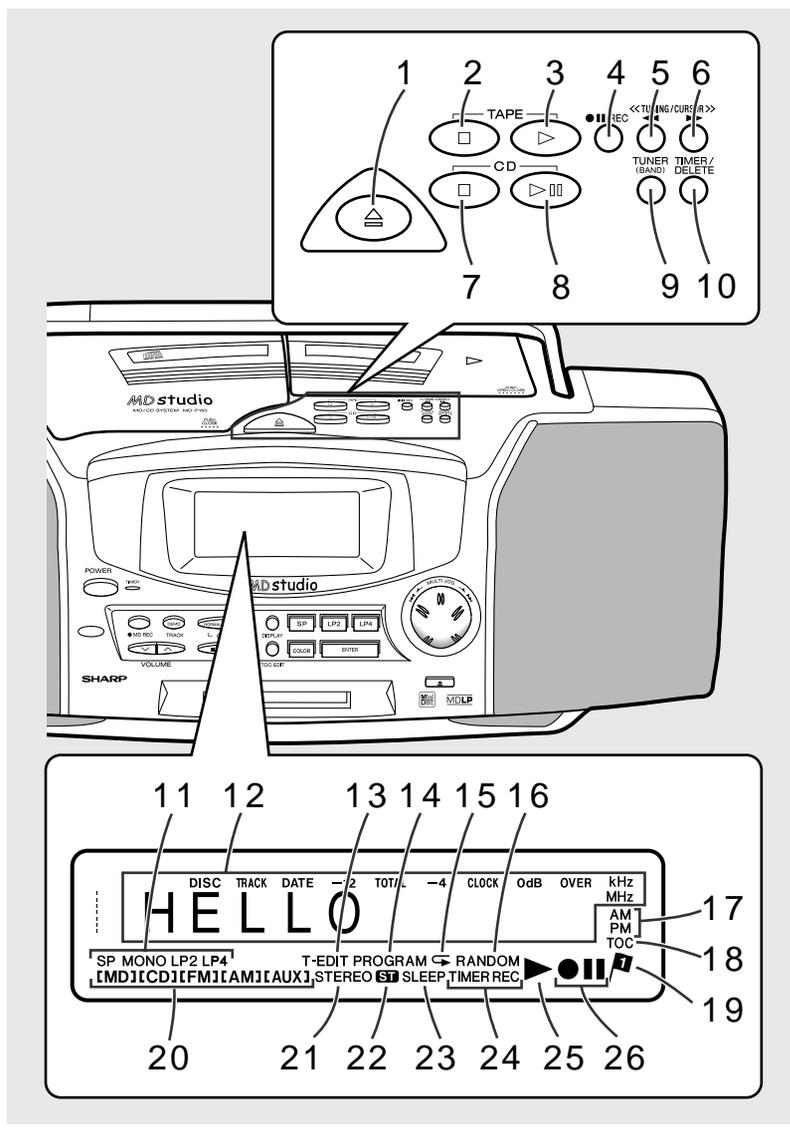
付属品について

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

- この製品は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。
  色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

各部のなまえ

参照ページ

1. 電源ボタン（POWER） 13
2. タイマー設定表示ランプ 67
3. CD ブタ
4. MD 録音ボタン（● MD REC） 38
5. トラックエディット / デモボタン（TRACK/DEMO） .... 13、47
6. CD ▶ MD 定速ワンタッチエディットボタン（CD ▶ MD NORMAL） 37
7. CD ▶ MD 倍速ワンタッチエディットボタン（CD ▶ MD HIGH） 37
8. 表示切換ボタン （DISPLAY） 13
9. 録音モードボタン（SP、LP2、LP4） 36
10. カセットホルダー
11. リモコンセンサー 14
12. 音量ボタン（VOLUME ﹀ / ︿） 27
13. MD 停止ボタン（MD ■ ） 21
14. MD 再生 / 一時停止ボタン（MD ▶ Ⅱ ） .... 20、21
15. MD 挿入口
16. ネーム / トック編集ボタン（TOC EDIT） .... 54、62
17. カラーディスプレイ切換ボタン（COLOR） 15
18. エンターボタン（ENTER） 15
19. MD 取り出しボタン（⏏） 21
20. ジョグダイヤル 15

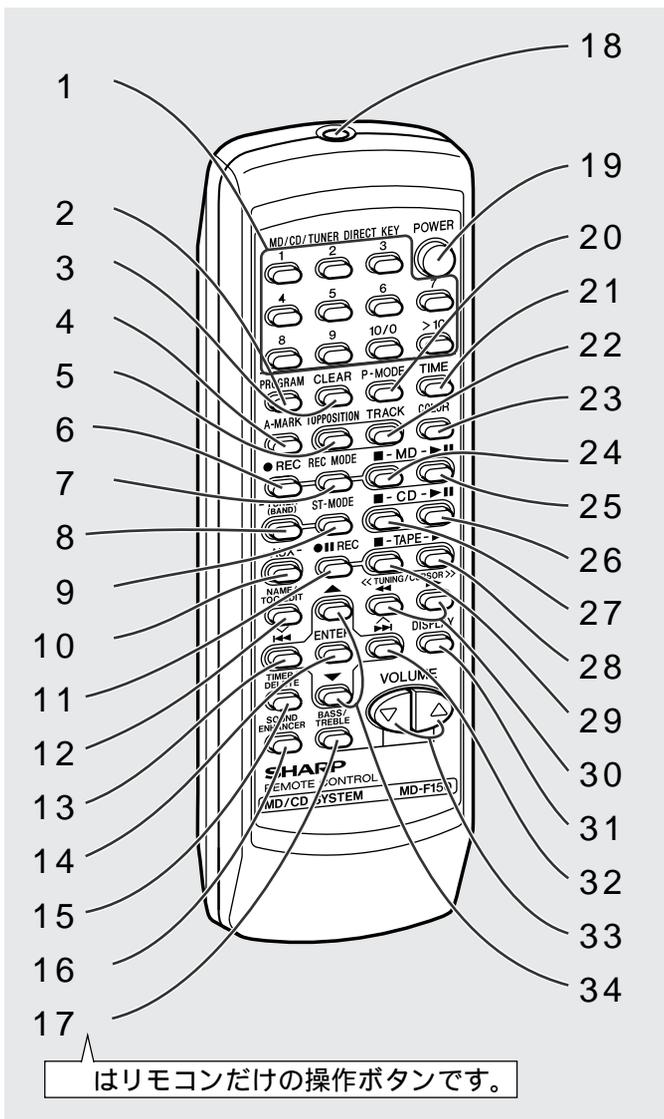
■ 天面の説明・表示窓の説明 ☞ P.10

各部のなまえ（続き）

参照ページ

1. CD 取り出しボタン（≜）………… 19
2. テープ停止ボタン（TAPE □）………… 23
3. テープ再生ボタン（TAPE ▷）………… 22
4. テープ録音 / 一時停止ボタン（● II REC）………… 44
5. 早戻し / チューニング / カーソルボタン（◀◀ ≪ TUNING / CURSOR）………… 23、24、58
6. 早送り / チューニング / カーソルボタン（▶▶ TUNING / CURSOR ≫）………… 23、24、58
7. CD 停止ボタン（CD □）………… 19
8. CD 再生 / 一時停止ボタン（CD ▷II）………… 18、19
9. チューナー / バンド切換ボタン（TUNER/BAND）………… 24
10. タイマー / 消去ボタン（TIMER/DELETE）………… 16、57、65

11. 録音モード表示（SP、MONO、LP2、LP4）
12. レベルメーター / 文字情報 / 周波数表示
13. トラックエディット表示（T-EDIT）
14. プログラム表示（PROGRAM）
15. リピート表示（ ⟲ ）
16. ランダム表示（RANDOM）
17. 午前／午後表示（AM/PM）
18. トック表示（TOC）
19. トップポジション録音表示（ ⚑ ）
20. 入力表示（MD/CD/FM/AM/AUX）
21. FM ステレオモード表示（STEREO）
22. FM ステレオ受信表示（ ST ）
23. スリープ表示（SLEEP）
24. タイマー再生 / タイマー録音表示（TIMER/TIMER REC）
25. CD/MD/ テープ再生表示（ ▶ ）
26. 録音 / 録音一時停止表示（ ● II ）

※ はリモコンだけの操作ボタンです。

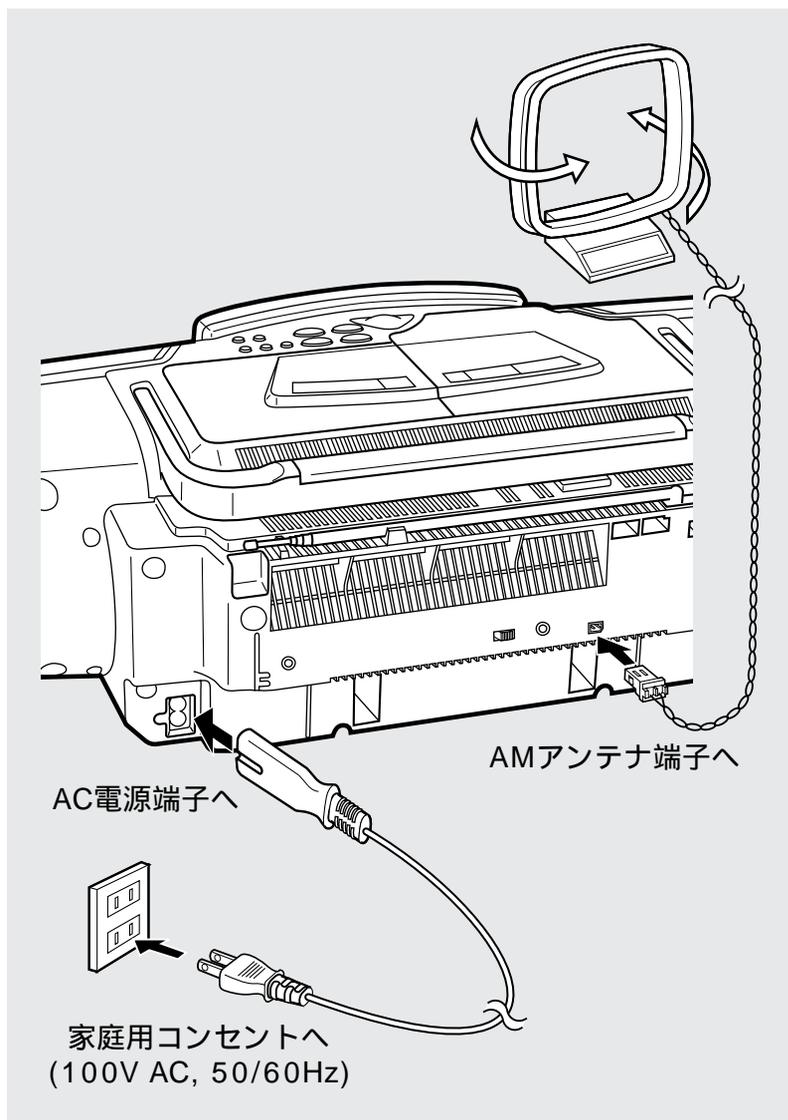
参照ページ

1. MD/CD/ チューナーダイレクトボタン .... 26、28
2. プログラムボタン（PROGRAM）........ 30
3. クリアーボタン（CLEAR）........ 31
4. オートマークボタン（A-MARK）........ 40
5. トップポジションエディットボタン（TOPPOSITION）........ 49
6. MD 録音ボタン（● REC）........ 42
7. 録音モード切換ボタン（REC MODE）........ 36
8. チューナー / バンド切換ボタン（TUNER/BAND）........ 24
9. FM ステレオモードボタン（ST-MODE）........ 25
10. AUX 入力ボタン（AUX）........ 70
11. テープ録音 / 一時停止ボタン（●II REC）........ 44
12. ネーム / トック編集ボタン（NAME/TOC EDIT）........ 54、59
13. 頭出し / チューナープリセットダウンボタン（ I◀◀ / ﹀ ）........ 19、26
14. エンターボタン（ENTER）........ 15
15. タイマー / 消去ボタン（TIMER/DELETE）........ 16、57
16. サウンドエンハンサー切換ボタン（SOUND ENHANCER）........ 27
17. 音質切換ボタン（BASS/TREBLE）........ 27
18. リモコン送信部
19. 電源ボタン（POWER）........ 14
20. 再生モード切換ボタン（P-MODE）........ 29
21. 時間表示切換ボタン（TIME）........ 32
22. トラックエディットボタン（TRACK）........ 47
23. カラーディスプレイ切換ボタン（COLOR）........ 15
24. MD 停止ボタン（ ■ ）........ 21
25. MD 再生 / 一時停止ボタン（ ▶II ）........ 20、21
26. CD 再生 / 一時停止ボタン（ ▶II ）........ 18、19
27. CD 停止ボタン（ ■ ）........ 19
28. テープ再生ボタン（TAPE ▶）........ 22
29. テープ停止ボタン（TAPE ■）........ 23
30. 早送り / 巻戻し / チューニング / カーソルボタン（◀◀ / ▶▶ / TUNING CURSOR ≪ / ≫）.. 23、24、58
31. 表示切換ボタン（DISPLAY）........ 13
32. 頭出し / チューナープリセットアップボタン（ ▶▶I / ︿ ）........ 19、26
33. 音量ボタン（VOLUME ▽ / △ ）........ 27
34. 編集モード選択ボタン（ ▲ / ▼ ）........ 15、54

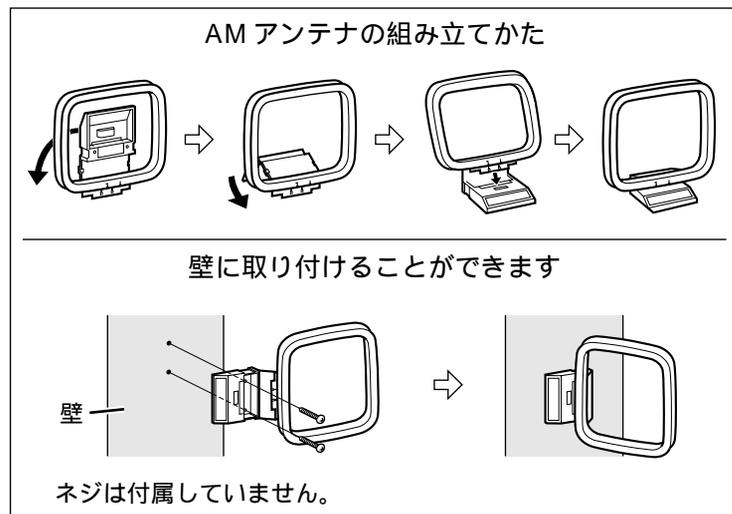
■ リモコン用乾電池の入れかた ☞ P.14

本体の準備をする

AMアンテナ端子へ

AC電源端子へ

家庭用コンセントへ
(100V AC, 50/60Hz)

1 AM アンテナをつなぐ

AM アンテナのコネクターを、AM アンテナ端子へ差し込んだあと、AM アンテナを立てたり、壁に取りつけるなどして、放送が最もきれいに聞こえる方向にしてください。

ご注意

- AM アンテナをはずすときは、コネクターを持って抜いてください。線を引っ張ると断線の原因となります。
- プラグは確実に差し込んでください。

お知らせ

- この製品は、5℃~ 35℃の場所でお使いください。
- AM アンテナは本体や電源コードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。
- この製品をテレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、できるだけ離してください。

2 電源コードをつなぐ

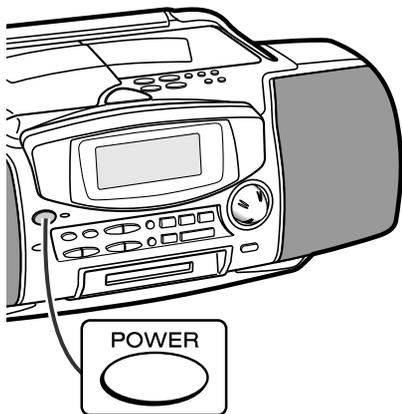
電源コードをAC電源端子へ差し込み、家庭用コンセントに差し込んでください。

- 付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
  故障や事故の原因となります。
- 電源コードを抜くときは、電源を切ってから差し込みプラグを抜いてください。

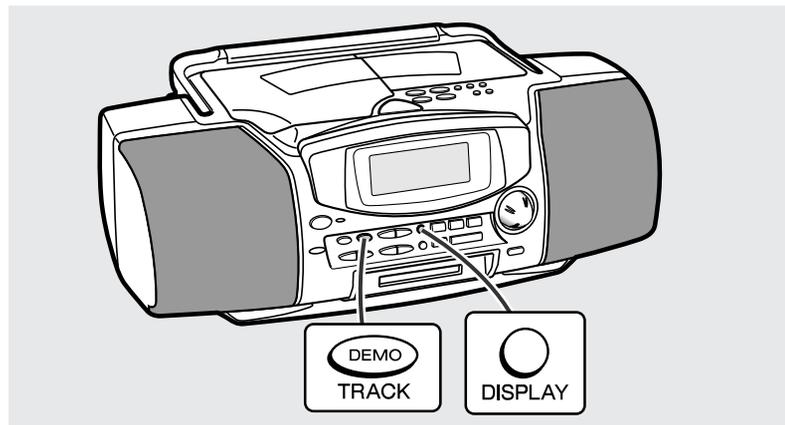
節電のために

旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。
電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。

- 電源コードを抜くと、時計が止まり、1日以上たつと登録した放送局などが消えますので、再度合わせ直してください。

電源を入れるには

POWER を押す。

電源を切るには…

もう一度、POWER を押す。

表示部の明るさを変えるには

電源を入れて… DISPLAY を2秒以上押す。

DIMMER ON	⇔	DIMMER OFF
表示を暗くしたとき（表示部の照明は消灯します）		表示を明るくしたとき

デモ表示中に、表示の明るさを変えることはできません。

デモ表示について

デモ表示にするには…

電源が切れているときに、DEMO TRACK を押す。

表示部が自動的に変化するデモ表示になります。
（照明の色も自動的に変わります。）

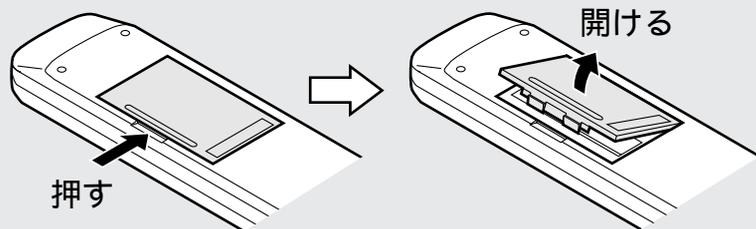
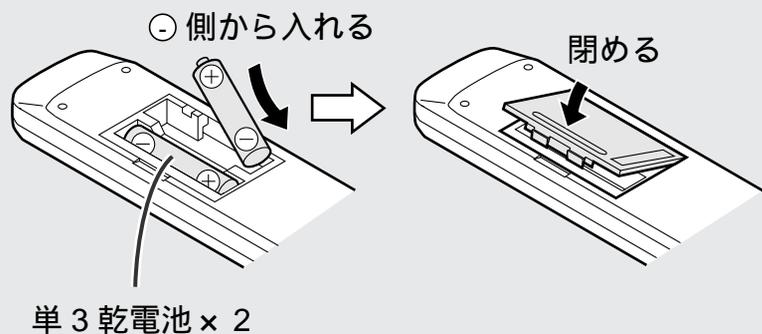
DEMO ON

デモ表示を解除するには…

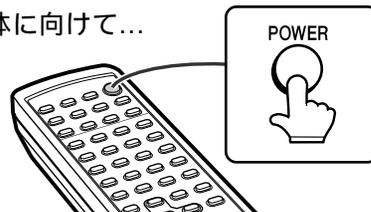
デモ表示中に、DEMO TRACK を押す。

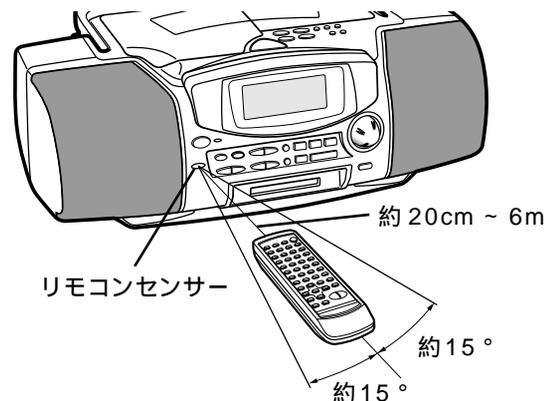
リモコンの準備をする

乾電池を入れる

1 フタを開ける。

2 乾電池を入れる。

- 乾電池の方向に注意して入れてください。
  （⊕⊖をまちがえると、故障の原因となります。）
- リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
  （充電池では正しく動作しません。）

リモコンのテスト

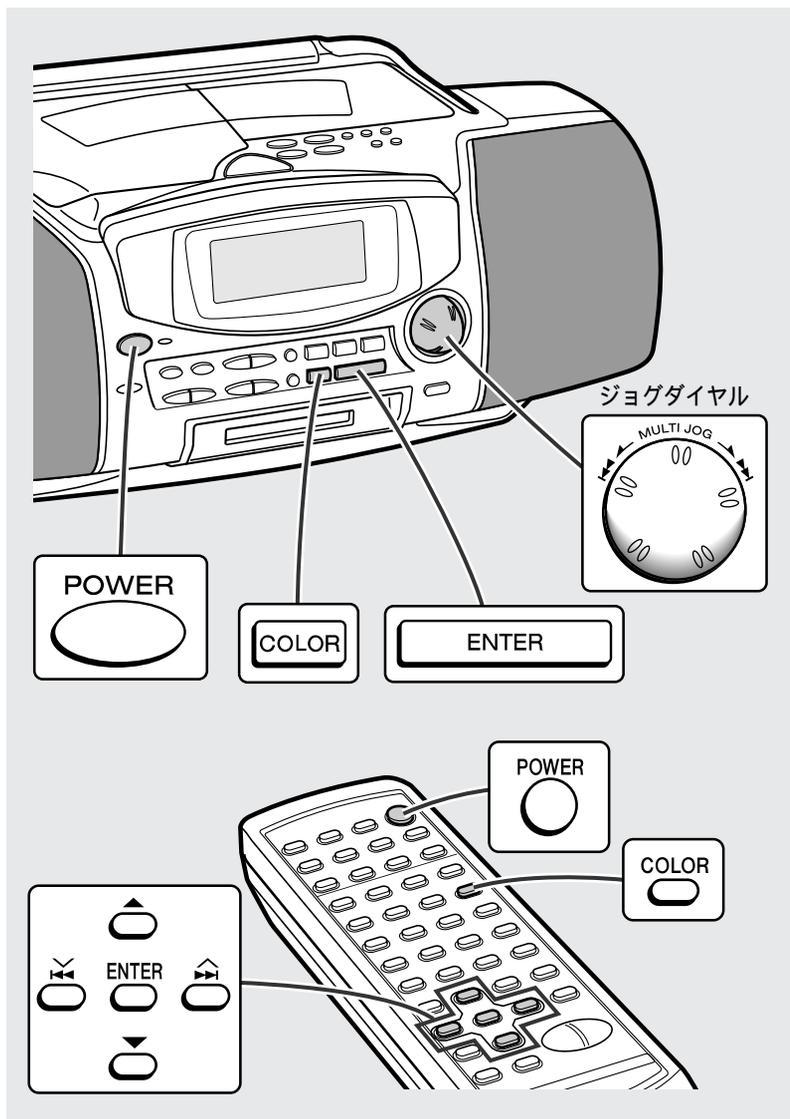
リモコンを本体に向けて…

電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか、
乾電池が正しく入っているか、確認してください。

リモコンの使える範囲（目安）

ご注意

- リモコンセンサーに強い光があたる場所では使用しないでください。
  誤動作の原因となります。
- リモコンセンサーや送信部にシールなどを貼らないでください。
  リモコン操作ができなくなることがあります。

お知らせ

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約１年です。
リモコンセンサーに近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

表示部の照明の色を変える

1 POWER **を押して、電源を入れる。**

2 “DIMMER OFF（ディマー オフ）”の状態（☞ P.13）で… COLOR **を押す。**

3 10秒以内に… **ジョグダイヤルを回して、表示モードを選ぶ。**

（お買いあげ時は、“INITIAL（イニシャル）”に設定されてます。）

INITIAL（イニシャル）……入力設定またはMDの録音モードなどに合わせて、色が変わります。

CD:COLOR6	TUNER :COLOR4
TAPE/AUX:COLOR5	MD停止 :COLOR7
MDのステレオ(SP)･モノラル(MONO)再生	:COLOR2
MDの2倍長時間(LP2)再生	:COLOR1
MDの4倍長時間(LP4)再生	:COLOR3

↕

FIXED（フィックスド）………7色の中から、特定の1色に決めることができます。入力や操作を変更しても、色は変わりません。

↕

WEEKLY（ウイークリー）……時計の設定をしておくと、曜日ごとに色が変わります。（操作5で、開始の色を選ぶことができます。）

↕

RANDOM（ランダム）…つぎの操作をすると、順不同で色が変わります。（電源を入れる／入力を切り換える／CD、MDまたはテープを再生する）

リモコンの ▲ または ▼ を押して、選ぶこともできます。

4 ENTER **を押す。**

INITIAL（イニシャル）、RANDOM（ランダム）を選んだときは、操作終了です。

5 FIXED（フィックスド）、WEEKLY（ウイークリー）を選んだときは…

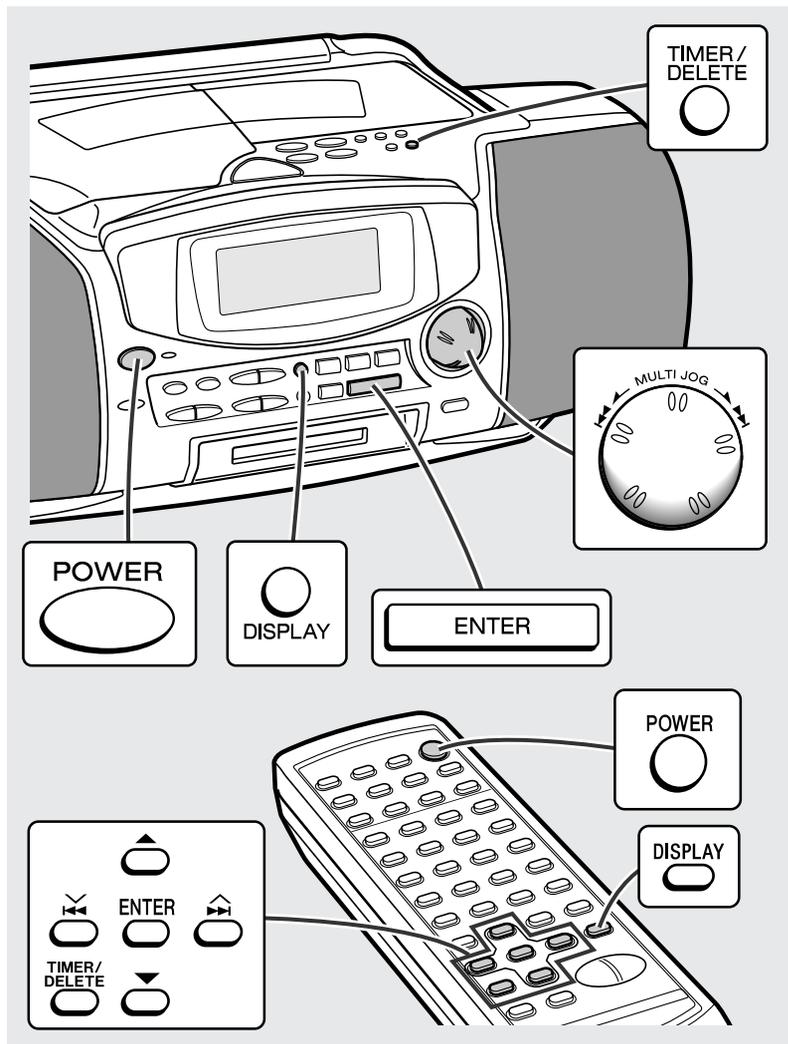
ジョグダイヤルを回して色を選び、 ENTER **を押す。**

（COLOR1（カラー）↔ COLOR2（カラー） ・・・ COLOR6（カラー）↔ COLOR7（カラー））

リモコンの ⏮ または ⏭ を押して、選ぶこともできます。

■ 時計の設定 ☞ P.16

時計を合わせる

日付・時刻を合わせると、タイマー再生やタイマー録音、MDの録音日時の記録ができるようになります。

（例）2000年12月15日　午前9時30分に合わせるとき

1 POWER **を押して、電源を入れる。**

2 TIMER/DELETE **を押す。**

SLEEP 1：00

3 10秒以内に… **ジョグダイヤルを回して、“TIME ADJUST（タイム アジャスト）”を選ぶ。**

TIME ADJUST

リモコンの ▲ または ▼ で選ぶこともできます。

4 10秒以内に… ENTER **を押す。**

00. 01. 01

「年」の部分が点滅

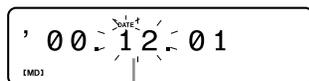
5 **ジョグダイヤルを回して「年」を合わせ、** ENTER **を押す。**

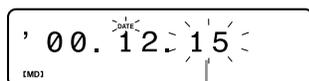
2000年は「00」、2001年は「01」と合わせてください。

00. 01. 01

「年」を合わせる

リモコンの ⏮ または ⏭ で合わせることもできます。
（操作6～9も同じです。）

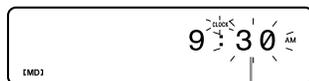
6 ジョグダイヤルを回して「月」を合わせ、ENTER を押す。

「月」を合わせる

7 ジョグダイヤルを回して「日」を合わせ、ENTER を押す。

「日」を合わせる

8 ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、ENTER を押す。

「時」を合わせる

時刻は12時間制で表示されます。
午前（AM）／午後（PM）の表示に注意してください。
AM 0：00→夜の12時
PM 0：00→昼の12時

9 ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、ENTER を押す。

「分」を合わせる

約1.5秒たつと、もとの表示に戻ります。

時刻を修正するには

操作1からやり直してください。

このとき、操作2では“SLEEP（スリープ）”のかわりに“STANDBY（スタンバイ）”と表示されます。
また、操作3では“TIME（タイム） ADJUST（アジャスト）”は表示されませんので、時刻表示を選択してください。

時刻を確認するには

電源“OFF（オフ）”のときは…

DISPLAY を押す。

時刻が暗く表示されて、約5秒たつと消えます。

電源“ON（オン）”のときは…

1 TIMER/DELETE を押す。

2 10秒以内に…ジョグダイヤルを回して時刻の表示を選ぶ。
（リモコンの ⏶ または ⏷ で選ぶこともできます。）

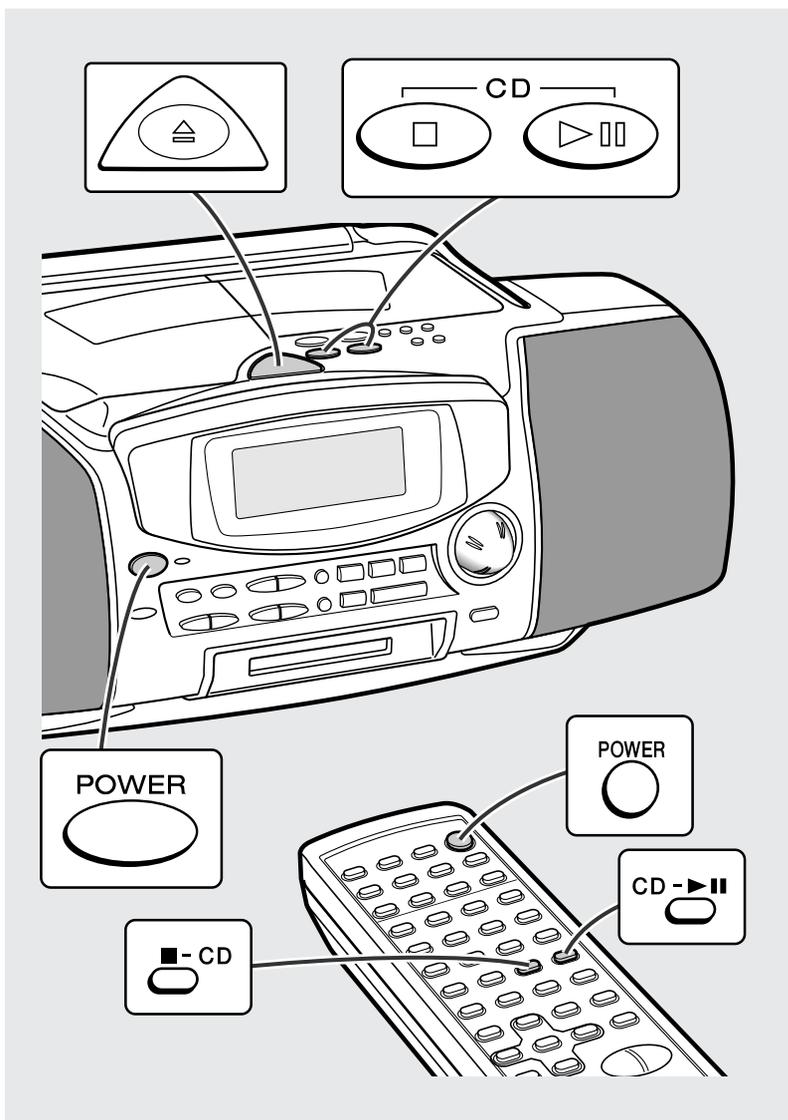
約10秒たつと、もとの表示に戻ります。

ご注意

電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計の設定は消えてしまいます。
時刻を確認したとき、“TIME（タイム） ADJUST（アジャスト）”が表示されたら、時計を合わせ直してください。

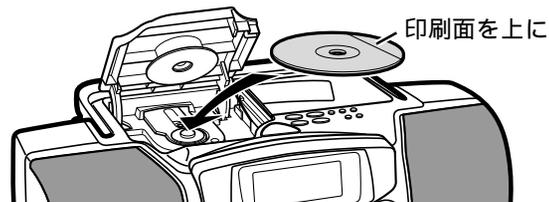
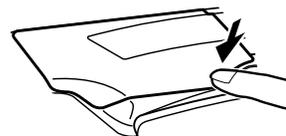
お知らせ

この製品の時計（年・月・日）は、2000年1月1日～2049年12月31日まで対応しています。

CDを聞く

1 POWER を押して、電源を入れる。

2 CD □ を押して、入力を「CD」にする。

CD NO DISC

3 ⏏ を押してCDブタを開け、CDを入れる。

4 PUSH CLOSE 部分を押して、CDブタを閉める。

5 CD ▷⏸ を押して、再生を始める。

1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。

■ 音量や音質の調整 ☞ P.27

停止するには

再生中に… を押す。

一時停止するには

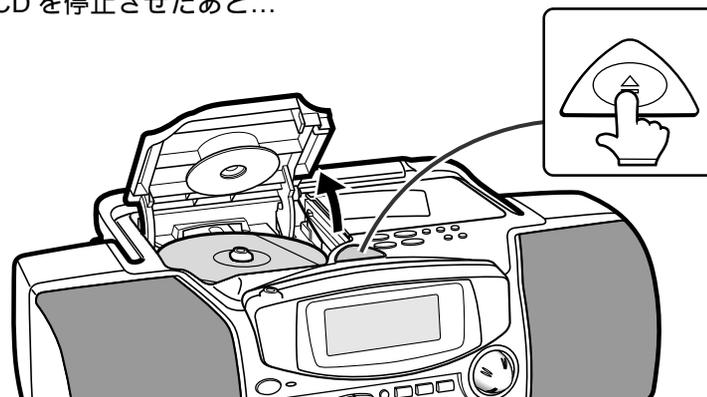
再生中に… を押す。
もう一度押すと、止めた位置から再生します。

曲の頭出しをするには

本体操作 リモコン操作	本体操作 リモコン操作
今聞いている曲の頭から再生するには	**次の曲の頭から再生するには**
再生中に… **ジョグダイヤルを左に１段回す**	再生中に… **ジョグダイヤルを右に１段回す**
前の曲番を選ぶには	**次の曲番を選ぶには**
停止中に… **ジョグダイヤルを左に１段回す**	停止中に… **ジョグダイヤルを右に１段回す**
回し続けると、次々と前の曲番へ移動します。	回し続けると、次々と後の曲番へ移動します。

停止中に聞きたい曲番を表示させたあと、 を押すと、その曲の最初から再生を始めます。

CDを取り出すには

CDを停止させたあと…

ご注意

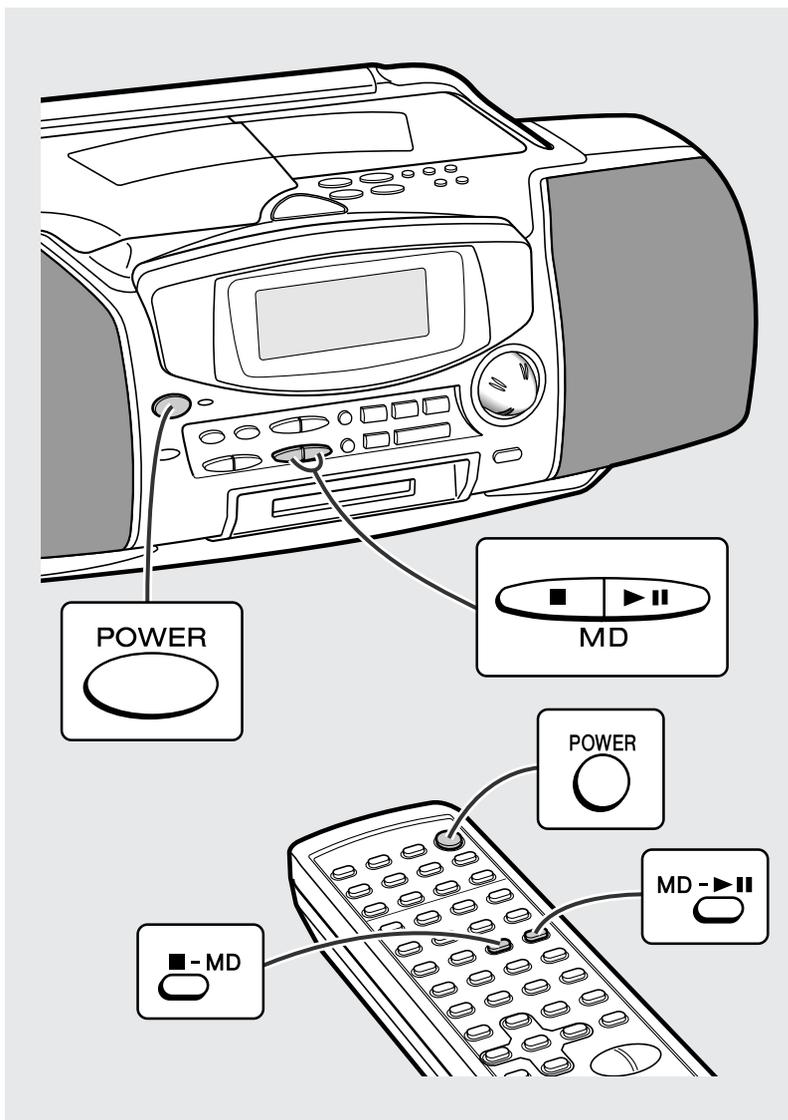
- CDを再生しているときにCDブタを開けないでください。CDを傷めたり、故障の原因となることがあります。
- 特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは、使用しないでください。高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみだしたり、はがしたあとがあるものは使用しないでください。

お知らせ

- 本体に衝撃を与えたり、振動しやすい場所で使うと、音とびを起こすことがあります。安定した場所でお使いください。
- CDの内容によっては、音量の上げすぎで音とびを起こすこともあります。そのときは、音量を少し下げてお聞きください。
- キズがついていたり、汚れているCDを使うと、音とびの原因となります。

■ 再生中の時間表示 ☞ P.32

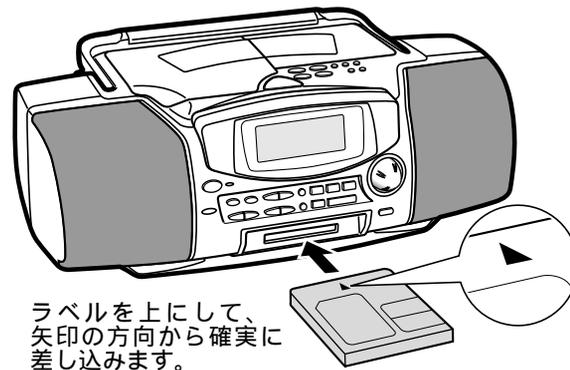
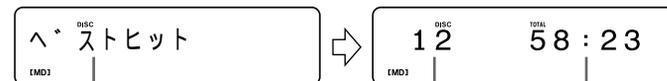
MDを聞く

POWER
■ ▶II
MD
POWER
MD-▶II
■-MD

1 POWER を押して、電源を入れる。

2 ■ MD を押して、入力を「MD」にする。

MD NO DISC
【MD】

3 MDを入れる。

ヘ゛ストヒット　⇨　DISC 12　TOTAL 58：23

ディスク名（ディスク名が入っていないときは、表示されません。）
総曲数
総再生時間

4 ▶II MD を押して、再生を始める。

- 曲名が入っているときは、曲名を表示したあと、再生経過時間を表示します。
- 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。
- 録音されたときの録音モードで再生します。（☞ P.36）

■ 音量や音質の調整 ☞ P.27

停止するには

再生中に… ■MD を押す。

一時停止するには

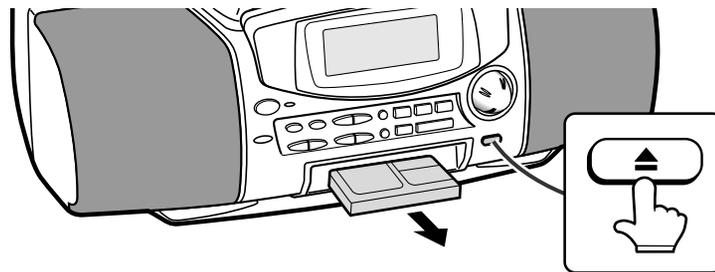
再生中に… ►II MD を押す。
もう一度押すと、止めた位置から再生します。

曲の頭出しをするには

本体操作　リモコン操作	本体操作　リモコン操作
今聞いている曲の頭から再生するには	**次の曲の頭から再生するには**
再生中に… **ジョグダイヤルを左に1段回す**	再生中に… **ジョグダイヤルを右に1段回す**
前の曲番を選ぶには	**次の曲番を選ぶには**
停止中に… **ジョグダイヤルを左に1段回す**	停止中に… **ジョグダイヤルを右に1段回す**
回し続けると、次々と前の曲番へ移動します。	回し続けると、次々と後の曲番へ移動します。

停止中に聞きたい曲番を表示させたあと、 ►II MD を押すと、その曲の最初から再生を始めます。

MDを取り出すには

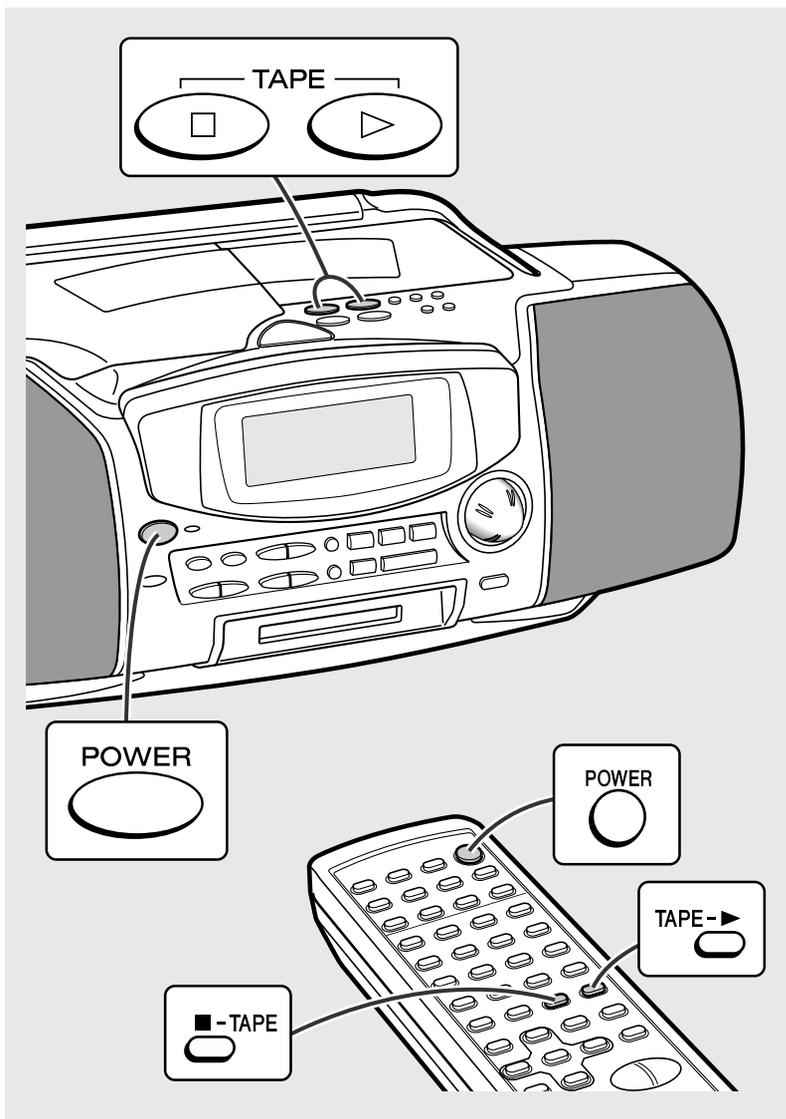
MDを停止させたあと…

ご注意

- MDを入れるときは、必ず電源を入れてください。
  電源が切れているときに、無理にMDを押し込むと、故障の原因となります。
  誤ってMDを押し込んだときは、MDを取り出そうとせず、電源を入れて ▲ を押してください。
- 製品を移動させるときは、必ずMDを取り出し、電源を切ったあとで電源コードを抜いてください。
  MDを入れたまま移動させると、MDが製品の中につまって、故障の原因となることがあります。

お知らせ

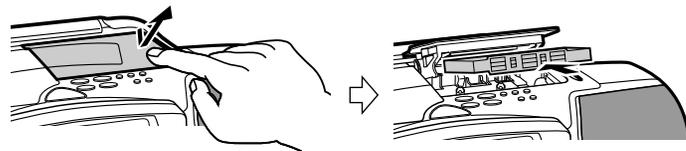
- [文字情報 英語] マークがついている再生専用MD（市販の音楽ソフトなど）は、曲名などの文字情報が表示できます。
- 使用中は、MDが温かくなりますが、異常ではありません。
- MDは振動に対して音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。
- MDを操作中に“Can't（キャント） READ（リード） ※”などのメッセージが表示されたときは、「こんな表示が出たときは」をごらんください。（☞ P.78）

■ 再生中の時間表示 ☞ P.32

テープを聞く

1 POWER を押して、電源を入れる。

2 TAPE □ を押して、入力を「テープ」にする。

TAPE

3 PUSH OPEN/CLOSE 部分を押して、カセットホルダーを開け、テープを入れる。

再生したい面を上にして入れてください。

4 PUSH OPEN/CLOSE 部分を押して、カセットホルダーを閉める。

5 TAPE ▷ を押して、再生を始める。

- テープが最後まで巻き取られると自動的に停止します。
- 反対の面をお聞きになるときは、一度テープを取り出し、反対の面を上にして再生してください。

TAPE □ ▷

POWER

POWER

TAPE-►

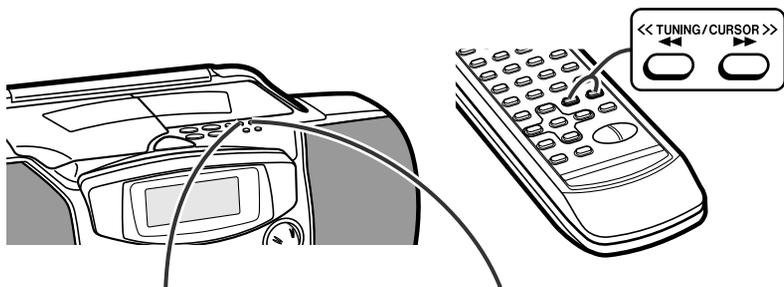
■-TAPE

■ 音量や音質の調整 ☞ P.27

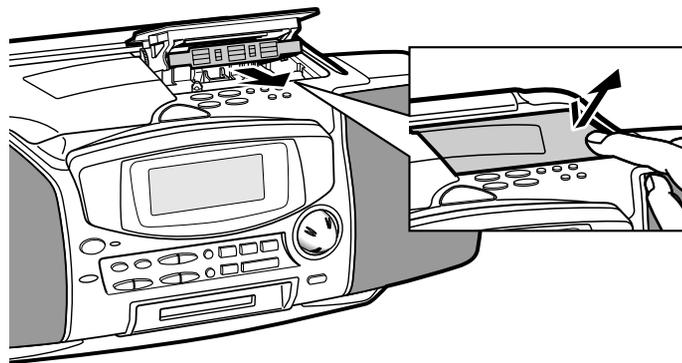
停止するには

再生中に… を押す。

巻戻しや早送りをするには

入力を「テープ」にして…

テープを巻き戻すには	テープを早送りするには
を押す。	を押す。
最初まで巻き取られると、自動的に停止します。	最後まで巻き取られると、自動的に停止します。

テープを取り出すには

テープを停止させたあと…

ご注意

- テープを取り出すときは、必ずテープを停止してください。
- テープの動作中にカセットホルダーを開けないでください。
  テープを傷めたり、故障の原因となります。

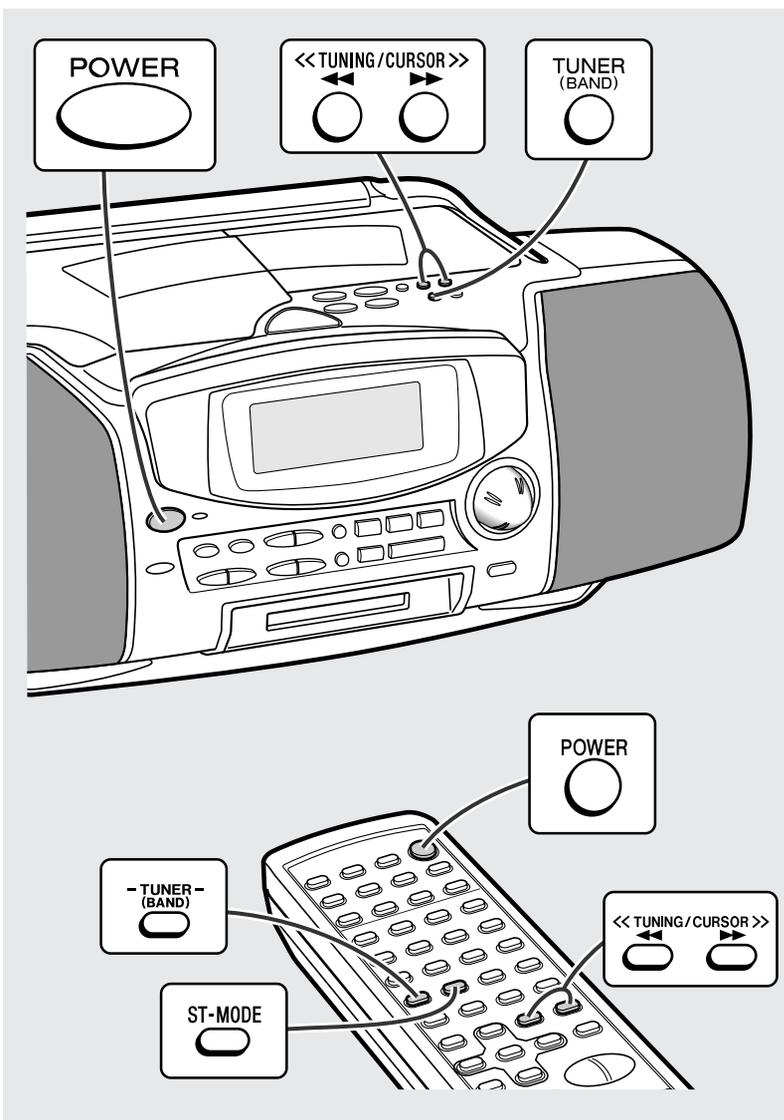
お知らせ

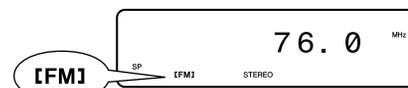
- 使用できるテープは、ノーマルテープ（録音／再生）・ハイポジションテープ（再生のみ）・メタルテープ（再生のみ）です。
  テープを入れると、自動的にテープの種類を検出します。

- 使用中は、テープが温かくなりますが、異常ではありません。

■ カセットテープについて ☞ P.74

ラジオ放送を聞く

POWER
<< TUNING/CURSOR >>
TUNER (BAND)
POWER
TUNER (BAND)
<< TUNING/CURSOR >>
ST-MODE

1 POWER を押して、電源を入れる。

2 TUNER (BAND) を押して、「FM」または「AM」を選ぶ。

ボタンを押すたびに、「FM」または「AM」に切り換わります。

3 << TUNING/CURSOR >> を押して、放送局を選ぶ。

自動同調：ボタンを 0.5 秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。
手動同調：ボタンを小きざみに押して、希望する放送局を受信します。

テレビ音声は次の周波数で受信できます。
1 チャンネル ：FM 95.75MHz
2 チャンネル ：FM 101.75MHz
3 チャンネル ：FM 107.75MHz

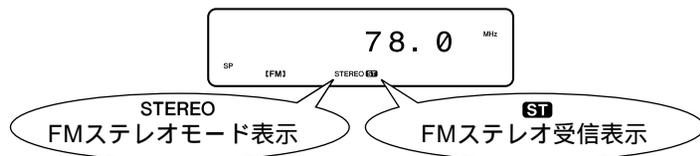
■ 音量や音質の調整 ☞ P.27

FM ステレオ放送を受信するには

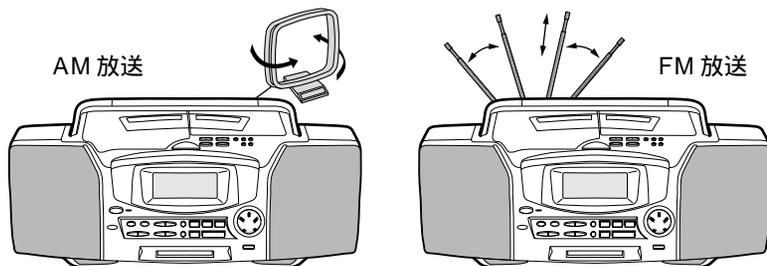
FM を選んでいるときに…

リモコンの ST-MODE を押して、" STEREO(ステレオ) " 表示を点灯させる。

STEREO 表示（点灯）	FM ステレオモードです。
STEREO 表示（消灯）	FM モノラルモードです。

FM ステレオ放送を受信すると " ST " 表示が点灯します。

FMステレオ放送を受信しても電波が弱いと" ST "が点灯しません。
このときは、音がでませんので、FMモノラルモードに切り換えて受信してください。

アンテナを調整するには

AM 放送

AM アンテナで調整します。
AMアンテナはできるだけ本体から離れた位置で、方向を変えてください。

FM 放送

FM アンテナで調整します。
長さや方向を変えてください。

お知らせ

- 自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。
  このときは、手動同調をお使いください。
- この製品のテレビ音声受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、テレビの 2 または 3 チャンネルの音声を受信したときに、FM 放送が混信することがあります。
- テレビ音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声やAM放送は、モノラルで受信されますので、ステレオにはなりません。
- テレビ音声を受信中に" ブー "という音がしたり、同調が不安定になったときは、アンテナを調整したり、置き場所を変えてください。
- 日本国内の FM 放送は、76 ～ 90MHz が使用されていますが、この製品はテレビ音声を受信するために、108MHzまで受信することができます。

■ 放送局の登録 ☞ P.26

放送局を記憶させて聞く

放送局を登録するには

放送局は、AM 放送・FM 放送を合わせて、40 局まで登録できます。

1 登録したい放送局を受信する。
FM 放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも記憶されます。

2 ENTER を押して、登録モードにする。

3 5 秒以内に… ジョグダイヤルを回して、登録する番号を選ぶ。

登録する番号 — P 1 78.0 MHz SP 【FM】 STEREO ST

リモコンの ⏮ または ⏭ を押して、選ぶこともできます。

4 5 秒以内に… ENTER を押す。

P 1 78.0 MHz SP 【FM】 STEREO ST

すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

１からの操作をくり返し、希望の放送局を登録します。

登録した放送局を呼び出すには

1 電源を入れて… TUNER (BAND) を押す。

2 ジョグダイヤルを回して、登録した番号を選ぶ。

リモコンのダイレクトボタンを使うと便利

■ 1 〜 10 局目… 1 〜 10/0 で登録した番号を選ぶ。

■ 11 〜 40 局目… >10 を押したあと、登録した番号を選ぶ。

例）28 局目 >10 → 2 8

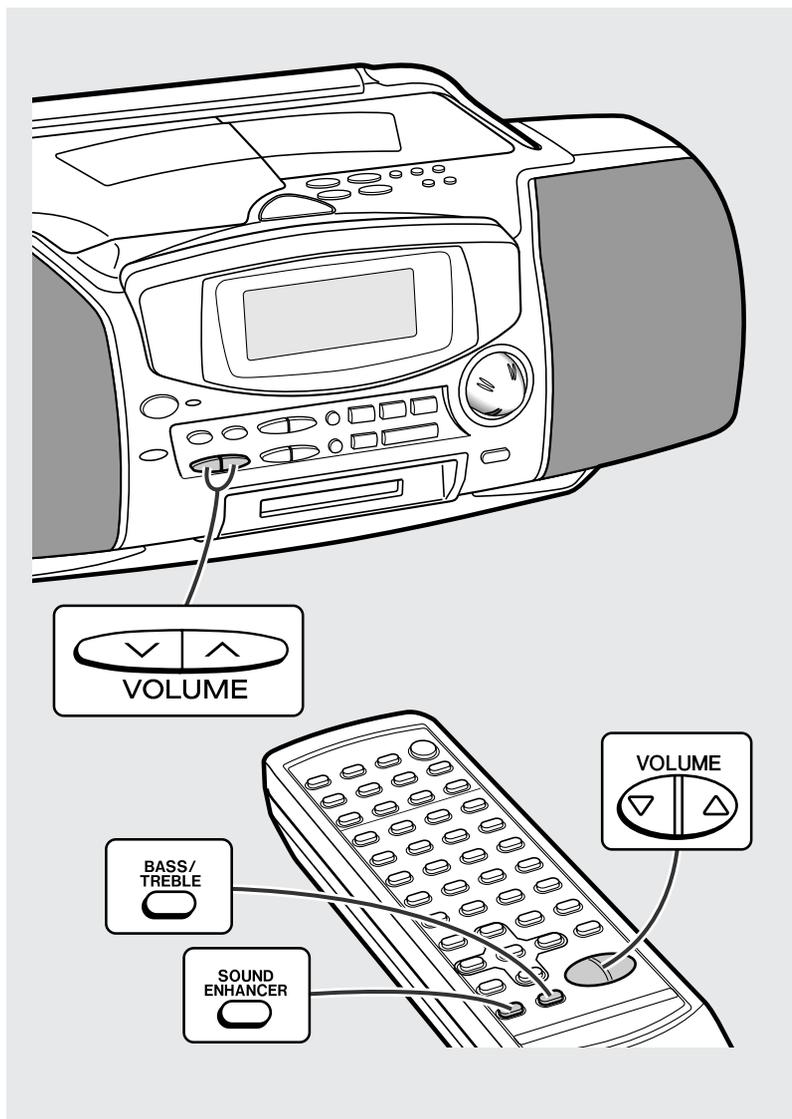
ボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。

1 日以上電源コードを抜いていたり、停電があると、登録した放送局は消えます。
そのときは、もう一度登録し直してください。

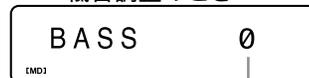
■ ラジオ放送の受信 ☞ P.24

音量や音質を調整する

音量を調整するには

VOLUME ∨（小）または VOLUME ∧（大）を押す。

音質（低音・高音）を変えるには

1 リモコンの BASS/TREBLE をくり返し押して、“ BASS（バス） ”（低音）または “ TREBLE（トレブル） ”（高音）を選ぶ。

2 ３秒以内に、リモコンの VOLUME ▽ △ を押す。

音にメリハリをつけるには　（サウンドエンハンサー）

リモコンの SOUND ENHANCER をくり返し押して、“ S.E.1 ”、“ S.E.2 ”、“ S.E.OFF ” を選ぶ。

音のメリハリが強調される	音のメリハリがさらに強調される	音のメリハリを強調しないとき
S. E. 1	S. E. 2	S. E. OFF

聞きたい曲から聞く（ダイレクト選曲）

1

CDを操作するとき

CDを入れたあと…

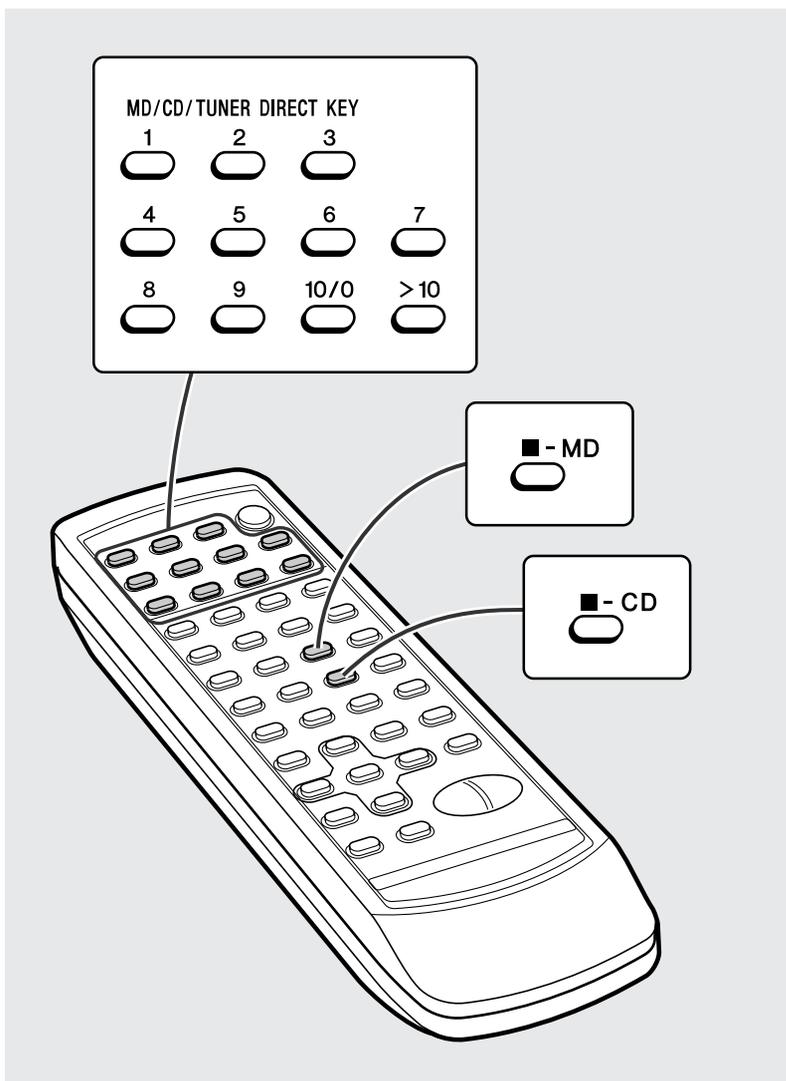
■-CD を押す。

MDを操作するとき

MDを入れたあと…

■-MD を押す。

2 リモコンの 1 ～ >10 で、聞きたい曲番を指定する。

曲番 — 5 TRACK 0：05 SP [MD] ▶

指定した曲から再生が始まります。

■ 11～99曲目を指定するときは

>10 を押したあと、曲番を指定。

例）28曲目　>10 → 2 8

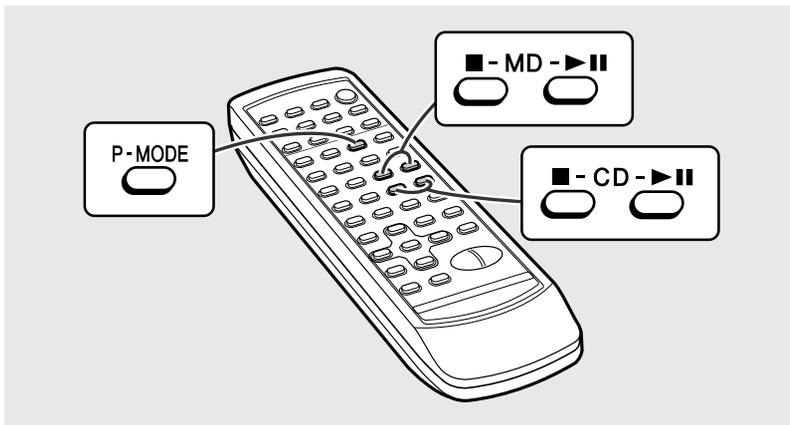
■ 100曲目以降を指定するときは（MDのみ）

>10 を2回押したあと、曲番を指定。

例）105曲目　>10 >10 → 1 10/0 5

お知らせ

- ダイレクトボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。
- ランダム再生（☞ P.29）やプログラム選曲（☞ P.30）を設定しているときは、ダイレクト選曲はできません。

くり返して聞く・順不同で聞く （リピート再生・ランダム再生）

再生の動作は…

ノーマル再生	最後の曲を再生すると停止します。
リピート再生	再生を止めるまで続きます。 お聞きになったあとは、必ず停止してください。
ランダム再生	すべての曲を順不同に再生すると停止します。 （同じ曲は２回再生しません）

ノーマル再生に戻すには

リモコンの P-MODE をくり返し押して、“ NORMAL（ノーマル）” を選ぶ。

1 CDを操作するとき

CDを入れたあと…

■-CD を押す。

MDを操作するとき

MDを入れたあと…

■-MD を押す。

2 リモコンの P-MODE を押して、再生モードを選ぶ。

ノーマル再生　リピート再生　ランダム再生

NORMAL　REPEAT　RANDOM

点灯　RANDOM 点灯

3 再生を開始する。

CDを操作するとき

CD-►II を押す。

MDを操作するとき

MD-►II を押す。

プログラム再生とリピート再生を組み合わせて使うと便利

聞きたい曲だけをくり返して聞くには

プログラム選曲をしたあとに、リピート再生をします。

１曲だけをくり返して聞くには

プログラム選曲で１曲登録したあとに、リピート再生をします。

お知らせ

- CDやMDの再生中に再生モードを切り換えると、その時点からリピート再生またはランダム再生されます。
- MDのリピート再生やランダム再生の設定は、MDの録音操作をすると、解除されます。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。（自分で選曲できません。）
- プログラム選曲を設定しているときは、ランダム再生はできません。

■ プログラム選曲 ☞ P.30

好きな曲だけを記憶させて聞く（プログラム選曲）

CDやMDの好きな曲を、好きな順に再生することができます。
CDとMDは別々にそれぞれ20曲まで選べます。

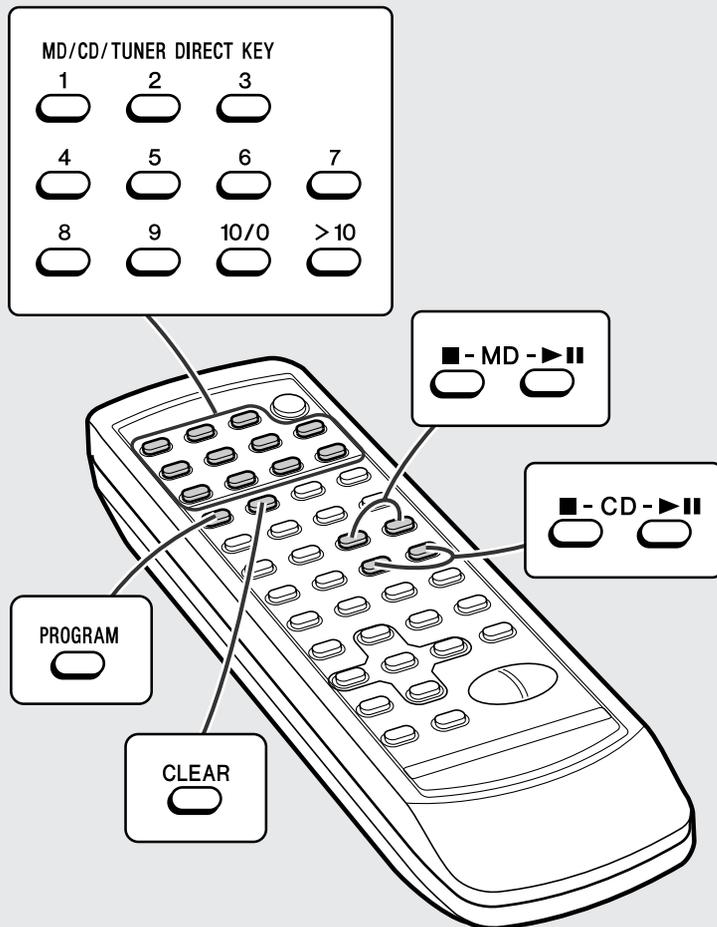
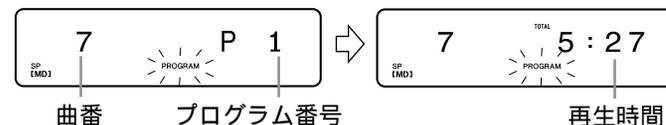
1

CDを操作するとき

CDを入れたあと…
■-CD を押す。

MDを操作するとき

MDを入れたあと…
■-MD を押す。

2 リモコンの PROGRAM を押す。

3 リモコンの 1 〜 >10 で、聞きたい曲番を指定する。

曲番を間違えたときは

登録中に、CLEAR を押すと、最後に選んだ曲が取り消されます。
続けて押すと順に取り消されます。

4 3の操作をくり返し、聞きたい曲番を順に指定する。

プログラムの総再生時間が399分59秒を超えると“ー：ー”が表示されますが、記憶されています。

■ 曲の指定方法 ☞ P.28

5 登録が終わったら…

CDを操作するとき	MDを操作するとき
■-CD を押す。	■-MD を押す。

6 再生を開始する。

CDを操作するとき	MDを操作するとき
CD-►II を押す。	MD-►II を押す。

最後に登録している曲の再生が終わると、自動的に停止します。

再生が終わっても曲の登録は覚えています。

登録した順番を確かめるには

停止中に… ⏮ または ⏭ を押す。

ボタンを押すたびに、登録した曲番が順に表示されます。

曲を追加するには

プログラム選曲を設定したあとに…

１～５の操作をくり返します。

前に選んでいる曲のあとに、追加されます。
（曲の順番を入れ換えることはできません。）

登録を取り消すには

1 ■-CD または ■-MD を押して、入力を選ぶ。

2 停止中に… CLEAR を押す。

選んだ入力（CDまたはMD）の全曲の登録が取り消されます。
CDやMDを取り出したときも、それぞれの登録は取り消されます。

MDの場合は、曲名を確認しながら登録することができます

1 ■-MD を押して、入力を「MD」にする。

2 PROGRAM を押す。

3 ⏮ または ⏭ を押して、聞きたい曲番を選ぶ。
このとき、曲名が確認できます。

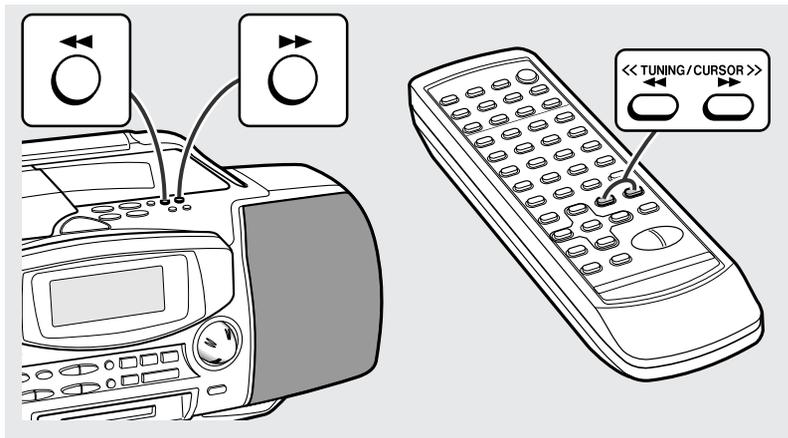
4 PROGRAM を押す。

5 上記の **3** ～ **4** の操作をくり返して、曲番を指定する。

6 登録が終われば、■-MD を押す。

お知らせ

- 再生中や一時停止中には、曲を登録したり、取り消すことはできません。
- CDやMDをプログラム選曲して、好きな曲だけを録音することができます。
CDからはMDまたはテープに、MDからはテープに録音できます。
（録音が終わっても、曲の登録は覚えています。）
- プログラム選曲で曲の登録をしたMDに、CDやテープから録音すると、MDのプログラム選曲は取り消されます。

再生中に聞きたい位置を探す

曲を早く戻すには（早戻し）

再生中に… ◀◀ を押し続ける。

- ボタンから指を離すと、その位置から再生します。
- 最初の曲の頭まで行くと、通常の再生になります。

曲を早く送るには（早送り）

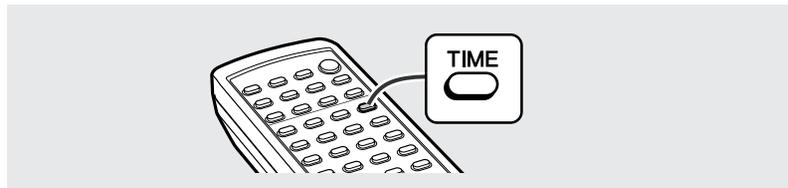
再生中に… ▶▶ を押し続ける。

- ボタンから指を離すと、その位置から再生します。
- 最後の曲の終わりまで行くと、“END（エンド）”が表示され、一時停止状態になります。

お知らせ

一時停止をしているときに、早戻し・早送りの操作をすると、再生中より早く探せます。

- このとき、音は出ませんので時間表示を目安にしてください。
- ボタンから指を離すと、その位置で一時停止状態になります。

再生時間表示を確認する

再生経過時間や再生残り時間を確かめるには

再生中または一時停止中に…

リモコンの TIME をくり返して押す。

曲ごとの再生経過時間
TRACK 1 0:03 SP [MD] ▶

曲ごとの再生残り時間
TRACK 1 − 3:12 SP [MD] ▶

総再生残り時間
1 − TOTAL 27:29 SP [MD] ▶

（ランダム再生中は、表示しません。）

再生時間を確かめるには

停止中に曲番を選び…

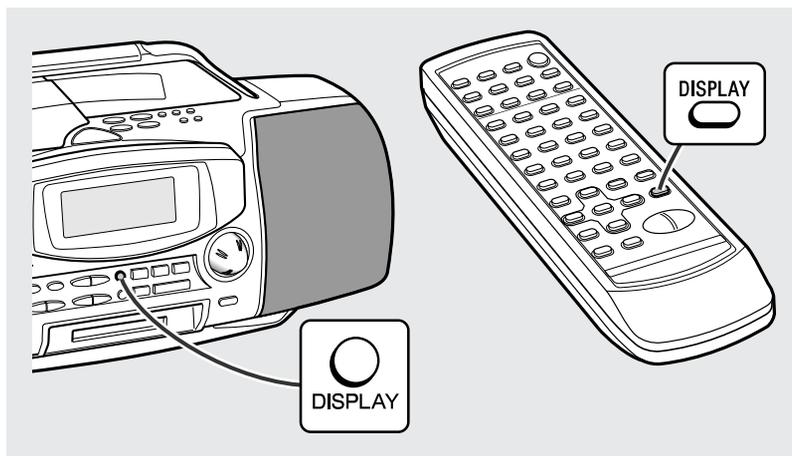
リモコンの TIME をくり返して押す。

選んだ曲の再生時間
TRACK 2 3:27 SP [MD]

選んだ曲以降の総再生残り時間
2 − TOTAL 24:17 SP [MD]

お知らせ

- CDやMDによっては、再生時間に曲間の無音時間を含めていないものもあります。
そのため、ジャケット等に記載されている再生時間と、この製品での表示内容が合わないことがあります。
- 再生中の経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。

表示内容を切り換える

CDの表示を切り換えるには

CDの再生中に…

DISPLAY をくり返して押す。

- レベルメーターの表示にすると、再生中はその表示のままになります。
- 再生の一時停止中や停止中は、表示を切り換えることはできません。

MDの表示を切り換えるには

MDの再生中または一時停止中に…

DISPLAY をくり返して押す。

- 曲名またはレベルメーターの表示にすると、再生中はその表示のままになります。
- MDを取り出すと、再生経過時間の表示に戻ります。

お知らせ

- 再生専用MDは、録音残り時間・録音日・録音時刻は表示されません。
- ひらがなや漢字で入力されているMDは、曲名は表示されません。

録音する前に、知っておいていただきたいこと

試し録音について

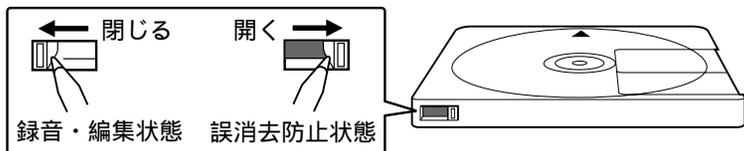
- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
  （CD から MD に試し録音するときは、定速で録音してください。）
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（☞ P.74）

MD の誤消去防止用ツマミについて

MD に録音や編集（☞ P.36、54）をするときは、誤消去防止用ツマミが閉じていることを確かめてください。

誤消去防止用ツマミが開いていると“ PROTECTED（プロテクテッド）”と表示され、録音や編集ができません。

録音が終わったあとは、大切な録音を誤って消さないために、誤消去防止用ツマミを開いておくことをおすすめします。

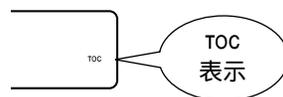
MD の 4 倍長時間録音（LP4）についてのご注意

4 倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。

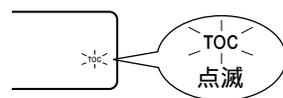
音質を重視する録音を行うときは、ステレオ録音（SP）または 2 倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

MDのTOC（トック）（Table of Contents）について

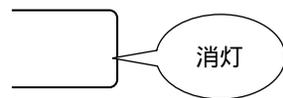
TOC とは、曲番や録音場所など、曲を認識するための目次情報です。再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、この TOC で MD 全体を管理しているからです。
録音や編集をすると、画面に“ TOC ”が表示されます。

“ TOC ” の表示中は…

録音や編集によって、TOCの情報が変更されていることを表しています。

この時点では、まだ録音や編集した情報は MD には記録されていません。

“ TOC ” の点滅中は…

録音や編集した情報をMDに記録中です。

TOCはこのようなときに記録されます。
- 録音を停止したとき
- MDから他の入力に切り換えたとき
- MD を取り出したとき
- 電源を切ったとき

“ TOC ” が消灯すると…

録音や編集した情報が MD に記録されました。

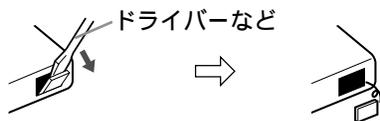
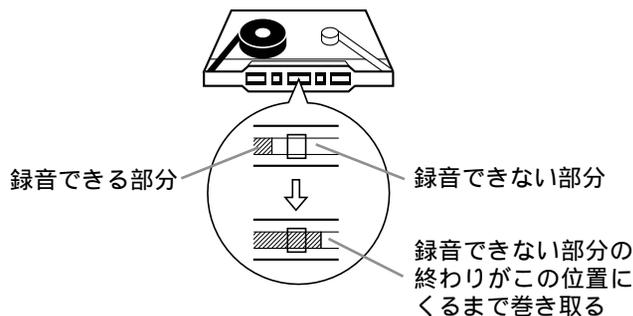
“ TOC ”が表示中または点滅中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。録音や編集した情報が記録されません。

テープの誤消去防止用ツメについて

テープに録音をするときは、誤消去防止用ツメがあることを確かめてください。
テープには、表面（A面）と裏面（B面）に誤消去防止用のツメがついています。

ツメがないテープに録音するときは、セロハンテープなどでふさぎます。

誤消去防止用ツメが折ってあると“PROTECTED（プロテクテッド）”と表示され、録音ができません。

大切な録音を誤って消さないために、録音が終わったあとに、誤消去防止用ツメをとりのぞいておきます。

テープの始めの透明部分について

透明部分（リーダーテープ）には録音できませんので、あらかじめ巻き取っておいてください。巻き取っていないと、録音したつもりでも最初の数秒間は録音されません。

録音用テープの種類について

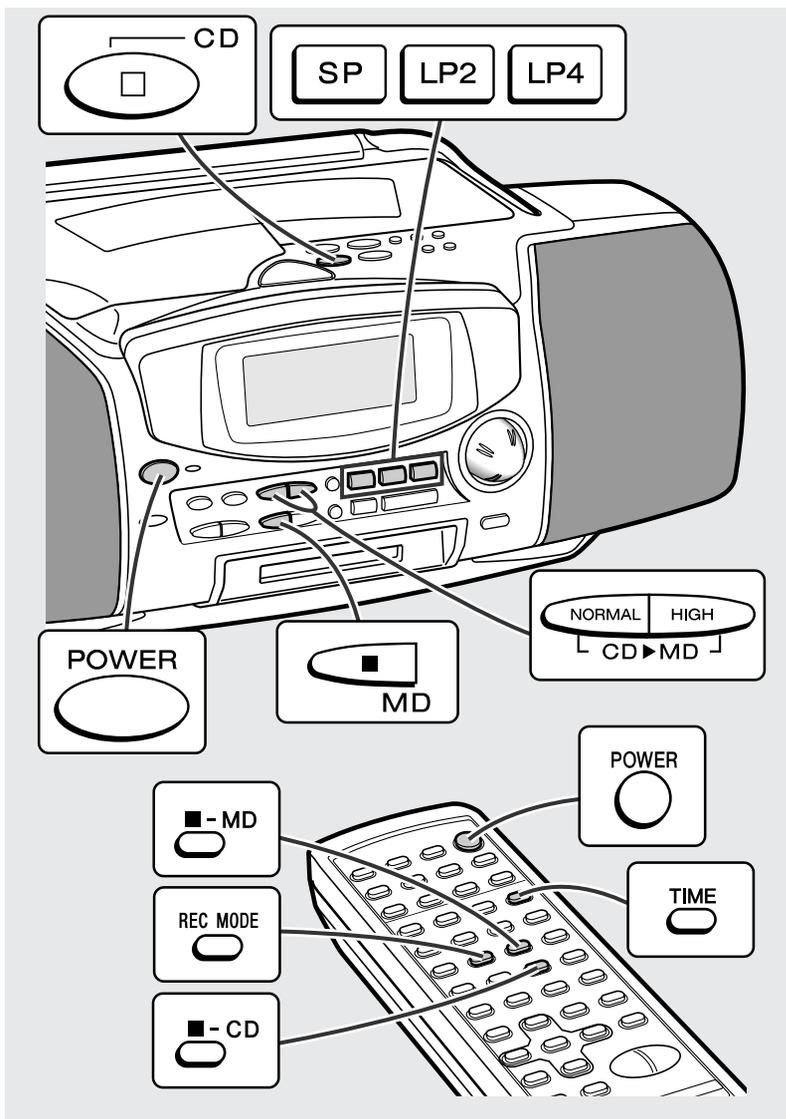
録音用のテープは、ノーマルテープを使用してください。
（ハイポジションテープやメタルテープは使用できません。）

ご注意

- テレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くでは、録音しないでください。録音に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してお使いください。
- CDのキズ、汚れや記録状態により、倍速で録音したMDに音切れや雑音が生じることがあります。このときは、定速で録音してください。
- 録音中、本体に衝撃や振動を与えないでください。音とびを起こす原因となります。

お知らせ

- 録音中に、音量・音質・サウンドエンハンサーを調整しても、録音には影響ありません。
- MDに録音をする前に日付・時刻を合わせておくと、録音した日時が記録されます。
（録音中に、日付・時刻を合わせても、録音日時は記録されません。）
- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）には録音できません。

CDからMDへ録音する （ワンタッチエディット）

1 POWER を押して、電源を入れる。

2 CD を押して、入力を「CD」にする。

3 再生するCDを入れる。

4 録音用MDを入れる。

5 SP 、LP2 または LP4 を押して、録音モードを選ぶ。

モノラル録音（MONO）を選ぶには、リモコンの REC MODE をくり返し押して、“MONO”を表示させます。

録音モード表示

表示	録音モード	録音時間（80分のMDに録音する場合）
SP	ステレオ録音	最大80分
LP2	2倍長時間録音（ステレオ）	最大160分
LP4	4倍長時間録音（ステレオ）	最大320分
MONO	モノラル録音	最大160分

- 録音中は切り換えができません。
- 録音モードは次に変更するまで変わりません。

■ 録音残り時間の確認 ☞ P.38

5 録音を開始する。

定速で録音するとき

NORMAL CD▶MD を押す。

CD▶MD NORM.

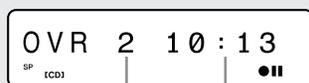
倍速で録音するとき

HIGH CD▶MD を押す。

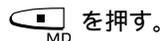
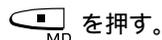
CD▶MD HIGH

- 録音はデジタル録音になります。
- 録音が終わると、CDとMDが自動的に停止します。

録音できない曲があるときは

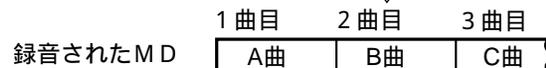
CDに入っている全曲の収録ができないときは、NORMAL CD▶MD や HIGH CD▶MD を１回押しても、次のように表示され録音は始まりません。

録音できない曲数・時間をもう一度確かめるには、リモコンの TIME を押します。

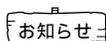
このあと、録音できる曲だけ録音するには
もう一度 NORMAL CD▶MD または HIGH CD▶MD を押す。

録音をやめるには
■ MD を押す。

録音を停止するには

■ MD を押す。

CDとMDが停止したあと、MDに曲番を書き込みます。
録音中に一時停止することはできません。

曲番について

CDについている曲番と同じところに、曲番が自動的につきます。

CDによっては、CDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

お知らせ

２倍・４倍長時間録音（LP2・LP4）をした曲は、２倍・４倍長時間再生に対応していない機器では再生できません。対応していない機器で再生すると、曲名の頭に“LP：”が表示され、無音状態となります。
（機器によっては、動作・表示の異なる場合があります。）

■ 倍速録音の制約について ☞ P.39

CD からMDへ録音する（続き）　（ワンタッチエディット）

MD の録音残り時間を確かめるには

MD の停止中に…

入力を「MD」にして SP 、LP2 または LP4 を押す。
（それぞれの録音モードに合わせて、残り時間が表示されます。）

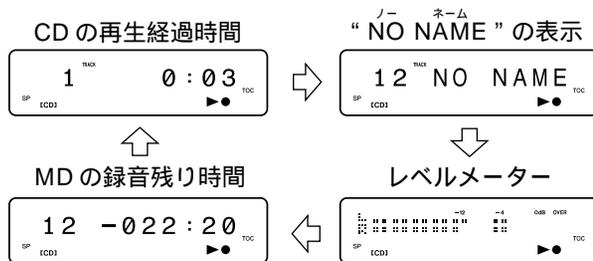
SP　−022:20 【MD】

（例）
ステレオ録音（SP）モード

録音残り時間を表示したあと、もとの表示に戻ります。

モノラル録音（MONO）での残り時間を確かめるには、リモコンの REC MODE をくり返し押して“MONO（モノ）”を表示させてください。

録音中の表示内容を切り換えるには

録音中に…

DISPLAY をくり返して押す。

- レベルメーターや MD の録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。
  録音を停止すると、もとの表示に戻ります。
- モノラル録音（MONO）モードにしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

CD の再生と同時にMDへ録音するには　（シンクロ録音）

1 CD □ を押して、入力を「CD」にする。
このあと、ジョグダイヤルを回して曲番を選んでおくと、その曲から録音を始めることができます。

2 録音モードを選ぶ。（ ☞ P.36）

3 ● MD REC を押す。

4 CD ▷II を押して、録音を開始する。

お知らせ
シンクロ録音のときは、倍速では録音できません。

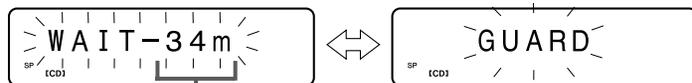
■ いろいろな録音 ☞ P.46

倍速録音の制約について

この製品は、CDからMDへ録音をするとき通常の半分の時間で録音することができます。（倍速録音）
倍速録音では、著作権保護を目的とした制約があります。

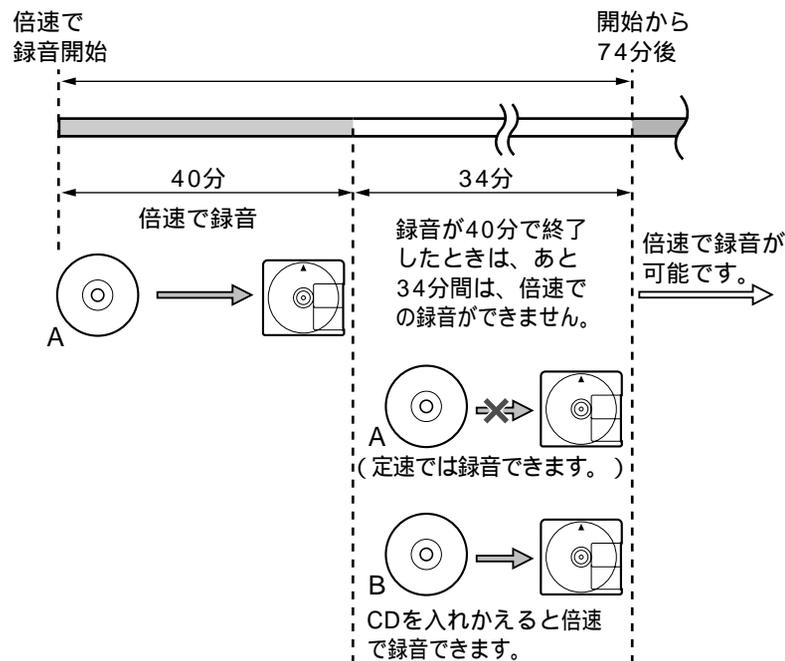
■ 著作権保護を目的とした制約

CDからMDへ一度倍速録音をしたあと、再び同じCDから倍速録音するときは、次に録音を始めるまでの、待ち時間が必要となります。

（例）
たとえば、CDからMDへの倍速録音が40分間で終了した場合、再び同じCDから倍速録音をするときには、34分間お待ちいただくことになります。

お待ちいただく時間（34分）

- 同じCDは、1回目の倍速録音を開始してから、74分経過した後で2回目の倍速録音が開始できます。
- 同じCDから74分以内に2回目の録音をしたい場合は、定速で録音してください。

次のようなときも、７４分間は、倍速で録音をすることができません。

- 倍速録音を途中で止めたり、1曲でも倍速録音したCDから、もう一度録音しようとしたとき。
- 20枚のCDから倍速録音したあと､21枚目を録音しようとしたとき。

お知らせ

- 倍速の録音中は、通常の2倍の速度でCDの音が再生されます。
- 倍速の録音中に、音量・音質・サウンドエンハンサーを調整することができますが、録音される音声は変わりません。
- テープへ録音するときは、定速の録音になります。

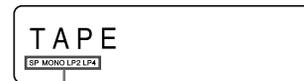
テープからMDへ録音する（シンクロ録音）

1 電源を入れて…
再生するテープを入れ、TAPE □ を押す。

再生する面を上にして入れてください。

2 録音用 MD を入れる。

3 SP 、LP2 または LP4 を押して、録音モードを選ぶ。

モノラル録音（MONO）を選ぶには、リモコンの REC MODE をくり返し押して、“ MONO ” を表示させます。

TAPE
SP MONO LP2 LP4

録音モード表示

- 録音中は切り換えができません。
- 録音モードは次に変更するまで変わりません。

4 リモコンの A-MARK を押して、オートマークの設定を切り換える。

オートマーク「オン」	オートマーク「オフ」
A. MARK ON SP	A. MARK OFF SP
再生音に1秒以上の無音部分があると、MD に曲番が自動的につきます。	1 回の録音が、ひと続きの曲として MD に録音されます。

オートマークは、入力が「TAPE」や「AUX」のときに選べます。

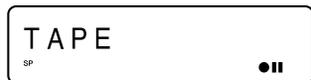
■ 録音モードについて ☞ P.36

5 **を押す。**

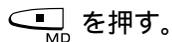
TAPE

録音の一時停止状態になります。

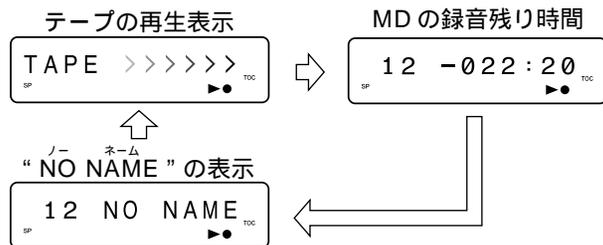
6 TAPE ▷ **を押して、録音を始める。**

TAPE >>>>>>

- テープが再生され、録音が始まります。
- テープの再生が終わると、MDは録音の一時停止状態になります。

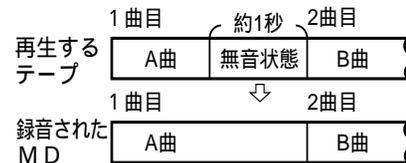
録音を停止するには

■ MD **を押す。**

MD に曲番を書き込んだあと MD が停止します。

録音中の表示を切り換えるには

録音中に… DISPLAY **をくり返して押す。**

MD の録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。録音を停止すると、もとの表示に戻ります。

曲番について

	オートマーク「オン」のとき	オートマーク「オフ」のとき
	再生音に 1 秒以上の無音があると自動的に曲番がつきます。	1 回の録音がひと続きの曲として録音されます。

録音を停止したり、一時停止すると…
次に録音を再開したときは、曲番が１つ増えます。

録音中に自分で曲番をつけるには

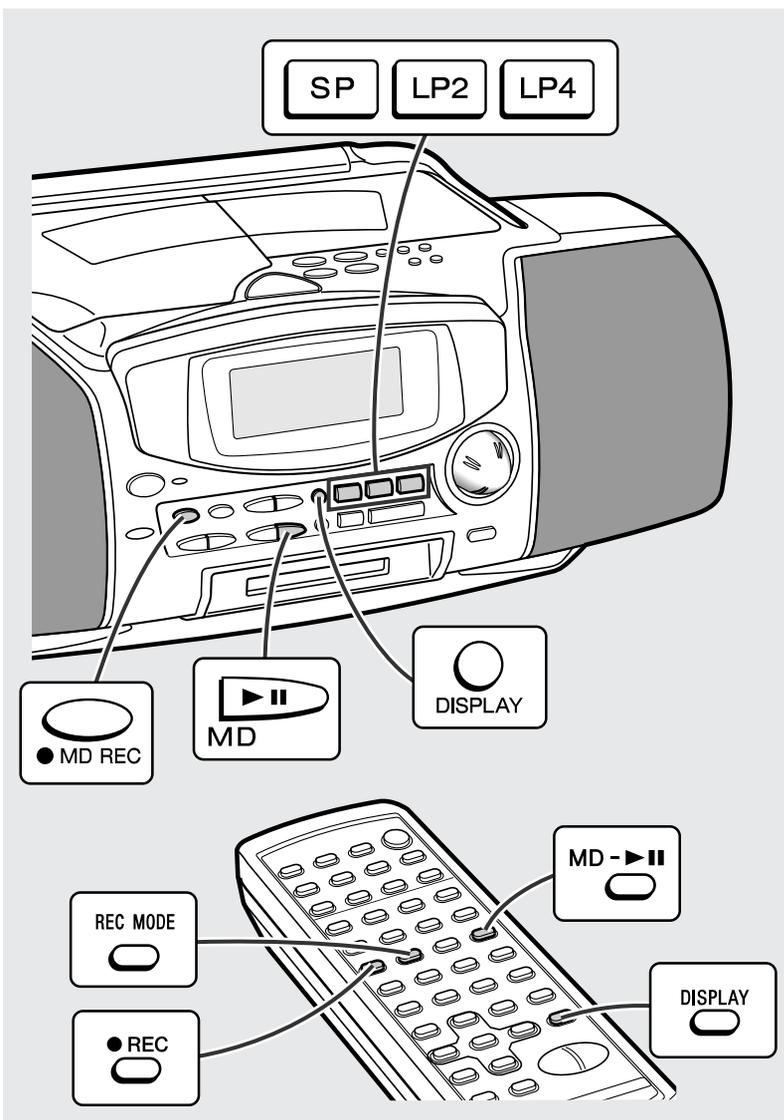
オートマークの設定に関係なく、好きな所で曲番をつけることができます。

曲番をつけたい位置で… ● MD REC **を押す。**

曲番が 1 つ増えて、録音はそのまま続きます。
曲番をつけたあと、約４秒間は次の曲番をつけることができません。

お知らせ

- テープの再生時間が MD の録音できる時間より長いときは、途中まで録音してテープと MD が停止します。
- 雑音の多いテープをMDに録音すると、オートマークが正しく働かないことがあります。このときは、録音が終わったあと、MD 編集（デバイド・コンバイン ☞ P.59、60）で曲番を修正してください。

ラジオ放送をMDへ録音する

1 録音したい放送局を受信する。

2 録音用 MD を入れる。

3 SP 、LP2 または LP4 を押して、録音モードを選ぶ。

モノラル録音（MONO）を選ぶには、リモコンの REC MODE をくり返し押して、“ MONO ”を表示させます。

録音モード表示

- 録音中は切り換えができません。
- 録音モードは次に変更するまで変わりません。

4 ● MD REC を押す。

録音の一時停止状態になります。

5 ►II MD を押して、録音を始める。

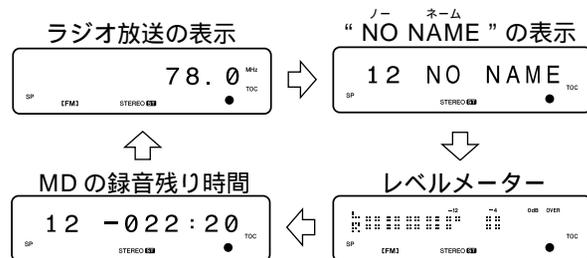
MD の録音残り時間がなくなると、MD は停止します。

■ ラジオ放送の受信 ☞ P.24

録音を一時停止するには

MD ►II を押す。

もう一度押すと、録音が再開します。

録音を停止するには

■ MD を押す。

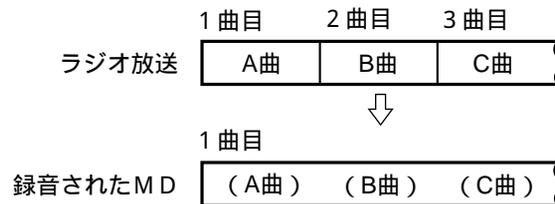
MDに曲番を書き込んだあと、MDが停止します。

録音中の表示を切り換えるには

録音中に… **DISPLAY をくり返して押す。**

- レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。録音を停止すると、もとの表示に戻ります。
- モノラル録音（MONO）モードにしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

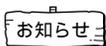
曲番について

ラジオ放送から録音したときは、1回の録音がひと続きの曲として録音されます。

録音を停止したり、一時停止すると…
次に録音を再開したときは、曲番が1つ増えます。

録音中に自分で曲番をつけるには

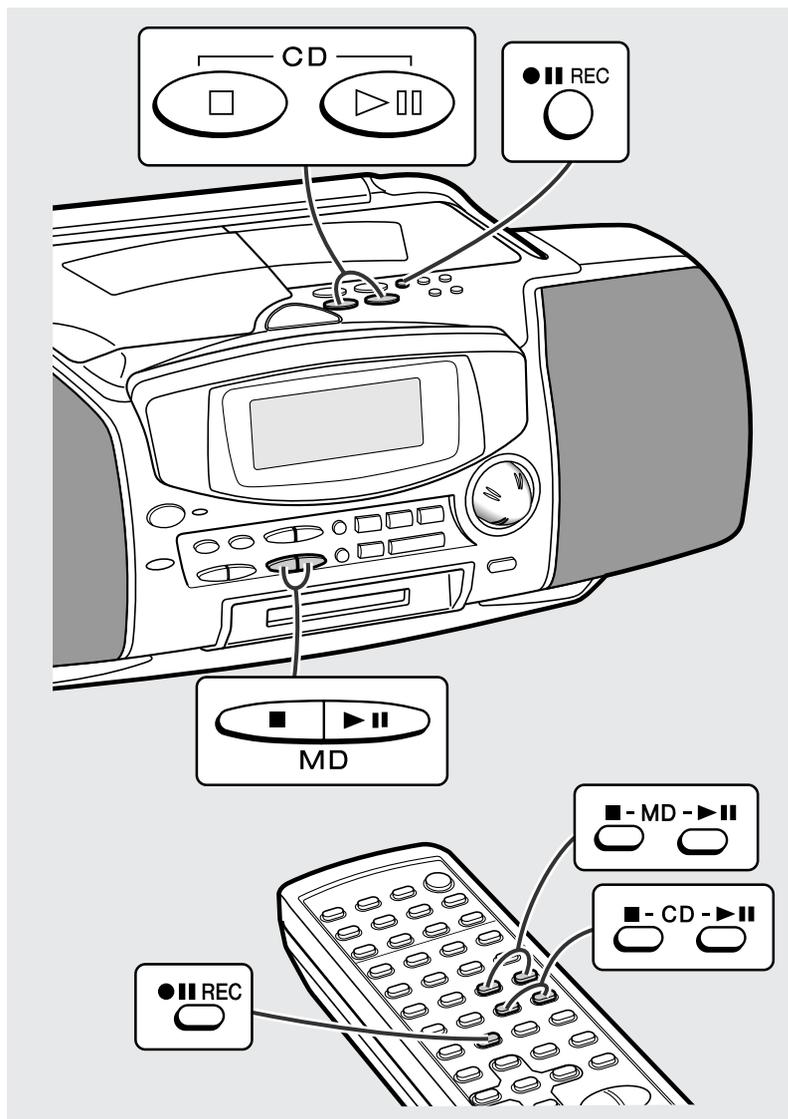
好きな所で曲番をつけることができます。

曲番をつけたい位置で… ● MD REC を押す。

曲番が1つ増えて、録音はそのまま続きます。
曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。

お知らせ

AM放送を録音するときは、録音の一時停止中に、AMアンテナを本体から離して、AM放送が最もきれいに聞こえるように調整しておいてください。

■ 録音モードについて ☞ P.36

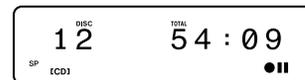
CD や MD からテープへ録音する （シンクロ録音）

1 電源を入れて…

CD から録音するとき	MD から録音するとき
CD □ を押す。	■ MD を押す。

2 **録音用ノーマルテープを入れる。**

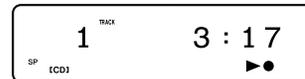
録音する面を上にして入れてください。

3 ●II REC（テープ）を押す。

12 54：09

録音の一時停止状態になります。

4

CD から録音するとき	MD から録音するとき
CD ▷II を押す。	▶II MD を押す。

1 3：17

- CD または MD が再生され、録音が始まります。
- CDまたはMDの再生が終わると、テープは録音の一時停止状態になります。

録音を停止するには

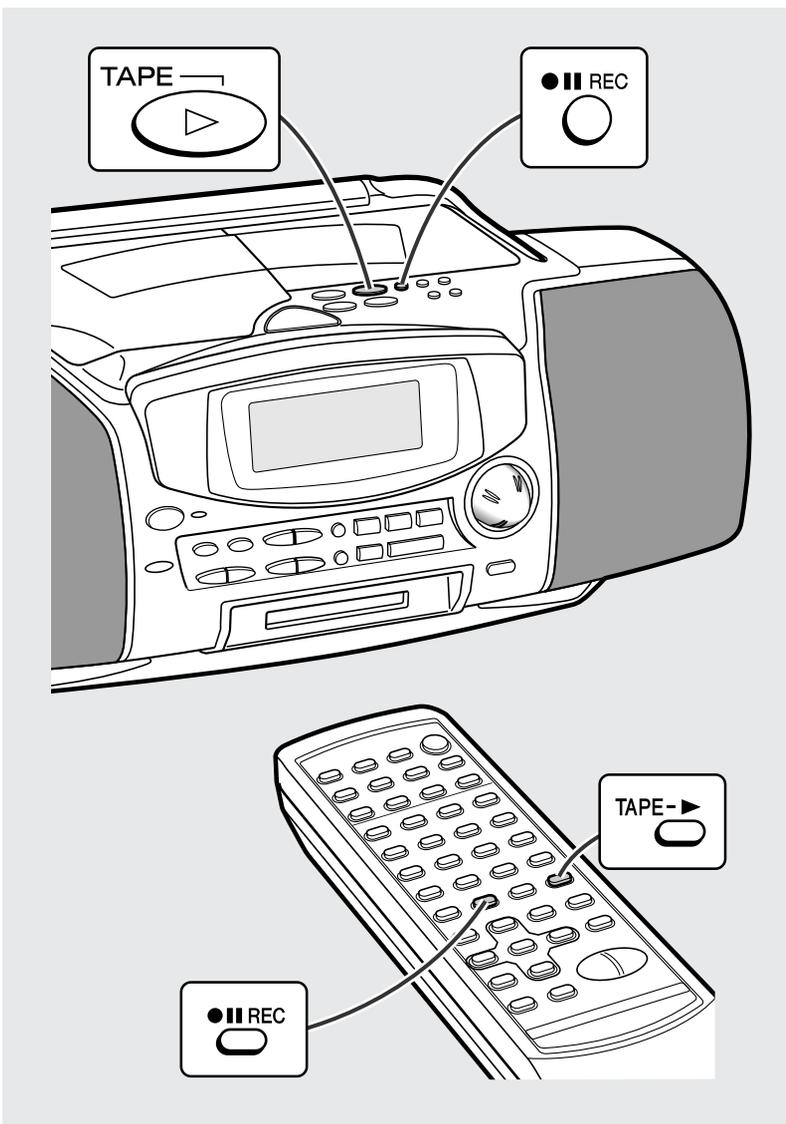
TAPE □ を押す。

CD（または MD）とテープが停止します。

CD や MD の再生時間がテープ片面の録音できる時間より長いとき

テープ片面の最後まで録音されると、CD または MD は再生の一時停止状態になります。
テープを裏返して ●II REC（テープ）を押し、CD ▷II または ▶II MD を押すと、停止した曲の頭から録音が開始されます。

■ 録音できるテープの種類 ☞ P.35

ラジオ放送をテープへ録音する

1 録音したい放送局を受信する。

2 録音用ノーマルテープを入れる。

録音する面を上にして入れてください。

3 ●II REC (テープ) を押す。

78.0 MHz
SP 【FM】 STEREO ST ●II

録音の一時停止状態になります。

4 TAPE ▷ を押して、録音を始める。

片面への録音が終わると、テープは停止します。

録音を一時停止するには

●II REC (テープ)を押す。

録音を再開するには、TAPE ▷ を押す。

録音を停止するには

TAPE □ を押す。

録音中にビート音がでるとき

本体の背面
BEAT CANCEL
A B

AM放送の録音中にビート音("ピー音"や"ビー音")がでるときは、本体背面のビートキャンセルスイッチを、ビート音の少ない位置に切り換えてください。

■ ラジオ放送の受信 ☞ P.24

こんな録音が楽しめます

ＣＤの１曲目から連続した数曲をＭＤに録音する ☞ P.47

１曲目から連続した曲数（たとえば、１曲目から４曲目）を選び、まとめて録音することができます。
（トラックエディット）

4曲目まで選ぶときは、TRACKを4回押す

CDを入れて選曲　A曲｜B曲｜C曲｜D曲｜E曲

録音後のMD　A曲｜B曲｜C曲｜D曲

1曲目から4曲目までが録音されます。

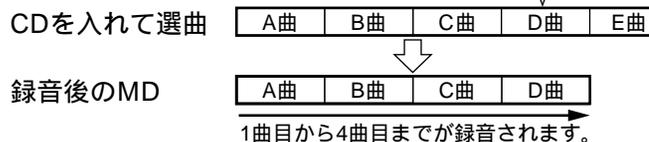
ＣＤやＭＤの１曲目から連続した数曲をテープに録音する ☞ P.51

１曲目から連続した曲数（たとえば、１曲目から４曲目）を選び、まとめて録音することができます。
（トラックエディット）

4曲目まで選ぶときは、TRACKを4回押す

CDまたはMDを入れて選曲　A曲｜B曲｜C曲｜D曲｜E曲

録音後のテープ　（A曲）（B曲）（C曲）（D曲）

1曲目から4曲目までが録音されます。

ＣＤの好きな曲を登録してＭＤに録音する ☞ P.48

録音したい曲を登録しておけば、あとでまとめて録音することができます。（ハイパートラックエディット）

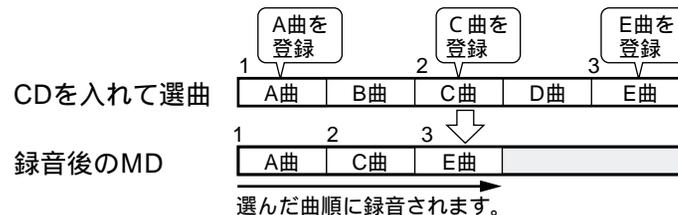
A曲を登録　C曲を登録　E曲を登録

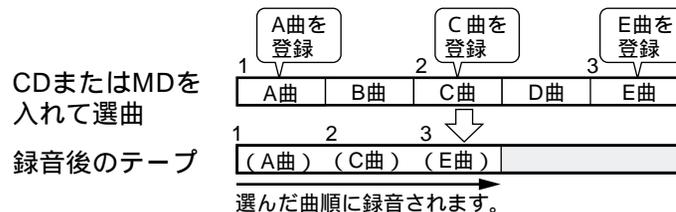
CDを入れて選曲　1 A曲｜B曲｜2 C曲｜D曲｜3 E曲

録音後のMD　1 A曲｜2 C曲｜3 E曲

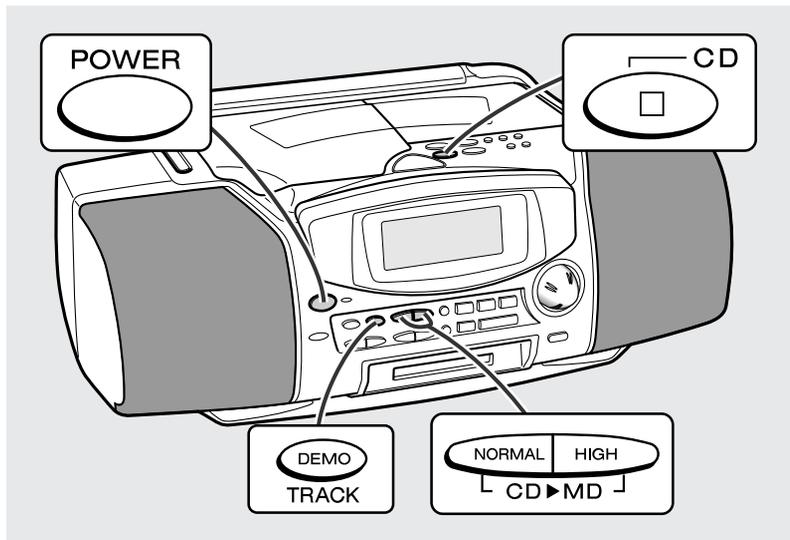
選んだ曲順に録音されます。

ＣＤやＭＤの好きな曲を登録してテープに録音する ☞ P.52

録音したい曲を登録しておけば、あとでまとめて録音することができます。（ハイパートラックエディット）

CD・テープまたはラジオ放送から録音済みMDの先頭に録音する ☞ P.49

録音済みＭＤの先頭に、曲をあとから録音することができます。
（トップポジションエディット）

お知らせ

- トラックエディット・ハイパートラックエディットで選曲をしているときは、「CD」や「MD」から他の入力に切り換えることができません。他の入力にしたいときは、選曲を解除してください。
- プログラム選曲やランダム再生を設定しているときは、トラックエディット・ハイパートラックエディットは使用できません。プログラム選曲やランダム再生を解除してください。
- リピート再生を設定しているときに、トラックエディット・ハイパートラックエディットを使用すると、リピート再生は解除されます。

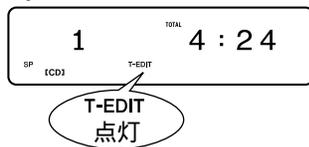
CDの1曲目から連続した数曲をMDに録音する（トラックエディット）

1 POWER を押して、電源を入れる。

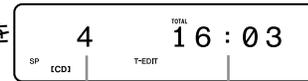
2 CD □ を押して、入力を「CD」にする。

3 再生するCDを入れる。

4 録音用MDを入れる。

5 DEMO TRACK を押す。

T-EDIT 点灯

1曲目だけを録音したいときは、操作7に移ります。

6 DEMO TRACK をくり返し押して、録音する最後の曲番を選ぶ。

（例）4曲目までを選んだとき

20曲まで登録できます。
CDの曲数を超えて選曲したり、21曲以上選曲すると、"EDIT OVER（エディット オーバー）"が表示され、その曲は登録されません。

7 録音を開始する。

定速で録音するとき

NORMAL（CD▶MD）を押す。

倍速で録音するとき

HIGH（CD▶MD）を押す。

CDから選んだ全曲がMDに収録できないときは、NORMAL（CD▶MD）またはHIGH（CD▶MD）を1回押しても録音が始まりません。☞ P.37

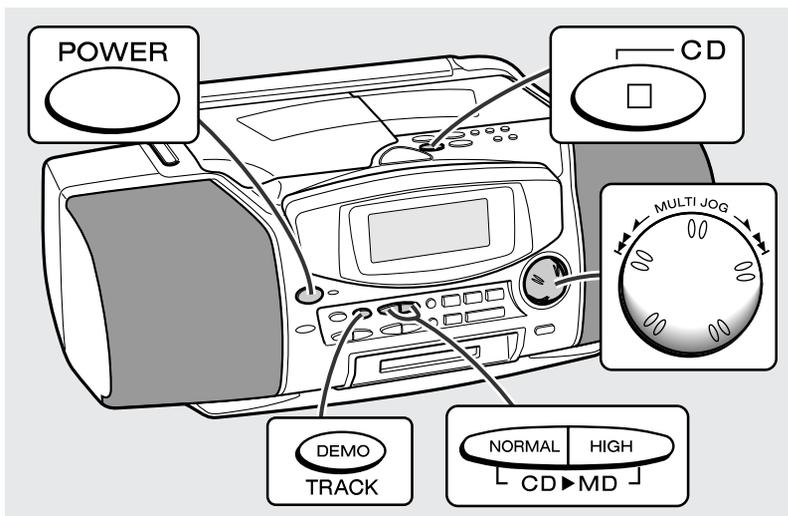
録音が終わると、曲の登録は消えます。

録音を開始する前に曲の登録を取り消すには

CD □ を押す。

CDブタを開けても、曲の登録は取り消されます。

■ 録音モードの選択 ☞ P.36

CDの好きな曲を登録してMDに録音する （ハイパートラックエディット）

1 POWER を押して、電源を入れる。

2 CD □ を押して、入力を「CD」にする。

3 再生するCDを入れる。

4 録音用MDを入れる。

5 ジョグダイヤルを回して、曲番を選ぶ。

リモコンの、⏮ または ⏭ を押して、選ぶこともできます。

6 DEMO TRACK を押して、曲番を登録する。

登録した曲番 3♪ 点灯

7 5〜6の操作をくり返して、録音したい曲を登録する。

20曲まで登録できます。
CDの曲数を超えて選曲したり、21曲以上選曲すると、“EDIT OVER（エディット オーバー）”が表示され、その曲は登録されません。

8 録音を開始する。

定速で録音するとき	倍速で録音するとき
NORMAL CD▶MD を押す。	HIGH CD▶MD を押す。

CDから選んだ全曲がMDに収録できないときは、NORMAL CD▶MD または HIGH CD▶MD を１回押しても録音が始まりません。☞ P.37

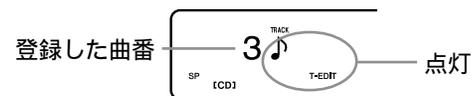
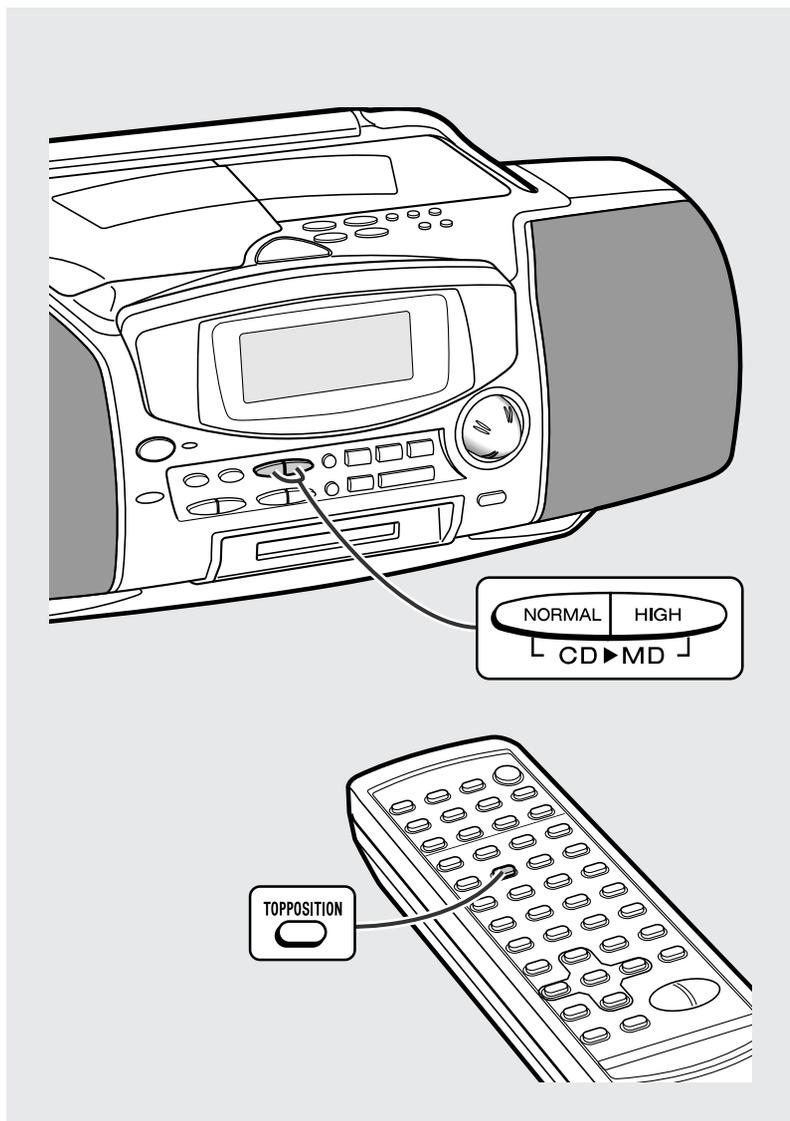
録音が終わると、曲の登録は消えます。
録音を開始する前に登録を取り消すことができます。☞ P.47

CDを聞きながら登録することもできます

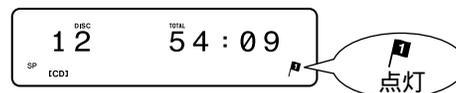
1 CDの再生中に、録音したい曲がでてきたら、DEMO TRACK を押す。
その曲が登録されます。（20曲まで登録できます。）

2 登録が終わったら、CD □ を押して、再生を止める。

3 NORMAL CD▶MD または HIGH CD▶MD を押して、録音を開始する。

■ 録音モードの選択 ☞ P.36

録音済みＭＤの先頭に録音する（トップポジションエディット）

CD から MD へ録音するとき

1 録音の準備をする。
録音したい CD を入れ、録音用 MD を入れる。
トラックエディット・ハイパートラックエディットも使用できます。

2 TOPPOSITION を押す。

3 録音を開始する。

定速で録音するとき

を押す。

倍速で録音するとき

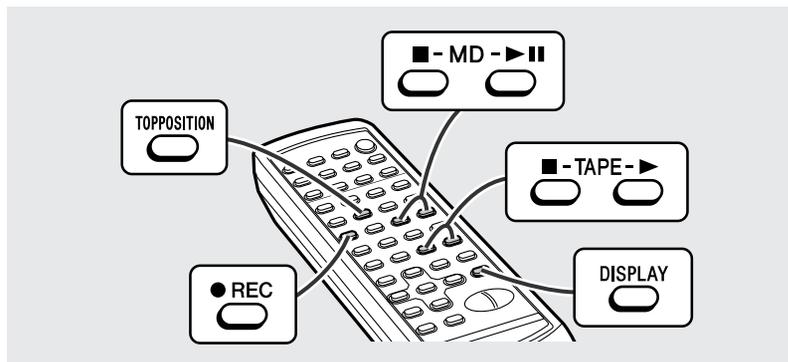
を押す。

CDから選んだ全曲がMDに収録できないときは、NORMAL または HIGH を１回押しても録音が始まりません。☞ P.37

録音が終わると、トップポジションエディットの設定は解除されます。

録音した内容はMDの先頭の曲番となり、以前に録音されていた内容は、今録音した曲以降の曲番に移動します。

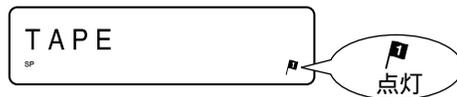
■ 録音モードの選択 ☞ P.36

録音済みMDの先頭に録音する（続き） （トップポジションエディット）

テープからMDへ録音するとき

1 録音の準備をする。

■-TAPE を押したあと、再生用テープと録音用MDを入れる。

カセットテープは、再生したい面を上にして入れてください。

2 TOPPOSITION を押す。

3 録音を開始する。

●REC を押したあと、TAPE-► を押す。

テープの再生が終わると、MDは録音の一時停止状態になりますので ■-MD を押して、停止させてください。

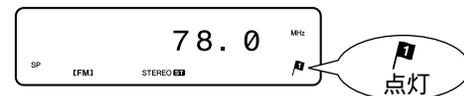
録音が終わると､トップポジションエディットの設定は解除されます。

録音した内容はMDの先頭の曲番となり､以前に録音されていた内容は､今録音した曲以降の曲番に移動します。

ラジオ放送からMDへ録音するとき

1 録音の準備をする。

録音したい放送局を受信して、録音用MDを入れる。

2 TOPPOSITION を押す。

3 録音を開始する。

●REC を押したあと、MD-►II を押す。

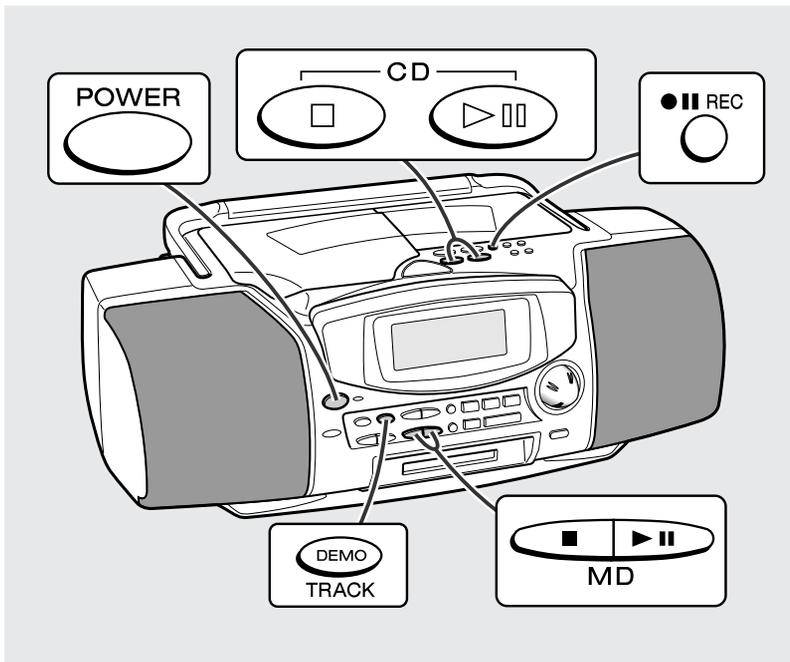
録音が終わると､トップポジションエディットの設定は解除されます。

録音した内容はMDの先頭の曲番となり､以前に録音されていた内容は､今録音した曲以降の曲番に移動します。

お知らせ

- トップポジションエディットの動作は､曲をMDの最後の部分に録音し、録音終了後にMDの先頭部分に曲番を移動します。
  このため､録音中に DISPLAY を押して表示を切り換えると､最後の曲番が表示されます。
- トップポジションエディットを設定しているときに､TOPPOSITION をもう一度押すと、トップポジションエディットの設定が解除されます。
  (“ 1 ”が消灯します。)
- 録音中や録音の一時停止状態では、トップポジションエディットの設定や解除はできません。

■ 録音モードの選択 ☞ P.36

CDやMDの1曲目から連続した数曲をテープに録音する（トラックエディット）

1 POWER を押して、電源を入れる。

2

CDから録音するとき
再生するCDを入れたあと…
CD □ を押す。

MDから録音するとき
再生するMDを入れたあと…
MD ■ を押す。

3 録音用ノーマルテープを入れる。

録音したい面を上にして入れてください。

4 DEMO TRACK を押す。

1曲目だけを録音したいときは、操作6に移ります。

5 DEMO TRACK をくり返し押して、録音する最後の曲番を選ぶ。

（例）4曲目までを選んだとき

20曲まで登録できます。
CDやMDの曲数を超えて選曲したり、21曲以上選曲すると、“EDIT OVER（エディット オーバー）”が表示され、その曲は登録されません。

6 ● II REC（テープ）を押す。

録音の一時停止状態になります。

7 録音を開始する。

CDから録音するとき
CD ▷II を押す。

MDから録音するとき
MD ►II を押す。

録音が終わると、曲の登録は消えます。

録音を開始する前に曲の登録を取り消すには

CDから録音するときは、CD □ を押す。
CDブタを開けても、曲の登録は取り消されます。

MDから録音するときは、MD ■ を押す。
MDを取り出しても、曲の登録は取り消されます。

お知らせ

CDやMDの再生時間がテープ片面の録音できる時間より長いときは、テープ片面の最後まで録音したあと、CDまたはMDも停止します。

CDやMDの好きな曲を登録してテープに録音する（ハイパートラックエディット）

1 POWER を押して、電源を入れる。

2

CDから録音するとき	MDから録音するとき
再生するCDを入れたあと…	再生するMDを入れたあと…
CD □ を押す。	■ MD を押す。

3 録音用ノーマルテープを入れる。

録音したい面を上にして入れてください。

4 ジョグダイヤルを回して、曲番を選ぶ。

リモコンの、⏮ または ⏭ を押して、選ぶこともできます。

5 DEMO TRACK を押して、曲番を登録する。

6 4～5の操作をくり返して、録音したい曲を登録する。

20曲まで登録できます。
CDやMDの曲数を超えて選曲したり、21曲以上選曲すると、"EDIT OVER（エディット オーバー）"が表示され、その曲は登録されません。

7 ●II REC（テープ）を押す。

録音の一時停止状態になります。

8 録音を開始する。

CDから録音するとき	MDから録音するとき
CD ▷II を押す。	▶II MD を押す。

録音が終わると、曲の登録は消えます。
録音を開始する前に登録を取り消すことができます。☞ P.51

CDやMDを聞きながら登録することもできます

1 CDやMDの再生中に、録音したい曲がでてきたら、DEMO TRACK を押す。
その曲が登録されます。（20曲まで登録できます。）

2 登録が終わったら、CD □ または ■ MD を押して、再生を止める。

3 ●II REC（テープ）を押して、録音の一時停止状態にする。

4 CD ▷II または ▶II MD を押して、録音を開始する。

MD編集でこんなことができます

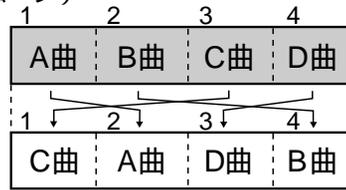
録音した MD には、お好みのディスク名や曲名をつけることができます。（☞ P.54～58）
また、曲の順番を並べ換えたり、つないだりして、オリジナルディスクを作ることもできます。（それぞれの操作は続けて行えます。）

曲を分ける ☞ P.59

1 つの曲を希望の位置で 2 つの曲に分けることができます。
（デバイド）

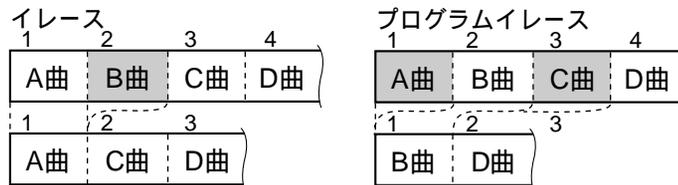
1 2 3
A曲 B曲 C曲
1 2 3 4
A曲 B曲 C曲 前半 C曲 後半

曲を並べ換える ☞ P.61

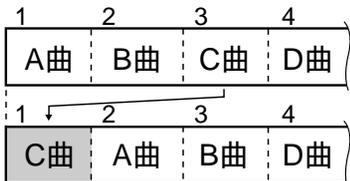
プログラム選曲で指定した順番に、曲を並べ換えることができます。
（プログラムムーブ）

曲をつなぐ ☞ P.60

連続した 2 つの曲を、1 つの曲にすることができます。
（コンバイン）

曲を消す ☞ P.62

指定した 1 曲、プログラム選曲で指定した数曲、または MD 内のすべての曲を消すことができます。
（イレース・プログラムイレース・オールイレース）

消した曲をもとに戻すことはできませんので、注意してください。

曲を移動する ☞ P.61

指定した曲を、希望する位置に移動することができます。
（ムーブ）

お知らせ

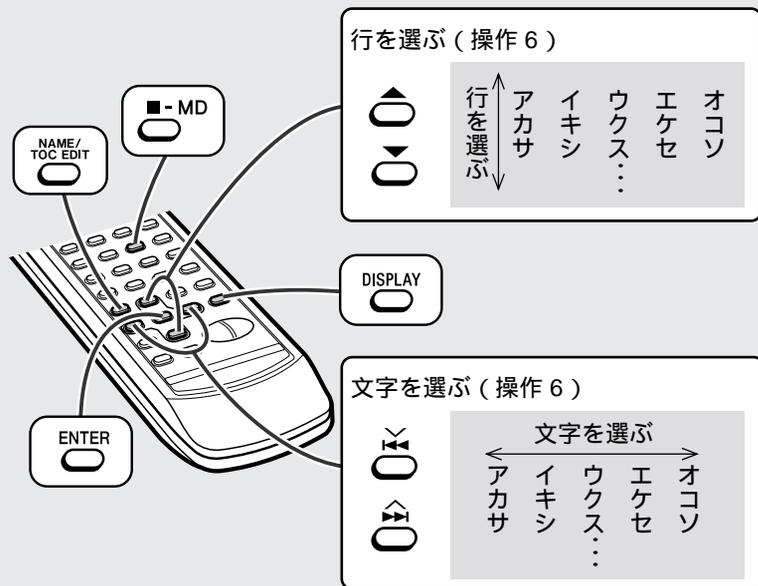
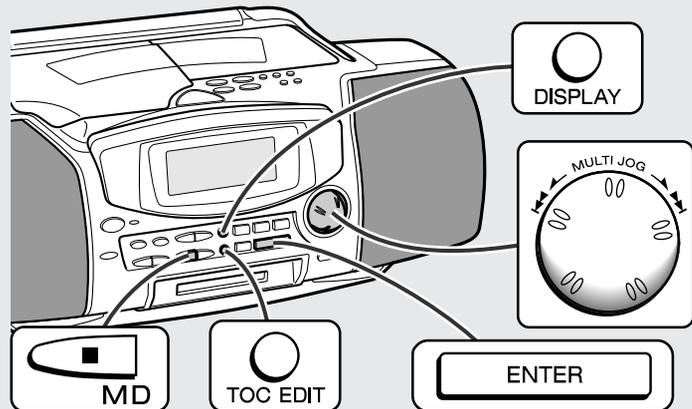
- イレースやプログラムイレースで曲を消すと、曲名も消えます。
- オールイレースですべての曲を消すと、ディスク名・曲名も消えます。
- ランダム再生を設定しているときは、編集操作はできません。
  設定を解除してください。
- プログラム選曲を設定したあとは、プログラムムーブ・プログラムイレース以外の編集操作はできません。
  他の編集操作をするときは、選曲を解除してください。

録音したMDにタイトルをつける

行を選ぶ（操作 6）

行を選ぶ ↕ アカサ　イキシ　ウクス…　エケセ　オコソ

文字を選ぶ（操作 6）

文字を選ぶ ↔ アカサ　イキシ　ウクス…　エケセ　オコソ

ディスク名をつけるには

1 名前をつける MD を入れて… ■MD **を押す。**

2 TOC EDIT **を押して、編集メニューにする。**

DISC NAME

3 10 秒以内に…**ジョグダイヤルを回して、"DISC NAME（ディスク ネーム）" を選ぶ。**

DISC NAME

リモコンの ⏶ または ⏷ で選ぶこともできます。

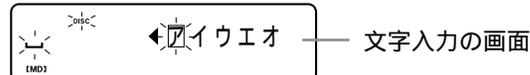
4 10 秒以内に… ENTER **を押す。**

文字入力の画面

5 DISPLAY **を押して、文字の種類を選ぶ。**

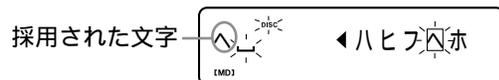
カタカナを選んだとき

押すたびに、カタカナ→アルファベット（大文字）→アルファベット（小文字）→数字・記号の順に切り換わります。

■ 入力できる文字の種類 ☞ P.55

6 ジョグダイヤルを回して、文字を選ぶ。

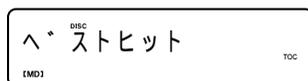
リモコンでは、▲ または ▼ を押して行を選んだあと、⏮ または ⏭ を押して文字を選びます。

7 ENTER を押して、選んだ文字を採用する。

採用された文字　へ　◀ハヒフヘホ

8 操作５～７をくり返し、必要な文字を入力する。

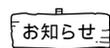
同じ種類の文字を続けて入力するときは、操作５は必要ありません。

9 入力が終われば… TOC EDIT を押す。

へ゛ストヒット　TOC　【MD】

ディスク名が登録されます。

入力できる文字の種類について

カタカナ	アイウエオ ナニヌネノ ラリルレロ ゛゜ー／␣	カキクケコ ハヒフヘホ ワヲン	サシスセソ マミムメモ ァィゥェォ	タチツテト ヤユヨ ャュョッ
アルファベット（大文字）	ABCDE UVWXY	FGHIJ Z．，／␣	KLMNO ’！”＃＄	PQRST
アルファベット（小文字）	abcde uvwxy	fghij z．，／␣	klmno ’！”＃＄	pqrst
数字・記号	12345 ＋，－．／	67890 ：；<＝>	！”＃＄％ ？@＿｀␣	＆’（）＊

お知らせ

- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正常に表示されないことがあります。
- 他の機器でカタカナ入力された MD は、この製品では正常に表示されないことがあります。
- ディスク名・曲名はそれぞれ 40 文字まで入力することができます。（40 文字を超えると“NAME FULL（ネーム フル）”と表示されます。）
- 1 枚の MD には、約 1,700 文字まで入力することができます。（約 1,700 文字を超えると“TOC FULL 1（トック フル）”と表示されます。ただし、この製品で 2 倍・4 倍長時間録音（LP2・LP4）した曲にはその情報が記録されるため、1700 文字以下でも“TOC FULL 1（トック フル）”が表示されることがあります。）

■ 入力した文字の消去、修正や追加 ☞ P.58

録音したMDにタイトルをつける（続き）

<<TUNING/CURSOR>> TIMER/DELETE DISPLAY MULTI JOG MD TOC EDIT ENTER

行を選ぶ（操作4）

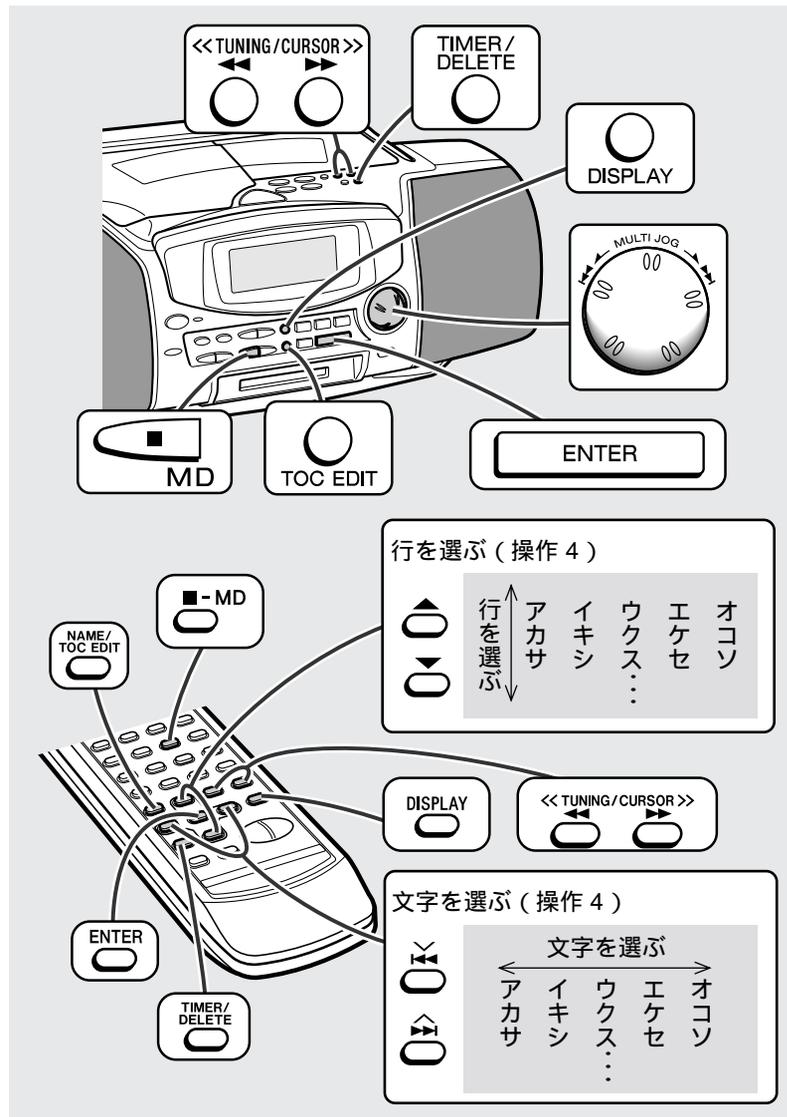
行を選ぶ

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
		・・・		

NAME/TOC EDIT　■-MD　DISPLAY　<<TUNING/CURSOR>>　ENTER　TIMER/DELETE

文字を選ぶ（操作4）

文字を選ぶ

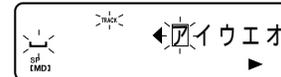
ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
		・・・		

曲名をつけるには

1 名前をつける曲の再生中に…

TOC EDIT **を押して、編集メニューにする。**

TRACK NAME

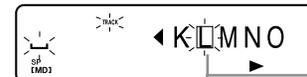
2 10秒以内に… ENTER **を押す。**

アイウエオ

文字の入力画面になり、聞いている曲がくり返して再生されます。

3 DISPLAY **を押して、文字の種類を選ぶ。**

アルファベットを選んだとき

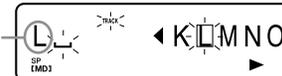
押すたびに、カタカナ→アルファベット（大文字）→アルファベット（小文字）→数字・記号の順に切り換わります。

4 **ジョグダイヤルを回して、文字を選ぶ。**

“L”を選んだとき

リモコンでは、▲ または ▼ を押して行を選んだあと、⏮ または ⏭ を押して文字を選びます。

5 ENTER **を押して、選んだ文字を採用する。**

採用された文字

■ 入力できる文字の種類 ☞ P.55

6 **操作３～５をくり返し、必要な文字を入力する。**

同じ種類の文字を続けて入力するときは、操作３は必要ありません。

7 **入力が終われば…** TOC EDIT **を押す。**

1：LOVE SO

曲名が登録され、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲名をつけることができます。
- 録音中にも曲名をつけることができます。
  録音中に操作するときは、その曲の録音が終わる前に、名前の登録を終えてください。

ディスク名を消去するには

1 **文字の入力画面にする。**（☞ P.54 の操作１～４）

ディスク名 — Aﾞストヒ ◀アイウエオ

2 TIMER/DELETE **を２秒以上押す。**

NAME CLEAR?（確認表示です）

中止するには、TOC EDIT を押します。

3 ENTER **を押す。**

NO NAME

ディスク名が消去されます。

曲名を消去するには

1 **文字の入力画面にする。**（☞ P.56 の操作１～２）

曲名 — LOVE ◀ABCDE

2 TIMER/DELETE **を２秒以上押す。**

NAME CLEAR?（確認表示です）

中止するには、TOC EDIT を押します。

3 ENTER **を押す。**

1 NO NAME

選んだ曲名が消去されます。

録音したMDにタイトルをつける（続き）

文字を消したり、修正するには

1 文字の入力画面にする。
ディスク名を修正するとき：☞ P.54の操作1～4
曲名を修正するとき：☞ P.56の操作1～2

2 TUNING/CURSOR ◀◀ ▶▶ を押して、消したり、修正したい文字を点滅させる。

LAVE ◀ABCDE

中止するには、■ MD を押します。

3 TIMER/DELETE を押して、不要な文字を消去する。

LVE S ◀ABCDE

4 正しい文字を入力する。
ディスク名を入力するとき：☞ P.54、55の操作5～7
曲名を入力するとき：☞ P.56の操作3～5

LOVE ◀KLMNO

5 文字の消去・修正が終われば… TOC EDIT を押す。

1：LOVE SO

お知らせ
他の機器で40文字以上入力されたMDは、文字を修正することはできません。そのときは、ディスク名または曲名を一度消去したあと、もう一度入力してください。

文字を追加するには

1 文字の入力画面にする。
ディスク名に追加するとき：☞ P.54の操作1～4
曲名に追加するとき：☞ P.56の操作1～2

2 TUNING/CURSOR ◀◀ ▶▶ を押して、追加したい位置の右の文字を点滅させる。

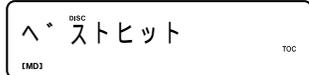
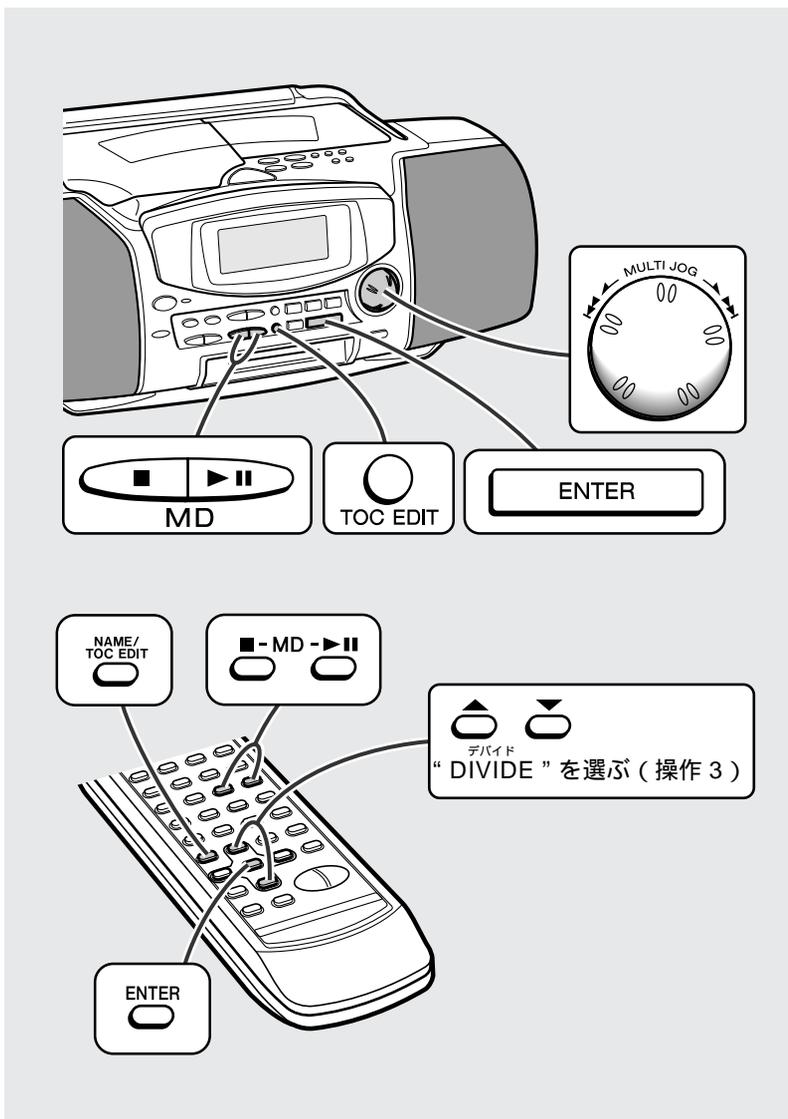
ヘストヒッ ◀アイウエオ

中止するには、■ MD を押します。

3 追加したい文字を入力する。
ディスク名を入力するとき：☞ P.54、55の操作5～7
曲名を入力するとき：☞ P.56の操作3～5

ヘ゛ストヒ ◀ ゜ ー／␣

もとの文字が1文字ずつ右に移動します。

4 文字の追加が終われば… TOC EDIT を押す。

ヘ゛ストヒット

曲を分ける（デバイド）

“DIVIDE”を選ぶ（操作3）

1 再生中に、曲を分けたいところで…

MD ►II を押して、一時停止状態にする。

2 TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

3 10秒以内に…ジョグダイヤルを回して、“DIVIDE（デバイド）”を選ぶ。

4 10秒以内に… ENTER を押す。

（確認表示です）

中止するには、■ MD を押します。

5 もう一度… ENTER を押す。

曲が分けられ、うしろの曲の頭で停止します。

お知らせ

- 1枚のMDで最大255曲まで曲を分けられます。ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。（☞ P.75）
- 分ける曲に曲名・録音日時がついているときは、両方に同じ曲名・録音日時がつきます。
  ただし、TOC（トック）に文字情報を登録する空きがないときは、うしろの曲には曲名がつきません。

曲をつなぐ（コンバイン）

MULTI JOG

MD ■ ►II

TOC EDIT

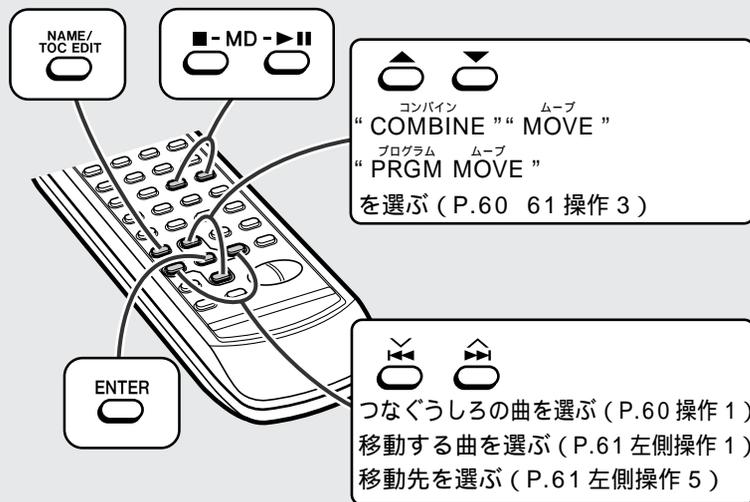
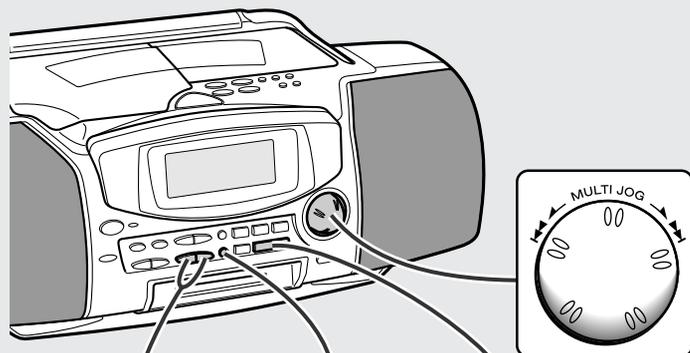
ENTER

NAME/TOC EDIT

■- MD -►II

“COMBINE（コンバイン）”“MOVE（ムーブ）”
“PRGM MOVE（プログラム ムーブ）”
を選ぶ（P.60~61 操作 3）

ENTER

つなぐうしろの曲を選ぶ（P.60 操作 1）
移動する曲を選ぶ（P.61 左側操作 1）
移動先を選ぶ（P.61 左側操作 5）

1 停止中に…ジョグダイヤルを回して、つなぐうしろの曲を選ぶ。

うしろの曲番 — 3 TRACK 4：12

うしろの曲の再生中に、►II（MD）を押して、一時停止状態にしてもできます。

2 TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

3 10 秒以内に…ジョグダイヤルを回して、“COMBINE（コンバイン）”を選ぶ。

COMBINE

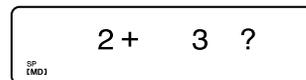
4 10 秒以内に… ENTER を押す。

2+ 3 ?

（確認表示です）

中止するには、■（MD）を押します。

5 もう一度… ENTER を押す。

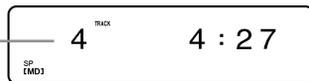
COMPLETE

曲がつながり、つながった曲の頭で停止します。

お知らせ

- 録音モード〔モノラル録音（MONO）、ステレオ録音（SP）、2 倍・4 倍の長時間録音（LP2・LP4）〕の異なる曲をつなぐことはできません。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲をつなぐことはできません。
- 8 秒以下のステレオ録音（モノラル録音・2 倍長時間録音：16 秒、4 倍長時間録音：32 秒）された短い曲は、つながらないことがあります。
- 離れた 2 つの曲をつなぐには、あらかじめ、「ムーブ」（☞ P.61）を使って、2 つの曲を連続させてからつないでください。
- つなぐ 2 つの曲に、両方とも曲名がついているときや、前の曲だけについているときは、前の曲名がつきます。
  前の曲に曲名がついていないときは、つぎのようになります。
  モノラル・ステレオ録音された曲の場合は、うしろの曲名になり、
  2 倍・4 倍長時間録音された曲の場合は、曲名はつきません。

曲を移動する（ムーブ）

1 停止中に…ジョグダイヤルを回して、移動する曲を選ぶ。

移動する曲番 — 4 TRACK 4：27 SP【MD】

移動したい曲の再生中に、►II MD を押して、一時停止状態にしてもできます。

2 TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

3 10秒以内に…ジョグダイヤルを回して、"MOVE（ムーブ）"を選ぶ。

MOVE SP【MD】

4 10秒以内に… ENTER を押す。

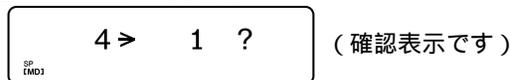
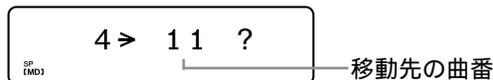
4＞ 1 ？ SP【MD】 （確認表示です）

5 ジョグダイヤルを回して、移動先を選ぶ。

4＞ 11 ？ SP【MD】 — 移動先の曲番

中止するには、■ MD を押します。

6 ENTER を押す。

COMPLETE SP【MD】 TOC

曲が移動し、その曲の頭で停止します。

曲を並べ換える（プログラムムーブ）

1 曲を並べ換えたい順番にプログラム選曲する。

（☞ P.30、31の操作1～5）

DISC 8 TOTAL 34：25 PROGRAM【MD】

2 TOC EDIT を押して、編集メニューにする。

3 10秒以内に…ジョグダイヤルを回して、"PRGM（プログラム） MOVE（ムーブ）"を選ぶ。

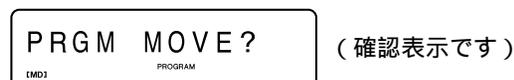
PRGM MOVE PROGRAM【MD】

4 10秒以内に… ENTER を押す。

PRGM MOVE? PROGRAM【MD】 （確認表示です）

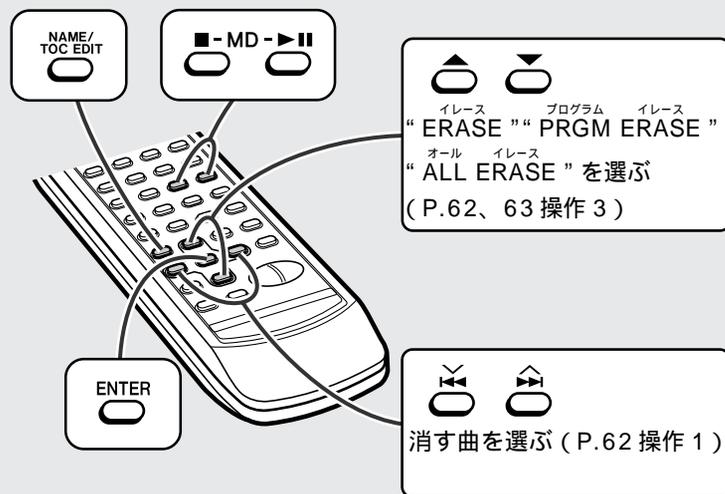
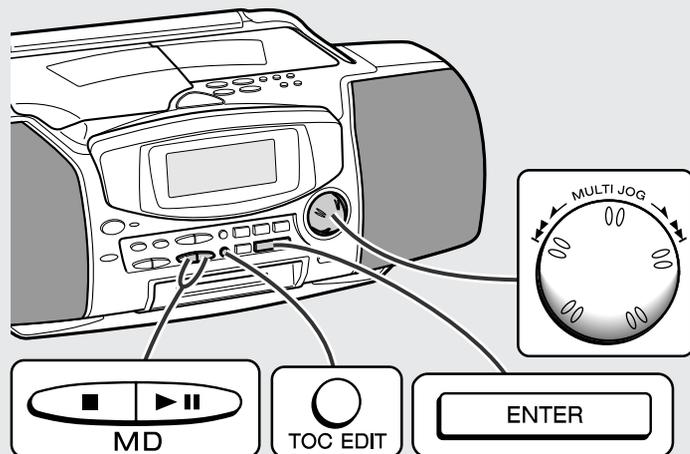
中止するには、■ MD を押します。

5 もう一度… ENTER を押す。

COMPLETE SP【MD】 TOC

- 曲が並べ換えられます。
- プログラムした曲以外の曲は、プログラムした曲のうしろに並べ換えられます。

お知らせ

同じ曲を2回以上プログラムしているときは、始めにプログラムした内容が優先されます。

曲を消す（イレース）

1曲ずつ消すには

1 停止中に… **ジョグダイヤルを回して、消す曲を選ぶ。**

消したい曲番 ― 5 TRACK 4：52 SP【MD】

消したい曲の再生中に、▶II MD を押して、一時停止状態にしてもできます。

2 ○ TOC EDIT **を押して、編集メニューにする。**

3 10秒以内に… **ジョグダイヤルを回して、“ERASE（イレース）”を選ぶ。**

ERASE SP【MD】

4 10秒以内に… ENTER **を押す。**

ERASE 5? SP【MD】 （確認表示です）

中止するには、■ MD を押します。

5 もう一度… ENTER **を押す。**

COMPLETE TOC SP【MD】

1曲消えて、消えたうしろの曲の頭で停止します。

MULTI JOG

■ ▶II MD

TOC EDIT

ENTER

NAME/TOC EDIT

■‐MD‐▶II

“ERASE（イレース）”“PRGM ERASE（プログラムイレース）”“ALL ERASE（オールイレース）”を選ぶ （P.62、63操作3）

ENTER

⏮ ⏭ 消す曲を選ぶ （P.62操作1）

曲を消すと元には戻せません。
消してもよいかどうかよく確かめてから操作してください。

お知らせ

曲を消すと、曲番・曲名・録音日時なども同時に消えます。

（プログラムイレース）

数曲をまとめて消すには（最大20曲）

1 **消したい曲をプログラム選曲する。**
（☞ P.30、31の操作1～5）

DISC 8 TOTAL 34：25 PROGRAM 【MD】

2 TOC EDIT **を押して、編集メニューにする。**

3 10秒以内に…**ジョグダイヤルを回して、"PRGM ERASE"（プログラム イレース）を選ぶ。**

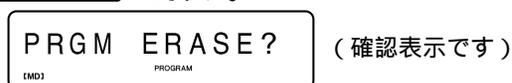
PRGM ERASE PROGRAM 【MD】

4 10秒以内に… ENTER **を押す。**

PRGM ERASE? PROGRAM 【MD】 （確認表示です）

中止するには、■MD を押します。

5 もう一度… ENTER **を押す。**

COMPLETE TOC 【MD】

プログラムした曲が消えます。

（オールイレース）

すべての曲を消すには

1 ■MD **を押す。**

DISC 12 TOTAL 42：33 【MD】

2 TOC EDIT **を押して、編集メニューにする。**

3 10秒以内に…**ジョグダイヤルを回して、"ALL ERASE"（オール イレース）を選ぶ。**

ALL ERASE 【MD】

4 10秒以内に… ENTER **を押す。**

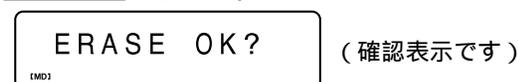
ERASE OK? 【MD】 （確認表示です）

中止するには、■MD を押します。

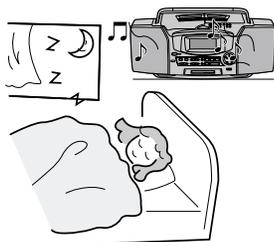
5 もう一度… ENTER **を押す。**
すべての曲が消えます。

COMPLETE TOC 【MD】

⇩

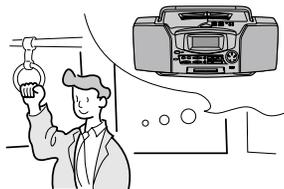
BLANK MD TOC 【MD】

タイマーを利用してこんなことができます

音楽を聞きながらおやすみになる　☞ P.65

設定した時間で MD・CD・テープ・ラジオ放送を停止することができます。（スリープ）

音楽で目覚める　☞ P.66

設定した時刻に MD・CD・テープ・ラジオ放送を聞くことができます。（タイマー再生）

留守中に録音する　☞ P.66

設定した時刻にラジオ放送を MD またはテープに録音することができます。（タイマー録音）

スリープとタイマーを組み合わせて使う　☞ P.69

設定した時間で MD・CD・テープ・ラジオ放送を停止させ、再び開始時刻になると、タイマー再生またはタイマー録音を始めることができます。

タイマーを使う前に

1 時計を合わせる。

時計を合わせていないと、タイマーは使用できません。

2 再生や録音の準備をする。

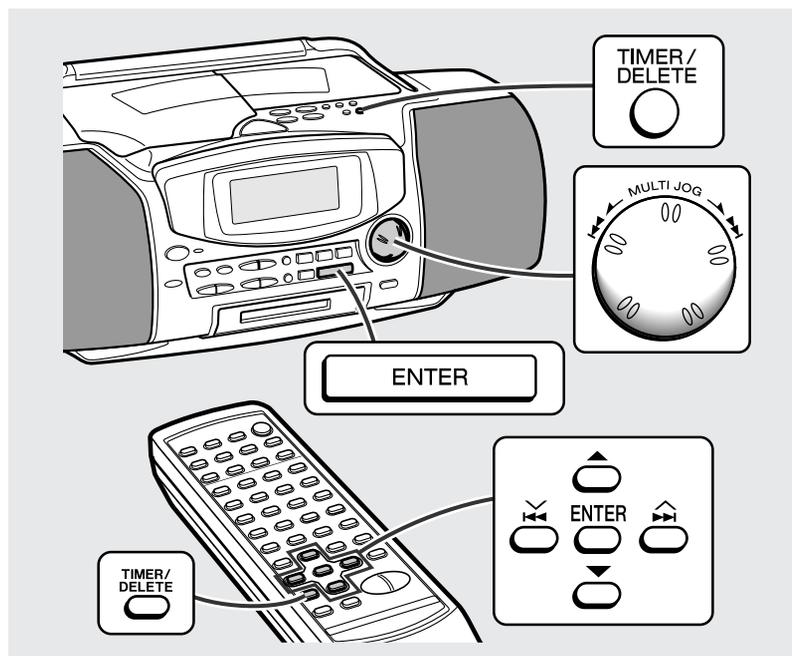
- 再生または録音に必要なディスクまたはテープを入れてください。
- ラジオ放送を聞いたり、録音するときは、放送局を登録してください。（☞ P.26）
- ラジオ放送や他の機器からMDに録音するときは、録音モードやオートマークを確認してください。（☞ P.36、40）

- タイマー再生とタイマー録音を同時に設定することはできません。
- 録音中はタイマー設定をすることはできません。
- 他の機器は、この製品のタイマー設定では操作ができません。

次のとき、タイマー録音はできません。

- 再生専用 MD が入っているとき。
- MD やテープが誤消去防止状態になっているとき。（☞ P.34、35）
- MD に録音できる部分がないとき。
  （“TOC FULL”、“DISC FULL”の状態など）

■ 時計の設定 ☞ P.16

音楽を聞きながらおやすみになる（スリープ）

スリープを設定するには

1 聞きたい音楽の再生中に… TIMER/DELETE を押す。

2 10秒以内に…
ジョグダイヤルを回して、
“SLEEP（スリープ）”を選ぶ。

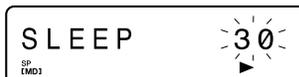
SLEEP 1:00

リモコンの ▲ または ▼ で選ぶこともできます。

3 10秒以内に…
ENTER を押す。

SLEEP 1:00

4 ジョグダイヤルを回して、スリープ時間を設定する。

SLEEP 30

リモコンの ⏮ または ⏭ で設定することもできます。
- 1分～2時間まで設定できます。
- 5分から2時間までは5分単位で、5分から1分までは1分単位で設定できます。

5 を押す。

スリープ動作が始まります。

⇩

スリープ終了時刻になると…
再生が終わり、電源が切れます。

終了1分前になると、音量が徐々に小さくなります。
このとき、音量を変えることはできません。

スリープ中に残り時間を確認するには

1 スリープ動作中に、TIMER/DELETE を押す。

2 10秒以内に、ジョグダイヤルを回して、“SLEEP（スリープ）”を選ぶ。

スリープ残り時間

- 約10秒後にもとの表示に戻ります。
- スリープ残り時間が表示されているときに ENTER を押すと、時間を変更することができます。（操作4～5）

スリープを解除するには

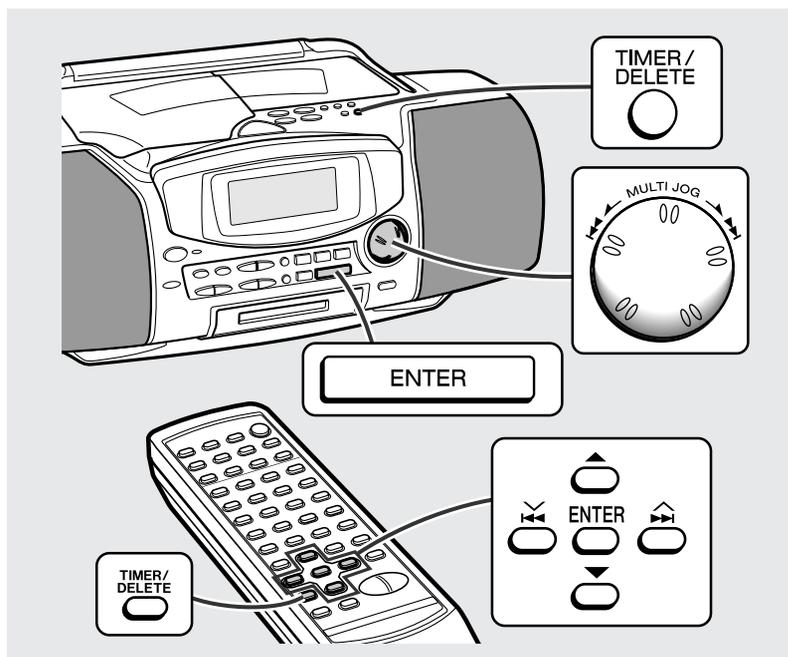
電源を切ると、スリープは解除されます。
電源を切らずに、スリープだけを解除したいときは、次の操作で解除することもできます。

1 スリープ動作中に、TIMER/DELETE を押す。

2 10秒以内に、ジョグダイヤルを回して、“SLEEP OFF（スリープ オフ）”を選ぶ。

SLEEP OFF

3 10秒以内に、ENTER を押す。
スリープが解除されます。（“SLEEP（スリープ）”消灯）

音楽で目覚めたり、留守中に録音する（タイマー）

タイマーを設定するには

1 電源を入れて… TIMER/DELETE を押す。

STANDBY

“STANDBY（スタンバイ）”が表示されないときは、時計を合わせてください。
時計を合わせていないと、タイマーを設定することはできません。

2 10秒以内に…
ジョグダイヤルを回して、
“TIMER SET（タイマー セット）”を選ぶ。

TIMER SET

リモコンの ▲ または ▼ で選ぶこともできます。

3 10秒以内に…
ENTER を押す。

TIMER PLAY

4 ジョグダイヤルを回して、登録モードを選ぶ。

タイマー再生をするとき	タイマー録音をするとき
“TIMER PLAY（タイマー プレイ）”を選ぶ。	“TIMER REC（タイマー レコード）”を選ぶ。
TIMER PLAY	TIMER REC

リモコンの ⏮ または ⏭ で操作することもできます。
（操作6～11も同じです。）

5 ENTER を押す。

ON 1:00 AM

6 ジョグダイヤルを回して、
開始時刻の「時」を合わせ、
ENTER を押す。

ON 7:00 AM

7 ジョグダイヤルを回して、
開始時刻の「分」を合わせ、
ENTER を押す。

ON 7:30 AM

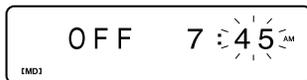
開始時刻の「分」を設定すると、「時」が1時間増えて、
終了時刻に切り換わります。

8 ジョグダイヤルを回して、
終了時刻の「時」を合わせ、
ENTER を押す。

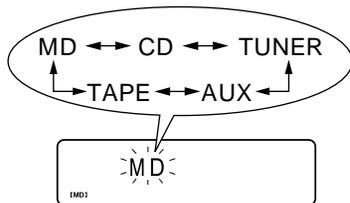
OFF 7:30 AM

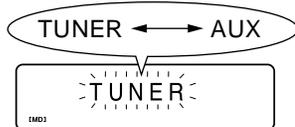
■ 時計の設定 ☞ P.16

9 ジョグダイヤルを回して、終了時刻の「分」を合わせ、ENTER を押す。

OFF 7:45 AM

10

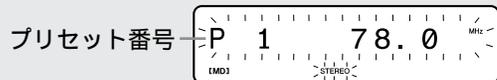
タイマー再生をするとき

ジョグダイヤルを回して、聞きたい入力を選び、ENTER を押す。

タイマー録音をするとき

1 ジョグダイヤルを回して、録音したい入力を選び、ENTER を押す。

2 ジョグダイヤルを回して、録音先を選び、ENTER を押す。

MD REC ←→ TAPE REC

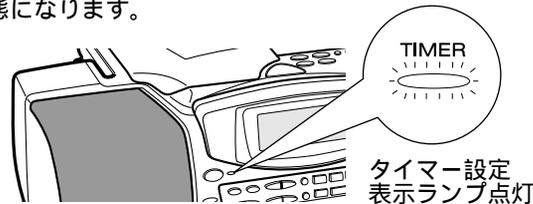
「TUNER（チューナー）」を選んだときは…
ジョグダイヤルを回して、希望の放送局を選び ENTER を押す。

プリセット番号 P 1 78.0 MHz STEREO

放送局が登録されていないと“NO P.SET（ノー プリセット）”と表示され、設定操作が終了します。
このときは、放送局を登録したあと、操作1からやり直してください。

11 ジョグダイヤルを回して、音量を設定し ENTER を押す。

VOLUME 10

音量をあまり大きくしないように注意してください。

登録された内容が順に表示されます。
このあと、自動的に電源が切れて、タイマー再生またはタイマー録音の待機状態になります。

タイマー開始時刻になると…
タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
タイマー再生のとき、音量は徐々に大きくなります。

タイマー終了時刻になると…
電源が自動的に切れます。

設定内容は次に変更するまで覚えています。
同じ内容で再度タイマーを使うときは、68ページの説明をごらんください。

電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、タイマーの待機状態は解除されます。

お知らせ

CDやMDで、リピート再生・ランダム再生・プログラム選曲を設定してタイマー再生することができます。

■ 放送局の登録 ☞ P.26

音楽で目覚めたり、留守中に録音する（続き）（タイマー）

同じ内容で再度タイマーを使うには

タイマーの内容は、一度設定すると覚えていますので、内容を変えないときは次の操作で再設定できます。

1 TIMER/DELETE を押す。

2 10秒以内に… ジョグダイヤルを回して、“STANDBY（スタンバイ）”を選ぶ。

STANDBY

【MD】

リモコンの ▲ または ▼ で選ぶこともできます。

“STANDBY（スタンバイ）”が表示されないときは、時計の設定が消えています。そのときは、時計を合わせて、タイマー設定をやり直してください。

3 10秒以内に… ENTER を押す。

登録された内容が順に表示されます。
このあと、自動的に電源が切れて、タイマー再生またはタイマー録音の待機状態になります。

タイマー設定の内容を確認するには

1 タイマー再生やタイマー録音の待機状態（タイマー設定表示ランプ点灯）のときに、TIMER/DELETE を押す。

2 10秒以内に、ジョグダイヤルを回して、“TIMER CALL（タイマーコール）”を選ぶ。

TIMER CALL

TIMER REC

リモコンの ▲ または ▼ で選ぶこともできます。

3 10秒以内に、ENTER を押す。

設定した内容が順に表示されたあと、もとの状態に戻ります。

タイマー設定を変更するには

電源を入れて、タイマー設定（☞ P.66）の操作1からやり直してください。

タイマー動作を解除するには

タイマー再生やタイマー録音の待機状態（タイマー設定表示ランプ点灯）のときに、電源を入れると解除されます。
電源を入れずに、次の操作で解除することもできます。

1 TIMER/DELETE を押す。

2 10秒以内に、ジョグダイヤルを回して、“CANCEL（キャンセル）”を選ぶ。

CANCEL

TIMER REC

リモコンの ▲ または ▼ で選ぶこともできます。

3 10秒以内に、ENTER を押す。

タイマー動作が解除されます。（タイマー設定表示ランプが消灯）
ただし、設定した内容は消えません。

■ 時計の設定 ☞ P.16

スリープとタイマーを組み合わせて使う

スリープとタイマー再生を使うには

たとえば、ラジオ放送を聞きながらおやすみになり、次の日の朝、CD の音楽で目覚ましをすることができます。

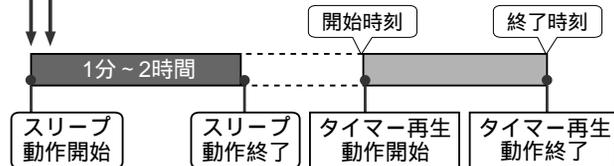
1 スリープを設定する。（☞ P.65：操作 1 ～ 5）

SLEEP　30

スリープ動作開始

2 タイマー再生を設定する。

☞ P.66 ～ 67：操作 1 ～ 11
☞ P.68：操作 1 ～ 3

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマー再生の開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー再生が始まります。

スリープとタイマー録音を使うには

たとえば、CD を聞きながらおやすみになり、おやすみ中にラジオ放送を録音することができます。

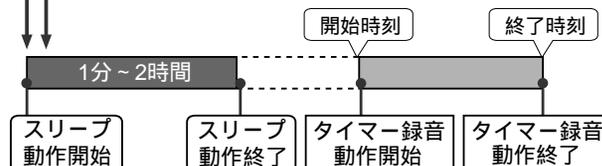
1 スリープを設定する。（☞ P.65：操作 1 ～ 5）

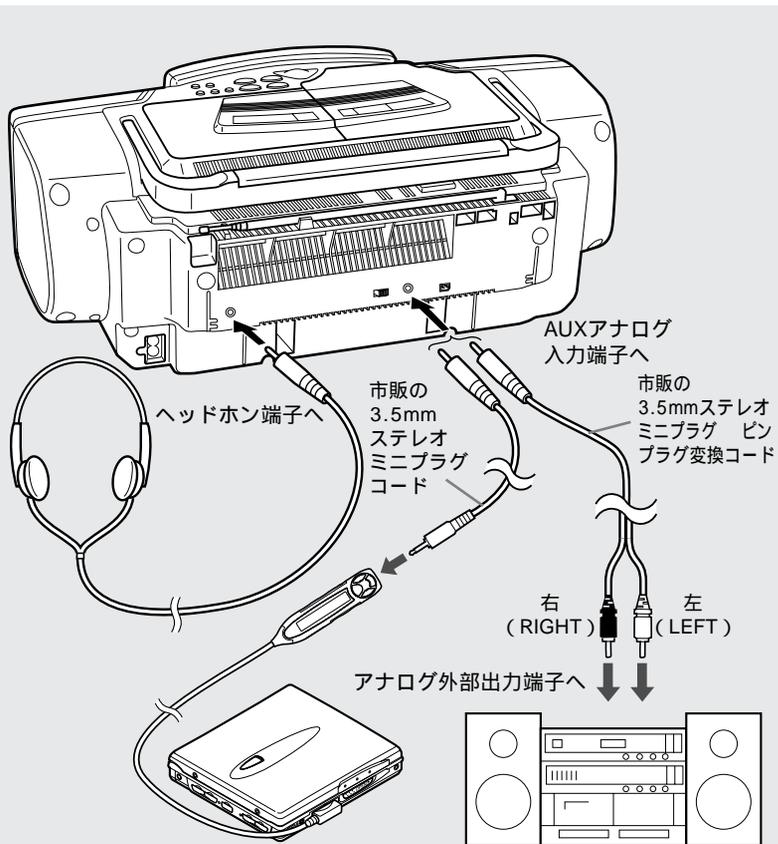
SLEEP　30

スリープ動作開始

2 タイマー録音を設定する。

☞ P.66 ～ 67：操作 1 ～ 11
☞ P.68：操作 1 ～ 3

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマー録音の開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー録音が始まります。

他の機器を接続する

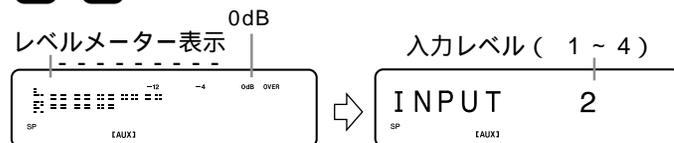
● 接続をする前には、各機器の電源を切ってください。
● 各プラグは確実に差し込んでください。

●インピーダンス16〜50Ω(推奨32Ω)で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
●ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は聞こえなくなります。

他の機器の再生音を聞く

はじめに、他の機器の電源を入れます。

1 リモコンの AUX を押して、入力を「AUX(オグジュアリー)」にする。

2 他の機器を再生する。

3 TUNING/CURSOR ◀◀ ▶▶ を押して、入力レベルを調整する。

約 1.5 秒後にレベルメーター表示に戻ります。

● 最も大きなレベルでレベルメーターの最大値が“ 0dB ”をこえないように調整してください。
● 入力レベルは、6 段階に調整することができます。

4 この製品の“ VOLUME(ボリューム) ”ボタンを押して、音量を調整する。

音のエチケット

● 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
● 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
● ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

他の機器の再生音をMDやテープに録音する

1 録音用MDまたは、録音用ノーマルテープを入れる。

テープに録音するときは､録音する面を上にして入れてください。

2 リモコンの -AUX- を押して、入力を「AUX（オグジュアリー）」にする。

3 リモコンの A-MARK を押して、オートマークを選ぶ。

（MDへの録音のみ）（☞ P.40）

4 録音の一時停止状態にする。

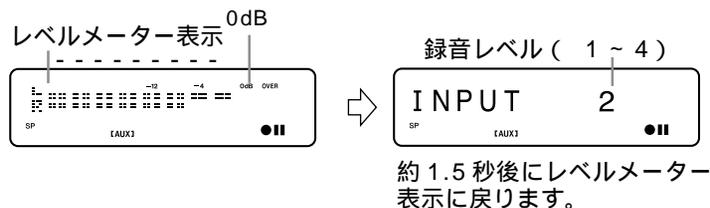
MDに録音するとき	テープに録音するとき
●REC を押す。	●II REC を押す。

5 他の機器を再生する。

6 << TUNING/CURSOR >> ◄◄ ►► を押して、録音レベルを調整する。

レベルメーター表示 0dB

録音レベル（−1〜4）

約1.5秒後にレベルメーター表示に戻ります。

- 録音レベルは、6段階に調整することができます。最も大きなレベルでレベルメーターの最大値が“0dB”をこえないように調整してください。録音レベルは低すぎると音が小さくなり、高すぎるとひずみが増えます。
- 録音レベルを調整したあと、他の機器を停止します。

7 録音を開始する。

MDに録音するとき	テープに録音するとき
MD-►II を押す。	TAPE-► を押す。

録音中は、録音レベルの調整はできません。

8 他の機器を再生する。

録音を一時停止するには

MDに録音しているとき	テープに録音しているとき
MD-►II を押す。	●II REC を押す。
再び録音を始めるときは、もう一度押します。 このとき、曲番が1つ増えます。	再び録音を始めるときは TAPE-► を押します。

録音を停止するには

MDに録音しているとき	テープに録音しているとき
■-MD を押す。	■-TAPE を押す。

■ MDの曲番 ☞ P.41

ＣＤについて

CD の取り扱いについて

■ 使用できるディスクは？

マークのついているものです。

■ ディスクの再生面は？

印刷のある面の反対の面です。再生面に触れないでください。

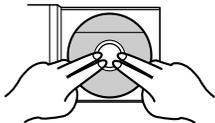
■ ディスクを持つときは？

必ずふちを持ってください。

再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。

■ ケースからの出し入れは？

出すとき
センターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持って出します。

入れるとき
文字のある面を上にして、上から押さえて入れます。

取り扱い上のご注意

印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。

ラベルやシールを貼らないでください。

セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。
そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは、使用しないでください。
故障の原因となることがあります。

CD のお手入れ

再生面に汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。

矢印と反対の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくとキズがつくことがあります。

次のものは使用しないでください。
- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のクリーナー
- 静電防止剤

保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。
- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

MDについて

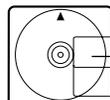
MDの種類について

MDには、再生専用と録音・再生用があります。

再生専用MD

シャッターが片面（裏面）にあります。

市販の音楽ソフトはこのタイプです。CDと同じ光ディスクを使っています。
録音や編集はできません。

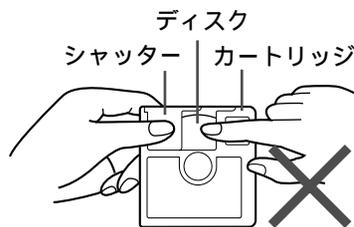
録音・再生用MD

シャッターが両面にあります。

録音もできる「生ディスク」です。光磁気ディスクを使っているため、くり返して録音することができます。

MDの取り扱いについて

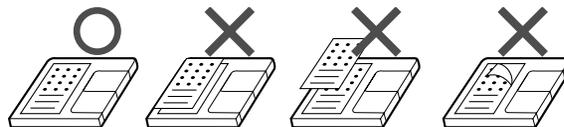
MDはカートリッジに収納されていますので、ホコリ、キズ、指紋などがつきにくくなっています。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

■ ディスクに直接触れないで！

シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。
シャッターは無理に開けると壊れます。

ATRAC（音声圧縮技術）について

ATRAC（アトラック）（Adaptive TRansform Acoustic Coding）は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約1/5に圧縮します。
聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。
この機器では、音楽データを約1/10または1/20に圧縮するATRAC3（アトラック）という圧縮方式も採用しています。
この方式を用いることにより、2倍・4倍のステレオ長時間録音を可能としています。

MDにラベルを貼り付けるときのお願い

必ず次のことをお守りください。正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所（エリア内）に正しく貼る。
  （指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けない。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用する。

MDのお手入れ

カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

音とびガードメモリー

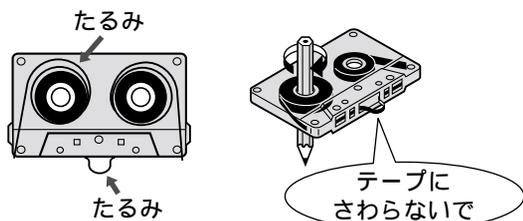
再生中は常に半導体メモリーに約10秒間の情報を蓄積します。
このため、外部からの衝撃によりピックアップが情報を一時的に読み取れなくなっても、蓄積した情報を送ることによって音が途切れることなく再生することができます。

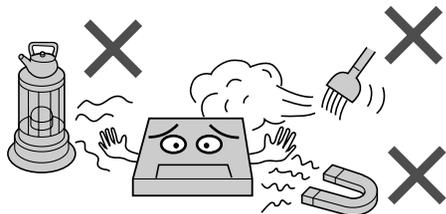
カセットテープについて

100分以上のテープは使わないで！

100分以上のテープは薄く伸びやすいため、使用しないでください。
テープが機械に巻き込まれることがあります。

取り扱いについて

お使いになる前に、テープにたるみやシワが入っていないか確かめてください。たるみのあるときは、鉛筆やボールペンなどで巻き取ってたるみをなくしてください。
たるみやシワのあるテープを使うと、テープが切れたり、機械に巻き込まれたりすることがあります。

保管上のご注意

ご使用後のテープは、所定のケースに入れ、高温多湿・磁気・直射日光・チリ・ホコリの多い場所やカビの発生しやすい場所を避けて保管してください。

音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

■ 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MDを売る、配る、譲る、貸すときなど。

■ 営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。
- くわしい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
- この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会 ☎（03）5353-0336

日本音楽著作権協会

本部	☎（03）3481－2121	横浜支部	☎（045）662－6551
北海道支部	☎（011）221－5088	静岡支部	☎（054）254－2621
盛岡支部	☎（019）652－3201	中部支部	☎（052）583－7590
仙台支部	☎（022）264－2266	北陸支部	☎（076）221－3602
長野支部	☎（026）225－7111	京都支部	☎（075）251－0134
大宮支部	☎（048）643－5461	大阪支部	☎（06）6244－0351
上野支部	☎（03）3832－1033	神戸支部	☎（078）322－0561
東京支部	☎（03）3562－4455	中国支部	☎（082）249－6362
西東京支部	☎（03）3232－8301	四国支部	☎（087）821－9191
東京イベント・		九州支部	☎（092）441－2285
コンサート支部	☎（03）5286－1671	鹿児島支部	☎（099）224－6211
立川支部	☎（042）529－1500	那覇支部	☎（098）863－1228

MDのシステム上の制約

こんなとき	このような制約があります
MDの最大録音時間に満たなくても"DISC FULL"(ディスク フル)が表示されることがあります。	● ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 ● 最大録音曲数(255曲)まで録音されたMDは、それ以上録音することはできません。
MDの最大録音曲数(２５５曲)に満たなくても"TOC FULL"(トック フル)が表示されることがあります。	● MDシステムでは、TOC(トック)にMD上の録音場所の区切りが登録されます。 何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大(255曲)にならなくても、TOC(トック)の情報がいっぱいになり、録音できなくなります。 (このようなMDは、オールイレースを行なえば最初から使用できます。)
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがあります。	● MDの録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあります。
MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがあります。	● 通常は、１クラスタ(約２秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約２秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。 また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
編集で曲と曲とをつなげられないことがあります。	● 録音・編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。 CDから録音した曲(デジタル録音)とラジオ放送や他の機器から録音した曲(アナログ録音)をつなぐことはできません。 録音モード〔モノラル録音(MONO)・ステレオ録音(SP)・２倍長時間録音(LP2)・４倍長時間録音(LP4)〕の異なる曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早送り/早戻しすると、音がとぎれることがある。	● 録音・編集をくり返して行ったMDでは、早送り/早戻し中に音がとぎれることがあります。

“故障かな？”と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、81ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

共通

時刻の確認をしたとき、“TIME ADJUST（タイム アジャスト）”が表示される。

➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。（設定し直してください）☞ P.16

ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。

➡ 一度、電源を切り、操作をやり直してください。
➡ それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。☞ P.77

音が出ない。

➡ 音量が“0”になっていませんか。☞ P.27
➡ ヘッドホンをつないでいませんか。☞ P.70

テレビの映像に乱れや雑音が生じる。

➡ 室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。このようなときは、屋外アンテナの使用をおすすめします。

表示部の照明が点灯しない。

➡“DIMMER ON（ディマー オン）”になっていませんか。☞ P.13

MD

録音ができない。

➡ MDの誤消去防止用ツマミが開いていませんか。☞ P.34
➡ 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしていませんか。☞ P.73
➡“TOC FULL（トック フル）”になっていませんか。☞ P.78

MDを入れても“MD NO DISC（ノー ディスク）”や“Can't READ（キャント リード）”が表示される。再生音がとぎれる。

➡ ディスクにキズがついていませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。☞ P.77

CD

CDを入れても“CD NO DISC（ノー ディスク）”や“ERROR（エラー）”が表示される。

➡ CDの裏表をまちがえていませんか。
➡ CDに汚れやキズがありませんか。
➡ 規格外のCDを使用していませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。☞ P.77

操作ボタンを押しても動作をしない。また、曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。

➡ CDに汚れやキズがありませんか。
➡ 規格外のCDを使用していませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。☞ P.77

再生音がとぎれる。

➡ CDに汚れやキズがありませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。☞ P.77

テープ

録音ができない。

➡ カセットテープの誤消去防止用ツメが取り除かれていませんか。☞ P.35

音がとぎれる。

➡ テープにシワがあったり、伸びたりしていませんか。☞ P.74

高音がでなかったり音のふるえが多い。

➡ キャプスタンやピンチローラー、ヘッド部が汚れていませんか。☞ P.79

テープが取り出せない。

➡ テープの動作中に停電になると、ヘッド部が上がったままになりカセットホルダーが開かなくなります。このようなときは、通電されるのを待ってください。

ラジオ

放送に"シー"、"ザー"という連続音が入る。

➡ テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。
➡ アンテナの方向が悪くありませんか。 ☞ P.25

登録した放送局を呼び出すことができない。

➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
登録し直してください。 ☞ P.26
➡ リセット操作をしませんでしたか。
登録し直してください。 ☞ P.26

リモコン

リモコンで操作できない。
または、正しい動作をしない。

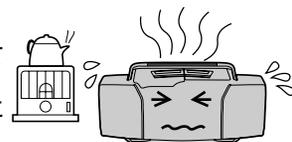
➡ 乾電池の⊕ ⊖の向きが逆になっていませんか。 ☞ P.14
➡ 乾電池が消耗していませんか。
➡ リモコンの送信部を本体のリモコンセンサーに正しく向けていますか。
☞ P.14
➡ リモコンセンサーと距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。
☞ P.14
➡ リモコンセンサーに強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたっていませんか。 ☞ P.14
➡ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。

リモコンで電源が入らない。

➡ 電源コードはつながっていますか。 ☞ P.12

つゆつき現象について

次のようなときには、内部のレンズやディスクにつゆ(水滴)がつくことがあります。

● 暖房をつけた直後。
● 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
● 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

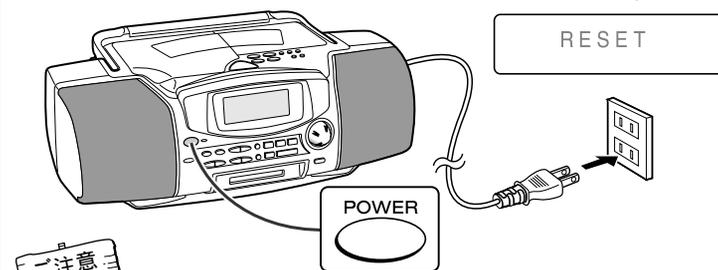
つゆを取るには…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ(衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

リセット操作

1 電源コードをコンセントから抜きます。

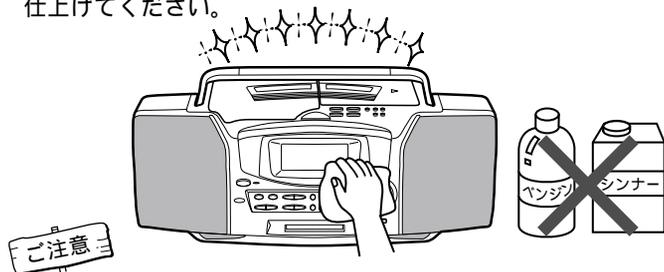
2 POWER(リセット)を押したまま、電源コードを差し込みます。
"RESET"が約1秒間表示されたあと電源が切れます。

リセット操作をすると、登録した内容はすべて消えます。

こんな表示が出たときは

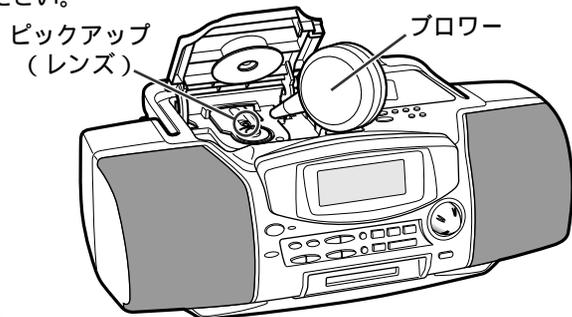
表　示	意　味	このようにしてください
ブランク BLANK MD	● 何も記録されていない。（音楽もディスク名も記録されていない。）	● 再生するときは、録音されたMDと取り換える。
キャント　コピー Can't COPY	● コピー禁止のCDから録音しようとした。	● コピー可能なCDから録音する。
キャント　エディット Can't EDIT	● MD編集できない。	● 別の曲を編集してみる。
キャント　リード Can't READ ※ （※は数字や記号です。）	● ディスクにキズがある。 ● TOC情報が読めない。 ● 規格外のMD。	● MDを入れ直すか、他のMDと取り換える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
キャント　レコード Can't REC	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	● 録音をやり直すか、MDを換えてみる。
キャント　レコード Can't T REC	● タイマー録音ができない。または、MDに録音できる空きがない。	● 他の録音用MDと取り換える。
キャント　ライト Can't WRITE	● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。	● 電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。 書き込み中はショックを与えないでください。
ノー　ディスク CD NO DISC	● CDが入っていない。	● CDを入れる。
ディスク　フル DISC FULL	● MDに録音できる空きがない。	● 他の録音用MDと取り換える。
エディット　オーバー EDIT OVER	● MDの録音時間が足らない。	● 録音時間のあるMDと取り換える。
Er-MD ※※ （※※は数字や記号です。）	● MDが正しく働いていない。	● MD取り出しボタンを押してみる。 ● 電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
Er-TA00	● テープメカの動作位置が適切でない。	● 電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が消えないときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
ノー　ディスク MD NO DISC	● MDが入っていない。 ● MDのデータが読めない。	● MDを入れる。 ● MDをもう一度入れ直す。
ネーム　フル NAME FULL	● ディスク名・曲名が40文字をこえている。	● ディスク名・曲名を短くする。
ノット　オーディオ NOT AUDIO	● オーディオ用でないデータが記録されている。	● MDを取り換える。
プレイバック PLAYBACK MD	● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。	● 録音用MDと取り換える。
パワー POWER?	● MD動作異常。	● 電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
プロテクテッド PROTECTED	● MDやテープが誤消去防止状態になっている。	● 誤消去防止状態をもとに戻す。
テンプ　オーバー TEMP OVER	● 温度が高くなりすぎた。	● 電源を切ってしばらく置いておく。
トック　フォーム TOC FORM ※※ （※※は数字や記号です。）	● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていなかったり、読めない。	● 他のMDと取り換える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
トック　フル TOC FULL	● 曲番を登録する空きがない。	● 他のMDと取り換える。
トック　フル TOC FULL 1	● TOCに文字情報を登録する空きがない。	● 他のMDと取り換える。 ● 不用な文字を消す。
ウェイト　ガード WAIT※※mGUARD （※※は数字です。）	● 倍速での録音ができない。	● 表示された時間だけ録音を待つか、定速で録音する。
ディスク ? DISC	● データに異常がある。 ● 規格外のMD。	● 他のMDと取り換える。

お手入れについて

本体のお手入れ

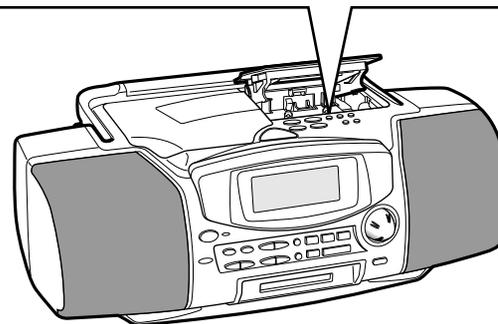
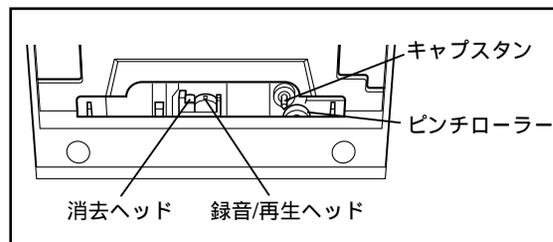
やわらかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
変質したり、塗料がはげることがあります。

CD ピックアップのお手入れ

ピックアップ（レンズ）にホコリや汚れがつくと、音とびを起こしたり、正しく動作をしないことがあります。
ホコリがついたときは、市販のカメラレンズ清掃用のブロワーなどで清掃してください。

- ピックアップ（レンズ）は手でさわらないように気をつけてください。
- 使わないときは CD ブタを閉じておいてください。
- レンズにキズをつけないように気をつけてください。

ヘッド部のお手入れ

■ヘッド部の清掃

よい音で録音や再生を楽しむために、およそ10時間使用するごとに清掃してください。
市販のクリーニング液か、アルコールを含ませた綿棒でテープの触れる面を軽くふきます。

油をささないでください。故障の原因となります。

■ヘッド部の消磁

長い間使っていたり、ヘッド部に磁気を帯びたものが触れたりすると、ヘッドが磁化されます。
そのまま録音や再生をすると、雑音が入りますので、市販の消磁器を使って消磁してください。

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ミニディスク部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
回転数	約 400 ～ 900 rpm
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモン コード（ACIRC）
音声圧縮 / 伸長方式	ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding)/ ATRAC3(MDLP) 24 ビット演算方式
チャンネル数	ステレオ 2 チャンネル / モノラル 1 チャンネル
サンプリング周波数	44.1 kHz
周波数特性	20 ～ 20,000 Hz（+1/-3dB）（EIAJ）
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001%W.PEAK）以下（EIAJ）

コンパクトディスクプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
チャンネル数	ステレオ 2 チャンネル
周波数特性	20 ～ 20,000 Hz（+1/-3dB）（EIAJ）
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001%W.PEAK）以下（EIAJ）

カセットデッキ部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
使用テープ	再生: ノーマル／ハイポジション／メタルテープ 録音: ノーマルテープ
周波数範囲	ノーマルテープ: 50 ～ 14,000 Hz（EIAJ）

チューナー部

受信周波数	FM：76.0 ～ 108.0 MHz（TV 音声 1 ～ 3CH） AM：522 ～ 1,629 kHz
回路方式	クオーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダイン FM/AM チューナー
アンテナ	FM：ロッドアンテナ AM：専用ループアンテナ（付属）

タイマー・時計部

形式	日付機能つきデジタルクロック
タイマー	1日1回 ON/OFF 可能

リモコン部

電源	DC 3 V（付属単 3 乾電池× 2 個）

共通部

スピーカー	8 cm フルレンジスピーカー（4 Ω）× 2
出力端子	ヘッドホン出力：16 ～ 50 Ω（推奨 32 Ω） 直径 3.5 mm ステレオミニジャック× 1
入力端子	アナログ外部入力：300mV 直径 3.5 mm ステレオミニジャック× 1
アンテナ端子	AM 専用ソケット
その他の端子	AC ソケット（100 V AC）× 1
実用最大出力	5 W ＋ 5 W（EIAJ）
電源	100 V AC、50/60 Hz
消費電力	AC 30 W
最大外形寸法	469（幅）× 168（高さ）× 279（奥行）mm（EIAJ）
質量	約 5.5 kg

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、この MD/CD システムの補修用性能部品を製造打切後、最低８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（82 ～ 83 ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは 持込修理

- 『“故障かな？”と思ったら』（76 ～ 77 ページ）を調べてください。
  それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　　　）　－

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口一覧表

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入などのご相談は———『修理ご相談窓口』へ
　（注）＊印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。
　　なお、この地域の出張修理はCSセンターにご相談ください。

● 製品に対するご意見・ご要望などは——————『一般ご相談窓口』へ

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所　在　地
北海道	CSセンター	(011)641-4690	
	＊札　幌	(011)641-4685	札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17
	北　見	(0157)36-4649	北見市三輪435
	帯　広	(0155)21-6925	帯広市西8条南3丁目17
	苫小牧	(0144)34-7740	苫小牧市本町2-6-10
	室　蘭	(0143)45-4649	室蘭市中島町1-9
	釧　路	(0154)25-4649	釧路市光陽町8-13
	旭　川	(0166)25-4649	旭川市一条通4丁目左10
	函　館	(0138)51-4649	函館市五稜郭町31-17
青森県	青　森	(0177)38-0281	青森市妙見3-3-4
	弘　前	(0172)27-4649	弘前市豊田3-5-1
	八　戸	(0178)44-4649	八戸市小中野2-8-16
秋田県	秋　田	(018)863-4649	秋田市川尻町大川反170-56
	横　手	(0182)33-4649	横手市横手町六の口5
岩手県	岩　手	(019)638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
	釜　石	(0193)23-4649	釜石市上中島町4-6-43
宮城県	CSセンター	(022)288-9250	
	＊宮　城	(022)288-9142	仙台市若林区卸町東3-1-27
山形県	山　形	(023)631-4649	山形市飯田2-7-43
	酒　田	(0234)24-4649	酒田市大町19-5
福島県	福　島	(024)945-4649	郡山市安積町荒井方八丁33-1
	会津若松	(0242)25-4649	会津若松市山見町41-2
	いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ケ丘37-10
新潟県	CSセンター	(025)285-1513	
	＊新　潟	(025)285-3663	新潟市上所中1-7-21
	＊長　岡	(0258)23-1819	長岡市摂田屋町崩2600
栃木県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊栃　木	(028)637-1179	宇都宮市不動前4-2-41
	＊小　山	(0282)62-5466	栃木県下都賀郡藤岡町藤岡5201
群馬県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊群　馬	(027)252-4706	前橋市問屋町1-3-7
茨城県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊茨　城	(029)241-4930	水戸市千波町1963
	＊南茨城	(0298)57-9130	つくば市栗原2857-9

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所　在　地
埼玉県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊埼玉中央	(048)666-7987	大宮市宮原町2-107-2
	＊埼玉東	(0489)78-7101	越谷市南荻島346-1
東京都	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊江　東	(03)3626-4642	東京都墨田区石原2-12-3
	＊城　南	(03)3776-2419	東京都大田区南馬込1-5-15
	＊城　北	(03)3972-4195	東京都板橋区東新町1-33-11
	＊世田谷	(03)3707-3345	東京都世田谷区用賀3-8-18
	＊田　端	(03)5692-7765	東京都北区東田端2-13-17
	＊三多摩	(042)586-6059	日野市日野台5-5-4
千葉県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊千　葉	(043)299-8840	千葉市美浜区中瀬1-9-2
	＊西千葉	(0473)68-4766	松戸市稔台295-1
	＊東千葉	(0479)79-1181	八日市場市高字東2779-4
	＊木更津	(0438)37-7912	木更津市請西2-5-22
神奈川県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊横　浜	(045)753-4647	横浜市磯子区中原1-2-23
	＊湘　南	(0463)54-4738	平塚市田村1381
	＊相模原	(0427)59-4195	相模原市横山2-2-12
山梨県	CSセンター	(03)5692-7722	
	＊山　梨	(055)228-5375	甲府市富竹2-1-17
静岡県	CSセンター	(054)285-9360	
	＊静　岡	(054)285-9340	静岡市曲金6-8-44
	＊沼　津	(0559)22-5249	沼津市宮前町11-4
	＊浜　松	(053)463-4680	浜松市植松町1476-2
長野県	CSセンター	(026)293-6612	
	＊松　本	(0263)27-4694	松本市芳野8-14
	＊長　野	(026)293-6262	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
愛知県	CSセンター	(052)332-5880	
	＊名古屋	(052)332-2623	名古屋市中川区山王3-5-5
	＊岡　崎	(0564)24-2343	岡崎市柿田町1-21
	＊豊　橋	(0532)53-4647	豊橋市下地町橋口17-1
岐阜県	CSセンター	(052)332-5880	
	＊岐　阜	(058)273-4969	岐阜市六条南3-12-9
	＊濃　飛	(0574)26-4626	可児市土田下切3832-1
三重県	CSセンター	(052)332-5880	
	＊三　重	(059)232-6300	津市栗真町屋町蒲池328
富山県	CSセンター	(076)269-1875	
	＊富　山	(076)451-2459	富山市金泉寺71-1
石川県	CSセンター	(076)269-1875	
	＊金　沢	(076)249-2434	石川郡野々市町御経塚町1096-1
福井県	CSセンター	(076)269-1875	
	＊福　井	(0776)54-2459	福井市北四ツ居町625

(2000.08)

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社			
担当地域	拠点名	電話番号	所在地
滋賀県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊滋賀	(077)545-4692	大津市栗林町11-35
	＊彦根	(0749)24-4643	彦根市東沼波町133
京都府	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊京都	(075)672-2378	京都市南区上鳥羽菅田町48
	＊北近畿	(0773)23-9151	福知山市末広町6-13
大阪府	CSセンター	(06)6795-2800	
	＊大阪	(06)6643-5331	大阪市浪速区恵美須西1-2-9
	＊堺	(0722)45-4651	堺市老松町1-39
	＊大阪TC	(06)6794-5611	大阪市平野区加美南3-7-19
	＊南大阪	(0724)31-1950	貝塚市沢1215
	＊北大阪	(0726)34-4519	茨木市鮎川5-15-3
兵庫県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊兵庫	(078)791-1541	神戸市須磨区弥栄台3-15-2
	＊神戸	(078)453-4651	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
	＊阪神	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺3-2-10
	＊姫路	(0792)66-1819	姫路市青山5-7-7
	＊豊岡	(0796)23-7515	豊岡市九日市上町下畑77-1
奈良県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊奈良	(0743)53-6693	大和郡山市美濃庄町492
	＊奈良南	(0745)65-1492	御所市茅原4-3
和歌山県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊和歌山	(073)445-4615	和歌山市西小二里2-4-91
	＊南紀	(0739)25-3121	田辺市稲成町441-1
鳥取県	鳥取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町2-204
岡山県	CSセンター	(086)292-1707	
	＊岡山	(086)292-1709	都窪郡早島町矢尾828
島根県	CSセンター	(0852)24-4811	
	＊松江	(0852)24-4810	松江市西津田3-1-10
広島県	CSセンター	(082)874-8071	
	＊広島	(082)874-8149	広島市安佐南区西原2-13-4
	CSセンター	(0824)28-7448	
	＊東広島	(0824)28-7490	東広島市八本松東4-3-30
	CSセンター	(0849)51-7644	
	＊福山	(0849)51-7654	福山市津之郷町津之郷上開地
山口県	CSセンター	(083)972-0870	
	＊山口	(083)972-0891	吉敷郡小郡町若草町4-12
	＊東山口	(0833)44-0923	下松市西豊井173-1
香川県	CSセンター	(087)823-5513	
	＊香川	(087)823-4901	高松市朝日町6-2-8
徳島県	CSセンター	(088)625-4684	
	＊徳島	(088)625-4654	徳島市中常三島町3-11-14
愛媛県	CSセンター	(089)971-4729	
	＊愛媛	(089)971-4563	松山市高岡町178-1
高知県	CSセンター	(0888)82-4021	
	＊高知	(0888)82-4635	高知市高須960-1

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社			
担当地域	拠点名	電話番号	所在地
福岡県	CSセンター	(092)586-1122	
	＊福岡	(092)572-4652	福岡市博多区井相田2-12-1
	＊南福岡	(0942)45-8211	久留米市御井旗崎3-7-14
	＊北九州	(093)592-4677	北九州市小倉北区大手町6-12
佐賀県	CSセンター	(092)586-1122	
	＊佐賀	(0952)24-9450	佐賀市鍋島町八戸五本松篭2043-2
長崎県	CSセンター	(095)844-1870	
	＊長崎	(0957)52-3511	大村市古賀島町613-3
	佐世保	(0956)32-6666	佐世保市白岳町107-5
大分県	CSセンター	(097)552-9416	
	＊大分	(097)552-2313	大分市松原町3-5-3
熊本県	CSセンター	(096)366-7070	
	＊熊本	(096)364-4777	熊本市新屋敷3-15-17
	天草	(0969)23-8711	本渡市港町19-3
宮崎県	CSセンター	(0985)31-1823	
	＊宮崎	(0985)31-1832	宮崎市原町4-12
	＊都城	(0986)52-1311	北諸県郡三股町大字蓼池624-1
鹿児島県	CSセンター	(099)253-0250	
	＊鹿児島	(099)253-4600	鹿児島市鴨池新町12-1

沖縄シャープ電機株式会社			
担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那覇	(098)861-0866	那覇市曙2-10-1
	先島	(09807)3-3603	平良市下里1178-5
鹿児島県	奄美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町8-1

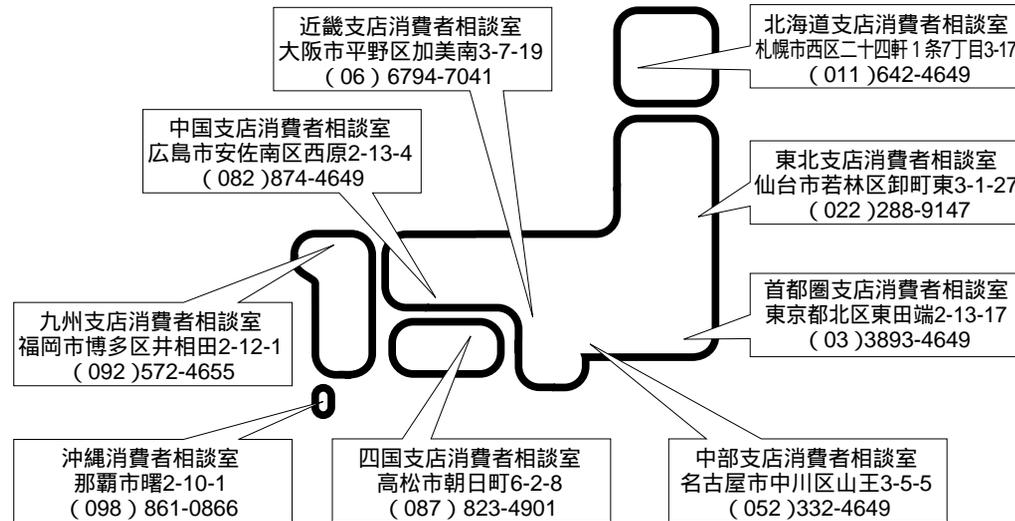
一般ご相談窓口

シャープ株式会社		
東日本相談室	TEL (043)297-4649 FAX (043)299-8280	〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL (06)6621-4649 FAX (06)6792-5993	〒547-0003 大阪市平野区加美南4-3-41

シャープエンジニアリング株式会社		
北海道支店消費者相談室	(011)642-4649	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17
東北支店　消費者相談室	(022)288-9147	〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(03)3893-4649	〒114-0013 東京都北区東田端2-13-17
中部支店　消費者相談室	(052)332-4649	〒454-8721 名古屋市中川区山王3-5-5
近畿支店　消費者相談室	(06)6794-7041	〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
中国支店　消費者相談室	(082)874-4649	〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
四国支店　消費者相談室	(087)823-4901	〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
九州支店　消費者相談室	(092)572-4655	〒816-0081 福岡市博多区井相田2-12-1

所在地・電話番号などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2000.08)

お問い合わせは

この製品についてのご意見・ご質問は、シャープ消費者相談室、
またはお客様ご相談窓口へお申しつけください。
（くわしくは、82 〜 83 ページをごらんください。）

シャープ株式会社

本　　　社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号 電話（06）6621-1221（大代表）
AVシステム事業本部	〒739-0192	東広島市八本松飯田２丁目13番１号 電話（0824）28-2401（大代表）

Printed in Malaysia
TINSJ0100AWZZ
A0009.YM.HK